# Cisco BroadWorks 版 Webex 設定ガイド

解除 44.12

ドキュメント バージョン 1

# 目次


**1 変更の概要 ..... 1**
1.1 リリースの変更、2024 年 12 月 44.12 ..... 1
1.2 リリース 44.11 の変更、2024 年 11 月 ..... 1
1.3 リリースの変更、2024 年 10 月 44.10 ..... 1
1.4 リリースの変更、2024 年 9 月 44.9 ..... 1
1.5 リリースの変更、2024 年 8 月 44.8 ..... 1
1.6 リリースの変更、2024 年 7 月 44.7 ..... 1
1.7 リリースの変更、2024 年 6 月 44.6 ..... 1
1.8 リリースの変更、2024 年 5 月 44.5 ..... 2
1.9 リリースの変更、2024 年 4 月 44.4 ..... 2
1.10 リリースの変更、2024 年 3 月 44.3 ..... 2
1.11 リリースの変更、2024 年 2 月 44.2 ..... 2
1.12 リリースの変更、2024 年 1 月 43.1 ..... 3
1.13 リリースの変更、2023 年 12 月 43.12 ..... 3
1.14 リリースの変更、2023 年 11 月 43.11 ..... 3
1.15 リリースの変更、2023 年 10 月 43.10 ..... 3
1.16 リリースの変更、2023 年 9 月 43.9 ..... 3
1.17 リリースの変更、2023 年 8 月 43.8 ..... 4
1.18 リリースの変更、2023 年 7 月 43.7 ..... 4
1.19 リリースの変更、2023 年 6 月 43.6 ..... 4
1.20 リリースの変更、2023 年 5 月 43.5 ..... 4
1.21 リリースの変更、2023 年 4 月 43.4 ..... 4
1.22 リリースの変更、2023 年 3 月 43.3 ..... 5
1.23 リリースの変更、2023 年 1 月 43.1 ..... 5
**2 設定ファイルの変更 ..... 6**
2.1 リリースの設定ファイルの変更 44.12 ..... 6
2.2 リリースの設定ファイルの変更 44.11 ..... 6
2.3 リリース 44.10 の設定ファイルの変更 ..... 6
2.4 リリース 44.9 の設定ファイルの変更 ..... 7
2.5 リリース 44.8 の設定ファイルの変更 ..... 7
2.6 リリース 44.7 の設定ファイルの変更 ..... 7
2.7 リリース 44.6 の設定ファイルの変更 ..... 7
2.8 リリース 44.5 の設定ファイルの変更 ..... 7
2.9 リリース 44.4 の設定ファイルの変更 ..... 8
2.10 リリース 44.3 の設定ファイルの変更 ..... 8
2.11 リリース 44.2 の設定ファイルの変更 ..... 9
2.12 リリース 44.1 の設定ファイルの変更 ..... 10

2.13 リリース 43.12 の設定ファイルの変更 ..... 10
2.14 リリース 43.11 の設定ファイルの変更 ..... 12
2.15 リリース 43.10 の設定ファイルの変更 ..... 12
2.16 リリース 43.9 の設定ファイルの変更 ..... 12
2.17 リリース 43.8 の設定ファイルの変更 ..... 13
2.18 リリース 43.7 の設定ファイルの変更 ..... 13
2.19 リリース 43.6 の設定ファイルの変更 ..... 13
2.20 リリース 43.5 の設定ファイルの変更 ..... 14
2.21 リリース 43.4 の設定ファイルの変更 ..... 14
2.22 リリース 43.3 の設定ファイルの変更 ..... 16
2.23 リリース 43.2 の設定ファイルの変更 ..... 16
2.24 リリース 43.1 の設定ファイルの変更 ..... 16
**3 紹介 ..... 17**
**4 のインストール ..... 18**
4.1 ローカライズされたクライアントのダウンロード ..... 18
4.2 Android クライアント ..... 18
4.3 iOS クライアント ..... 18
4.4 デスクトップ クライアント ..... 19
**5 デバイス管理 ..... 20**
5.1 デバイス管理タグ ..... 20
5.2 デバイス タイプ選択の一致の強化 ..... 22
5.3 クライアントの設定 ..... 23
5.4 config-wxt.xml の展開 ..... 23
5.5 設定ファイル (config-wxt.xml) ..... 23
5.6 システム デフォルト タグ ..... 24
5.7 Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ ..... 25
**6 カスタムタグ ..... 28**
6.1 共通機能 ..... 40
6.1.1 SIP サーバー設定 ..... 40
6.1.2 SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol ..... 43
6.1.3 SRTP の 3GPP SIP ヘッダー ..... 45
6.1.4 TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する ..... 46
6.1.5 SIP ソケットを開くための設定可能なタイムアウト ..... 48
6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出 ..... 49
6.1.7 SIP の優先ポート使用量 ..... 55
6.1.8 SIP フェールオーバーとフェールバック ..... 55
6.1.9 SIP SUBCSRIBE および REGISTER の更新および SUBSCRIBE 再試行 ..... 61
6.1.10 登録で P-Associated-URI を使用する ..... 61
6.1.11 SIP P-Early Media（PEM）ヘッダー ..... 62

6.1.12 SIP 更新のサポート ..... 63
6.1.13 レガシー SIP INFO FIR ..... 63
6.1.14 NAT トラバーサルの SIP rport 管理 ..... 64
6.1.15 SIP セッション ID ..... 65
6.1.16 着信通話拒否の動作 ..... 65
6.1.17 リアルタイム トランスポート プロトコル ポート範囲 ..... 66
6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ) (Webex Calling only) ..... 67
6.1.19 RTCP ミューックス ..... 67
6.1.20 転送 ..... 68
6.1.21 N 方向の電話会議と参加者 and Participants ..... 69
6.1.22 コール プル ..... 70
6.1.23 コールパーク/保留解除 ..... 70
6.1.24 通話の統計 ..... 71
6.1.25 コール自動リカバリ/シームレスなコールハンドバー / Seamless Call Handover ..... 72
6.1.26 通話の録音 ..... 72
6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message Waiting Indicator ..... 73
6.1.28 Webex Calling のボイスメールの文字起こし ..... 75
6.1.29 通話設定 ..... 76
6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call Settings ..... 78
6.1.31 コール センター/コール キューのログイン/ログアウト ..... 82
6.1.32 XSI ルートとパス ..... 83
6.1.33 XSI イベント チャネル ..... 83
6.1.34 コーデックの設定 ..... 84
6.1.35 SIP-URI ダイヤル ..... 86
6.1.36 すべてのデバイスの通話履歴 ..... 87
6.1.37 ビデオ通話を無効にする ..... 87
6.1.38 緊急 (911) 通話 - E911 プロバイダーによるロケーションレポート ..... 88
6.1.39 アイデンティティとして PAI ..... 90
6.1.40 画面共有を無効にする ..... 90
6.1.41 スパムコール通知 ..... 91
6.1.42 PSTN/モバイル コールのノイズ除去と帯域幅拡張 ..... 91
6.1.43 QoS DSCP マーキング ..... 92
6.1.44 プライマリ プロファイル ..... 92
6.1.45 ブロック リスト (Webex Calling のみ) ..... 94
6.1.46 Media Adaptation and Resilience Implementation（MARI） ..... 95
6.1.47 同じユーザーとの同時通話 ..... 97
6.1.48 rtcp-xr について ..... 97
6.1.49 着信転送情報 ..... 98
6.1.50 発信者番号 ..... 98



シスコ社外秘

6.2 デスクトップのみの機能 ..... 101
6.2.1 強制的にログアウト ..... 101
6.2.2 コールピックアップ ..... 102
6.2.3 Boss-Admin (エグゼクティブ-アシスタント) のサポート ..... 102
6.2.4 SIP 通話をミーティングにエスカレーションする (Webex Calling のみ) (Webex Calling only) ..... 103
6.2.5 卓上電話制御通話 - 自動応答 ..... 104
6.2.6 トーン通知による自動応答 ..... 104
6.2.7 卓上電話コントロール – 通話中制御 – 会議 Conference ..... 104
6.2.8 コール ピックアップ通知 ..... 105
6.2.9 リモート コントロール イベント パッケージ ..... 107
6.2.10 コール キュー エージェント CLID の選択 ..... 108
6.2.11 サバイバビリティ ゲートウェイ (Webex Calling のみ) ..... 108
6.2.12 複数回線 - 共有回線アピアランス ..... 109
6.2.13 複数回線 - 仮想回線 (Webex Calling のみ) ..... 110
6.2.14 リモート ミュートコントロール イベント パッケージ (Webex Calling のみ) ..... 110
6.2.15 通話を移動 ..... 111
6.3 モバイルのみの機能 ..... 113
6.3.1 緊急コール ..... 113
6.3.2 コールのプッシュ通知 ..... 114
6.3.3 単一アラート ..... 116
6.3.4 クリックしてダイヤル (コールバック)) ..... 117
6.3.5 MNO サポート ..... 117
6.3.6 着信発信者 ID ..... 123
**7 早期フィールド トライアル (ベータ) の機能 ..... 125**
7.1 AI コーデック ..... 125
7.2 パーソナル アシスタント (退席中) ..... 125
7.3 コール プッシュ通知の配信モード (Webex Calling のみ) ..... 126
7.4 モバイル向けマルチライン（Webex Calling のみ） ..... 127
**8 Cisco BroadWorks 版 Webex と UC-One 間のカスタム タグ マッピング and UC-One 128**
**9 別紙 A: TLS 暗号化 ..... 135**
**10 別紙 B: DM タグプロビジョニング スクリプト ..... 136**
10.1 デスクトップ ..... 137
10.2 モバイル ..... 140
10.3 タブレット ..... 143
10.4 システム タグ ..... 146
**11 頭字語と略語 ..... 147**



シスコ社外秘

# 1 変更の概要

このセクションでは、各リリースおよびドキュメントバージョンに対するこのドキュメントへの変更について説明します。

## 1.1 リリースの変更、2024 年 12 月 44.12

このリリースのこのドキュメントに変更はありません。

## 1.2 リリース 44.11 の変更、2024 年 11 月

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- ベータ版でセクション *モバイル向けマルチライン（Webex Calling のみ）* を追加しました。

## 1.3 リリースの変更、2024 年 10 月 44.10

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション *パーソナル アシスタント (退席中)* を追加しました。
- ベータ*コール プッシュ通知の配信モード (Webex Calling のみ)*でセクションを追加しました。

## 1.4 リリースの変更、2024 年 9 月 44.9

このリリースのこのドキュメントに変更はありません。

## 1.5 リリースの変更、2024 年 8 月 44.8

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.1.34 コーデックの設定*を更新しました – DTMF とサポートされている配信メカニズムについての説明を追加しました。

## 1.6 リリースの変更、2024 年 7 月 44.7

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- ベータ版でセクション *AI コーデック* を追加しました。
- セクション 6.1.44 プライマリ プロファイルを更新しました – リリース 43.2 への Webex アプリの動作に関する詳細を削除しました。*6.1.44 Primary Profile* – removed details about the Webex app behavior priori to Release 43.2.

## 1.7 リリースの変更、2024 年 6 月 44.6

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。



シスコ社外秘

- セクション *6.3.6 を更新しました。 着信発信者 ID* – ネイティブのエクスペリエンスと機能の仕組みについての詳細を追加しました。

### 1.8 リリースの変更、2024 年 5 月 44.5

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクションを更新しました*6.1.18ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only)– NAT64 経由で IPv6 サポートを追加しました。
- セクション *6.1.50 発信者番号* を更新しました - サブセクション *6.1.50.2 リモート発信者 ID 名* を追加しました。

### 1.9 リリースの変更、2024 年 4 月 44.4

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション *6.1.50.1 発信者 ID (Webex Calling のみ)* を更新しました。
- セクション *リリース 44.3 の設定ファイルの変更* を更新しました – 44.3 のキープアライブ更新に関する詳細を追加しました。

### 1.10 リリースの変更、2024 年 3 月 44.3

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション *6.3.6 を更新しました。 着信発信者 ID*
    - デスクトップとモバイルで共通するセクション*6.1.50.1 発信者 ID (Webex Calling のみ)*を移動し、詳細で更新しました。
- セクション*6.1.4TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する*を更新しました – カスタムタグを使用した設定可能なキープアライブについての詳細を追加しました。

### 1.11 リリースの変更、2024 年 2 月 44.2

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- サブセクションを含むセクション*6.3.6 着信発信者 ID* を追加しました。
    - 6.3.6.1 着信発信者 ID
    - 6.3.6.2 発信者 ID (Webex Calling のみ)
- セクションを更新しました *6.2.8 コール ピックアップ通知*

- サブセクションを追加*6.2.8.1 ビジー ランプ フィールド* - BLF 詳細をそこに移動しました。
- サブセクション *6.2.8.2 コール ピックアップ グループ (Webex Calling のみ)* を追加しました。

- セクション*6.1.49 着信転送情報*{2}を追加しました。
- セクション *6.1.8.3IP バージョンの強制* を更新しました – 新しい *nat64* モードの詳細を追加しました。
- セクション*6.1.42PSTN/モバイル コールのノイズ除去と帯域幅拡張*を更新しました – 新しい帯域幅拡張サポートとノイズ除去の更新の詳細を追加しました。 セクション「PSTN 通話の音声強化」は、ベータ版から削除されます。*Speech Enhancements for PSTN Calls* is removed from BETA.

## 1.12 リリースの変更、2024 年 1 月 43.1

このリリースのこのドキュメントに変更はありません。

## 1.13 リリースの変更、2023 年 12 月 43.12

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.1.1SIP サーバー設定*を更新しました – 例を更新しました (1 回線ごとにドメインと external-id を追加)。
- セクション*6.2.15 通話を移動*を追加しました。
- セクション *6.3.5.1 ネイティブ ダイヤラーとの通話* を更新しました – セルラー発信通話の設定可能なプレフィックスサポートについての詳細を追加しました。
- セクション*6.1.20 転送*を更新しました – 新しい自動保留オプションの詳細を追加しました。
- セクション*6.1.48rtcp-xr について*{2}を追加しました。
- ベータ版の「PSTN 通話の音声強化」セクションを追加しました。*Speech Enhancements for PSTN Calls* in BETA.

## 1.14 リリースの変更、2023 年 11 月 43.11

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.1.8.1SIP フェールオーバー*を更新しました – 登録のクリーンアップと q 値の更新に関する詳細を追加しました。

## 1.15 リリースの変更、2023 年 10 月 43.10

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション *6.1.29.2[ボイスメールへの通話転送]* をベータ版に移行しました。
- セクション*6.3.5.2 通話中コントロール*を更新しました - コンサルティング転送と別の進行中の通話への転送に関する詳細を追加しました。
- セクション*6.3.5.6MNO モビリティ - 通話中のウィジェット*を更新しました – 完全な転送の詳細を追加しました。

## 1.16 リリースの変更、2023 年 9 月 43.9

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.1.47 同じユーザーとの同時通話*をベータ版から移動しました。
- セクション*6.1.20 転送*を更新しました – 進行中の通話への転送に関する詳細を追加しました。
- セクション *6.2.14[リモート ミュートコントロール イベント パッケージ (Webex Calling のみ)] を追加しました。*
- ベータ版の「ボイスメールへの着信転送」セクションを追加しました。*Call Forwarding to Voicemail* in BETA.

## 1.17 リリースの変更、2023 年 8 月 43.8

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- ベータ*同じユーザーとの同時通話*でセクションを追加しました。

## 1.18 リリースの変更、2023 年 7 月 43.7

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.3.5.6MNO モビリティ - 通話中のウィジェット*をベータ版*に移動しました。*

## 1.19 リリースの変更、2023 年 6 月 43.6

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.1.46Media Adaptation and Resilience Implementation （MARI）*をベータ版*に移動しました。*
- ベータ版でセクション *MNO モビリティ - 通話中のウィジェット* を追加しました。
- セクション *5.4config-wxt.xml の展開* を更新しました - 設定テンプレートを最新の Webex アプリケーション リリース バージョンに最新の状態に保つための推奨を追加しました。

## 1.20 リリースの変更、2023 年 5 月 43.5

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション*6.1.45 ブロック リスト (Webex Calling のみ)*{2}を追加しました。
- セクション *6.1.44[プライマリ プロファイル]* を更新しました。

## 1.21 リリースの変更、2023 年 4 月 43.4

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション *6.2.8 コール ピックアップ通知* を更新しました。コール ピックアップ通知
- セクション*6.2.13 複数回線 - 仮想回線 (Webex Calling のみ)*{2}を追加しました。
- *Media Adaptation and Resilience Implementation （MARI）* ベータ版のセクションを追加しました。

## 1.22 リリースの変更、2023 年 3 月 43.3

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション *6.1.44[プライマリ プロファイル] を追加しました。*
- セクション 6.2.12 マルチライン - 共有ラインアピアランスを更新しました。 *6.2.12 Multi-line - Shared-Line Appearance.*
- 2023 年 2 月のリリース 43.2 の変更

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション 6.2.12 マルチライン - 共有ラインアピアランスを更新しました。 *6.2.12 Multi-line - Shared-Line Appearance.*
- *6.2.11 サバイバビリティ ゲートウェイ (Webex Calling のみ)* を追加しました。
- セクション *6.1.4TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する* を更新しました。

## 1.23 リリースの変更、2023 年 1 月 43.1

このバージョンのドキュメントには、次の変更が含まれます。

- セクション 6.2.12 マルチライン - 共有ラインアピアランスを更新しました。 *6.2.12 Multi-line - Shared-Line Appearance*.

# 2 設定ファイルの変更

## 2.1 リリースの設定ファイルの変更 44.12

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.2 リリースの設定ファイルの変更 44.11

- [ベータ機能] [モバイルのみ] [Webex Calling のみ]
  タグ<protocols><sip><lines>で複数回線対応属性を追加しました。
  セクション<protocols><sip><lines>でセカンダリ回線の<personal>セクションと<line>セクションを追加しました。

```
<config>
<protocols><sip>
<lines multi-line-enabled="%ENABLE_MULTI_LINE_WXT%">
   <personal>
      <line-port>%BWDISPLAYNAMELINEPORT%</line-port>
   </personal>
   <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-1%">
      …
   </line>
   <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-2%">
      …
   </line>
   …
   <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-10%">
      …
   </line>
</lines>
```

## 2.3 リリース 44.10 の設定ファイルの変更

- [ベータ機能]
  セクションの<services>に<personal-assistant>タグを追加しました。

```
<config>
<services>
   <personal-assistant enabled="%PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT%"/>
```

- [ベータ機能] [モバイルのみ] [Webex Calling のみ]
  <services><push-notifications-for-calls>タグの下に配信モード属性を追加しました。

```
<config>
<services>
   <push-notifications-for-calls enabled="true" connect-sip-on-
accept="%PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT%" ring-timeout-
seconds="%PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT%" delivery-
mode="%PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT%">
```

次の %TAG%s が追加されました:

- %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT%
- %PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT%



シスコ社外秘

## 2.4 リリース 44.9 の設定ファイルの変更 9

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.5 リリース 44.8 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.6 リリース 44.7 の設定ファイルの変更

- [ベータ機能]
  AI コーデック (xCodec) を <services><calls><audio><codecs> セクションに追加しました。

```
<config>
<services><calls>
  <audio>
    <codecs>
      <codec name="opus" priority="1" payload=""/>
      <codec name="xCodec" mode="HP" priority=".99" payload=""/>
      <codec name="xCodec" mode="ULP" priority=".98" payload=""/>
      <codec name="G722" priority=".9" payload=""/>
      <codec name="PCMU" priority=".8" payload=""/>
      <codec name="PCMA" priority=".7" payload=""/>
      <codec name="G729" priority=".5" payload="" vad=""/>
      <codec name="iLBC" priority=".4" payload="" framelength="30"/>
      <codec name="telephone-event" payload="101" in-band="false"/>
```

## 2.7 リリース 44.6 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.8 リリース 44.5 の設定ファイルの変更

- [Webex Calling のみ]
  enable-ipv6-support 属性を <protocols><rtp><ice> タグに追加しました。

```
<config>
<protocols><rtp>
  <ice enabled="%ENABLE_RTP_ICE_WXT%"
       enable-ipv6-support="%ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT%"
       mode="%RTP_ICE_MODE_WXT%"
       service-uri="%RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT%"
       port="%RTP_ICE_PORT_WXT%"/>
```

- <remote-name> タグが <services><calls><caller-id> セクションに <machine> をサブタグとして追加されました。

```
<config>
<services><calls>
   <caller-id>
      <remote-name>
         <machine mode="%CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT%"/>
```

次の %TAG%s が追加されました:

- %enable_rtp_ice_ipv6_wxt%



シスコ社外秘

- %clid_remote_name_machine_mode_wxt%

## 2.9 リリース 44.4 の設定ファイルの変更

- [デスクトップのみ] [Webex Calling のみ]
  タグ <additional-numbers>、<hunt-group>、および<clid-delivery-blocking> を<caller-id><outgoing-calls>セクションに追加しました。

```
<config>
<services><calls>
  <caller-id>
    <outgoing-calls enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT%">
      <additional-numbers
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT%"/>
      <call-center
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT%"/>
      <hunt-group enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT%"/>
      <clid-delivery-blocking
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT%"/>
    </outgoing-calls>
```

## 2.10 リリース 44.3 の設定ファイルの変更

- [デスクトップのみ] [Webex Calling のみ]
  新しい <caller-id> セクションで<outgoing-calls> を追加し、<call-center> をサブタグとして追加しました。

```
<config>
<services><calls>
  <caller-id>
    <outgoing-calls enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT%">
      <call-center
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT%"/>
    </outgoing-calls>
```

- カスタム タグ (%UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%、%TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%、%TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%) を追加し、<protocols><sip><transports>の各トランスポートのハードコード化されたキープアライブ有効値を置き換えます。

```
<config>
<protocols><sip>
<transports>
  <udp>
    <keepalive enabled="%UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%">
      …
  </udp>
  <tcp>
    <keepalive enabled="%TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%">
      …
  </tcp>
  <tls>
    <keepalive enabled="%TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%">
      …
  </tls>
```



シスコ社外秘

次の %TAG%s が追加されました:

- %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%
- %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%
- %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%

## 2.11 リリース 44.2 の設定ファイルの変更

- [モバイルのみ]
  <services><calls>に<caller-id>セクションを追加しました。 サブタグ <incoming-call> と <missed-call> を追加し、両方に新しいサブタグ <append-number> を追加しました。

```
<config>
<services><calls>
  <caller-id>
    <incoming-calls>
      <append-number
enabled="%ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT%"/>
    </incoming-calls>
    <missed-calls>
      <append-number
enabled="%ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT%"/>
    </missed-calls>
```

- [モバイルのみ] [Webex Calling のみ]
  新しい <caller-id> セクションで<outgoing-calls>を追加しました。

```
<config>
<services><calls>
  <caller-id>
    <outgoing-calls enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT%">
      <additional-numbers
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT%"/>
      <call-center
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT%"/>
      <hunt-group enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT%"/>
      <clid-delivery-blocking
enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT%"/>
    </outgoing-calls>
```

- セクション<services><calls>に<call-forwarding-info>タグを追加しました。

```
<config>
<services><calls>
  <call-forwarding-info
enabled="%ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT%"/>
```

- [デスクトップのみ] [Webex Calling のみ]
  <services><calls>の下に<group-call-pickup-notifications> セクションを追加し、<display-caller>と<max-timeout>をサブタグとして使用しました。 また、<protocols><sip><lines> セクションの<line>各<line>タグに<group-call-pickup> タグを追加しました。

```
<config>
<services><calls>
```



シスコ社外秘

```
  <group-call-pickup-notifications
enabled="%ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT%">
    <display-caller enabled="%ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT%"/>
    <max-timeout value="%GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT%"/>
  </group-call-pickup-notifications>
  …
<protocols><sip>
  <lines>
    <line>
      <group-call-pickup>%BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-1%</group-call-pickup>
      ...
    </line>
    <line>
      <group-call-pickup>%BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-2%</group-call-pickup>
      ...
    </line>
    …
```

次の %TAG%s が追加されました:

- %ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT%
- %ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT%
- %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT%
- %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT%
- %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT%
- %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT%
- %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT%
- %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT%
- %ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT%
- %ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT%
- %GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT%
- %BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-n%

次の %TAG% は廃止されました:

- %enable_noise_removal_wxt%

## 2.12 リリース 44.1 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.13 リリース 43.12 の設定ファイルの変更

- <config><protocols><sip><lines> の各<line>セクションに<domain>タグを追加しました。

```
<config>
```



シスコ社外秘

```
<protocols><sip>
    <lines>
        <line>
            <domain>%BWHOST-1%</domain>
            ...
        </line>
        <line>
            <domain>%BWHOST-2%</domain>
            ...
        </line>
        ...
```

- [デスクトップのみ]
  セクション<config><services><calls>の下に<move-here>タグが付いた<call-move>セクションを追加しました。

```
<config>
<services><calls>
    <call-move>
         <move-here enabled="%ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT%"/>
```

- セクション<config><services><calls>に<speech-enhancements> タグを追加しました。

```
<config>
<services><calls>
   <speech-enhancements enabled="%ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT%"/>
```

- [モバイルのみ]
  セクション<config><services><dialing><native>に<fac-prefix>タグを追加しました。

```
<config>
<services>
  <dialing>
    <native enabled="%ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT%" enable-bwks-mobility-
dependency="%DIALING_NATIVE_ENABLE_BWKS_MOBILITY_DEPENDENCY_WXT%">
      <fac-prefix value="%DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT%"/>
```

- タグ <config><services><calls><transfer-call>で自動保留属性を追加しました。

```
<config>
<services><calls>
   <transfer-call enabled="%ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT%" xsi-
enabled="%ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT%" type="%TRANSFER_CALL_TYPE_WXT%"
auto-hold="%ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT%"/>
```

- <config><protocols><sip> の下に<rtcp-xr> セクションを追加しました。

```
<config>
<protocols><sip>
    <rtcp-xr>
        <negotiation enabled="%ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT%"/>
```

次の %TAG%s が追加されました:

- %BWHOST-n%
- %ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT%
- %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT%



シスコ社外秘

- %DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT%
- %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT%
- %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT%

## 2.14 リリース 43.11 の設定ファイルの変更

- セクション<config><protocols><sip>の下のサブタグとして<registration-cleanup> を含む新しい<register-failover> セクションを追加しました。 <q-value> タグが <register-failover> タグの下に移動されました。

```
<config>
<protocols><sip>
    <q-value>1.0</q-value> <!—DEPRECATED ->
    <register-failover>
        <registration-
cleanup>%SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT%</registration-
cleanup>
        <q-value>1.0</q-value>
```

次の %TAG% が追加されました:

- %sip_register_failover_registration_cleanup_wxt%

## 2.15 リリース 43.10 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.16 リリース 43.9 の設定ファイルの変更

- <config><services><calls> セクションの<multiple-calls-per-user> タグを <simultaneous-calls-with-same-user> に変更しました。

```
<config>
<services><calls>
<simultaneous-calls-with-same-user
enabled="%ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT%"/>
```

- セクション<config><services><calls>に新しいタグ<remote-mute-control>を追加しました。

```
<config>
<services><calls>
<remote-mute-control enabled="%ENABLE_REMOTE_MUTE_CONTROL_WXT%"/>
```

- セクション<config><services><voice-mail>に新しいタグ<forwarding>を追加しました。

```
<config>
<services><voice-mail>
<forwarding enabled="%ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT%"/>
```

次の %TAG% が更新されました:



シスコ社外秘

- %ENABLE_MULTIPLE_CALLS_PER_USER_WXT% was renamed to %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT%

次の %TAG%s が追加されました:

- %ENABLE_REMOTE_MUTE_CONTROL_WXT%
- %ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT%

## 2.17 リリース 43.8 の設定ファイルの変更

- <config><services><calls> セクションに新しいタグ <multiple-calls-per-user> を追加しました。

```
<config>
<services><calls>
<multiple-calls-per-user enabled="%ENABLE_MULTIPLE_CALLS_PER_USER_WXT%"/>
```

次の %TAG% が追加されました:

- %ENABLE_MULTIPLE_CALLS_PER_USER_WXT%

## 2.18 リリース 43.7 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.19 リリース 43.6 の設定ファイルの変更

- [モバイルのみ]
  セクション<config><services><calls> の下の<hold>、<transfer-call>、<escalate-to-webex-meeting>タグのウィジェット対応の新しい属性の追加

```
<config>
<services><calls>
   <hold xsi-enabled="%ENABLE_XSI_HOLD_CALLS_WXT%" widget-
enabled="%ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT%"/>
   <transfer-call enabled="%ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT%" xsi-
enabled="%ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT%" widget-
enabled="%ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT%"
type="%TRANSFER_CALL_TYPE_WXT%"/>
   <escalate-to-webex-meeting
enabled="%ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%" widget-
enabled="%ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%"/>
```

次の %TAG%s が追加されました:

- %ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT%
- %ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT%
- %ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%



シスコ社外秘

## 2.20 リリース 43.5 の設定ファイルの変更

- [Webex Calling のみ]
  <config><services><calls> セクションで<call-block>タグを追加しました

```
<config>
<services><calls>
   <call-block enabled="%ENABLE_CALL_BLOCK_WXT%"/>
```

次の %TAG% が追加されました:

- %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT%

## 2.21 リリース 43.4 の設定ファイルの変更

- [Webex Calling のみ]
  各 <line> タグに *lineType* 属性を追加しました。 各 <line> タグに <external-id> タグも追加しました。

```
<config><protocols>
<sip>
       <lines multi-line-enabled="%ENABLE_MULTI_LINE_WXT%">
              ...
              <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-1%">
                     <external-id>%BWUSEREXTID-1%</external-id>
                     ...
              </line>
              <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-2%">
                     <external-id>%BWUSEREXTID-2%</external-id>
                     ...
              </line>
              ...
              <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-10%">
                     <external-id>%BWUSEREXTID-10%</external-id>
                     ...
              </line>
```

- <services><calls><audio>の下に<audio-quality-enhancements> セクションと <services><calls><video> の下に<video-quality-enhancements> セクションを追加しました

```
<config>
<services><calls>
<calls>
       <audio>
              <audio-quality-enhancements>
                     <mari>
                           <fec enabled="%ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT%">
                                  <x-ulpfecuc>8000</x-ulpfecuc>
                                   <payload>111</payload>
                                  <max_esel>1400</max_esel>
                                   <max_n>255</max_n>
                                  <m>8</m>
                                  <multi_ssrc>1</multi_ssrc>
                                   <non_seq>1</non_seq>
                                   <feedback>0</feedback>
                                   <order>FEC_SRTP</order>
                           </fec>
```



シスコ社外秘

```
                        <rtx enabled=”%ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT%”>
                              <mari-rtx>90000</mari-rtx>
                              <payload>112</payload>
                              <time>180</time>
                              <data-flow>1</data-flow>
                              <order>RTX_SRTP</order>
                        </rtx>
                        </mari>
            </audio-quality-enhancements>
           ...
      <video>
            <video-quality-enhancements>
                  <mari>
                        <fec enabled="%ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT%">
                              <x-ulpfecuc>8000</x-ulpfecuc>
                              <payload>111</payload>
                              <max_esel>1400</max_esel>
                              <max_n>255</max_n>
                              <m>8</m>
                              <multi_ssrc>1</multi_ssrc>
                              <non_seq>1</non_seq>
                              <feedback>0</feedback>
                              <order>FEC_SRTP</order>
                        </fec>
                        <rtx enabled="%ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT%">
                              <mari-rtx>90000</mari-rtx>
                              <payload>112</payload>
                              <time>180</time>
                              <data-flow>1</data-flow>
                              <order>RTX_SRTP</order>
                        </rtx>
                        </mari>
            </video-quality-enhancements>
```

- [デスクトップのみ]
  対応する <line><protocols><sip> の下にある最初の回線ラベル名のハードコード値を削除しました。

```
<config>
<protocols><sip>
<lines multi-line-enabled="%ENABLE_MULTI_LINE_WXT%">
   …
   <line>
       <label>%BWAPPEARANCE-LABEL-1%</label>
       …
```

次の %TAG%s が追加されました:

- %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT%
- %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT%
- %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT%
- %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT%

次のシステム レベル %TAG%s が追加されました:



シスコ社外秘

- %BW-MEMBERTYPE-n%
- %BWUSEREXTID-n%

## 2.22 リリース 43.3 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。

## 2.23 リリース 43.2 の設定ファイルの変更

セクション<services><calls>に<device-owner-restriction> タグを追加しました。

```
<config>
<services><calls>
<device-owner-restriction
enabled="%ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT%"/>
```

次の %TAG% が追加されました:

- %ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT%

## 2.24 リリース 43.1 の設定ファイルの変更

このバージョンの構成ファイルには更新がありませんでした。



シスコ社外秘

# 3 紹介

このドキュメントでは、Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントの設定について説明します。

設定ファイル「config-wxt.xml」は、モバイル用 (Android および iOS) とデスクトップ用 (Windows および MacOS) の 2 つのバージョンで提供されています。

このクライアントは、エンド ユーザーには表示されない構成を使用して設定されます。 *config-wxt.xml* は、サーバーのアドレス、ポート、クライアント自体のランタイム オプション (例えば、*[設定]* 画面に表示されるオプション) など、サーバー固有の情報を提供します。

設定ファイルは、デバイス管理から取得された後、起動時にクライアントによって読み取られます。 設定ファイルの情報は暗号化されて保存されるため、エンド ユーザーが情報を表示したりアクセスしたりすることはできません。

> **メモ:** XML プロパティにスペースを含めることはできません (たとえば、<transfer-call enabled = "%ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT%"/>)。



シスコ社外秘

# 4 のインストール

Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントは、以下からインストールできます。

https://www.webex.com/webexfromserviceproviders-downloads.html

## 4.1 ローカライズされたクライアントのダウンロード

次のローカライズ版の Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントは、次のようにダウンロードできます。

https://www.webex.com/ko/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/fr/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/pt/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/zh-tw/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/zh-cn/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/en/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/es/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/de/webexfromserviceproviders-downloads.html
https://www.webex.com/it/webexfromserviceproviders-downloads.html

## 4.2 Android クライアント

Android クライアントはアプリケーション (Android アプリケーションパッケージ [APK]) としてインストールされ、プライベート エリア内に設定と関連するデータが保持されます。

Google Play の手順に基づくバージョン管理があります。 標準の Google Play 通知が提供されます (つまり、Android は新しいバージョンのソフトウェアが利用可能であることを自動的に示します)。

新しいバージョンがダウンロードされると、古いソフトウェアは上書きされますが、ユーザーデータはデフォルトで保存されます。

ユーザーはインストールまたはインストールの解除のオプションを選択する必要はありません。

## 4.3 iOS クライアント

iOS クライアントはアプリケーションとしてインストールされ、設定関連のデータが「サンドボックス」内に保存され、設定ファイル データは暗号化されます。

Apple App Store の手順に基づくバージョン管理があります。 App Store アイコンが強調表示され、新しいバージョンのソフトウェアが使用可能であることを示します。

新しいバージョンがダウンロードされると、古いソフトウェアは上書きされますが、ユーザーデータはデフォルトで保存されます。

ユーザーはインストールまたはインストールの解除のオプションを選択する必要はありません。



シスコ社外秘

## 4.4 デスクトップ クライアント

デスクトップ クライアント (Windows および MacOS) のインストールとバージョン管理に関する情報は、以下にあります。 https://help.webex.com/en-us/nw5p67g/Webex-Installation-and-Automatic-Upgrade.



シスコ社外秘

# 5 デバイス管理

## 5.1 デバイス管理タグ

Cisco BroadWorks 版 Webex は、次の図に示されているデバイス管理タグ セットを使用します。 特定のデバイス/クライアント設定をプロビジョニングするには、[システムのデフォルト] とカスタム タグ セットが必要です。 このタグ セットは、クライアントのネットワーク/サービスの接続設定と機能のアクティベーション コントロールを柔軟に管理できます。*Device Management Tag Sets* shown in the following figure. The *System Default* and custom tag sets are required to provision specific device/client settings. This tag set provides flexibility in managing the client's network/service connectivity settings as well as feature activation controls.

このカスタムタグセットは、[システム] → [リソース] → [デバイス管理タグセット] オプションを介してシステム管理者によってプロビジョニングされます。 管理者は新しいタグセットを追加する必要があります。*System → Resources → Device Management Tag Sets* option. The administrator must add new tag sets:

- モバイル: 例 1 connect_tags() の例
- タブレット: ConnectTablet_タグ
- デスクトップ: BroadTouch_Tags

各タグを作成し、その値を設定します。 セクションリファレンスは、各タグの詳細な説明を提供します。 カスタムタグは、機能に基づいてグループで区切られ、このドキュメントで後ほど説明します。



シスコ社外秘

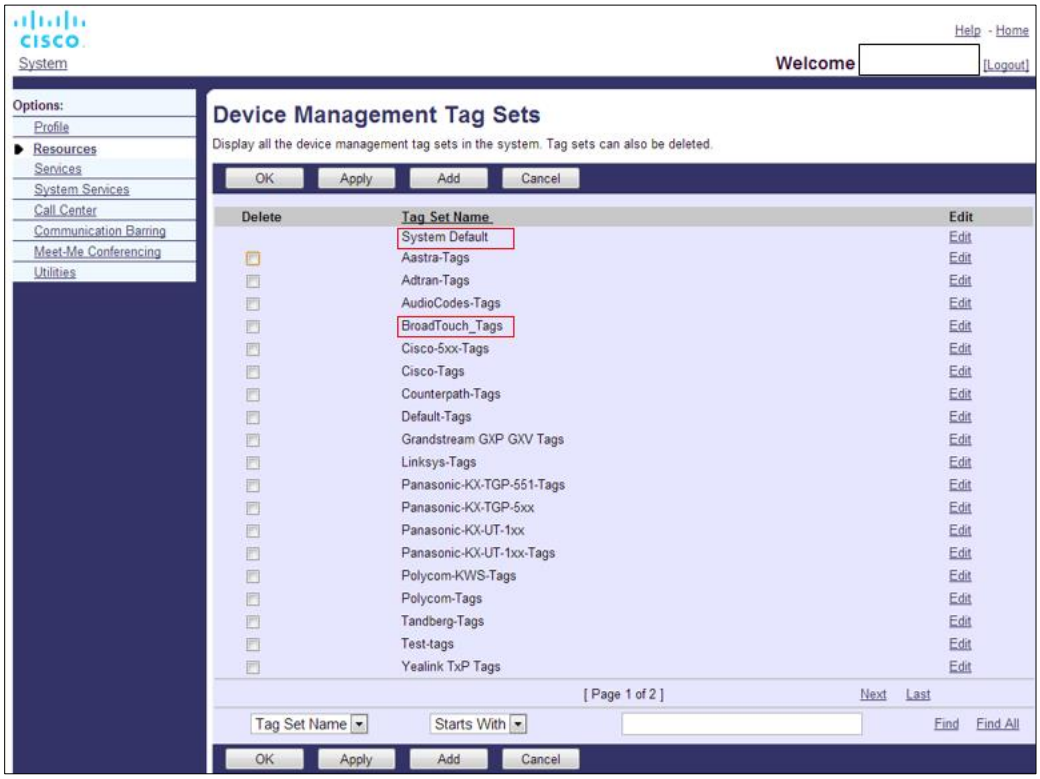



図 1 デスクトップ デバイス管理タグ セット



シスコ社外秘

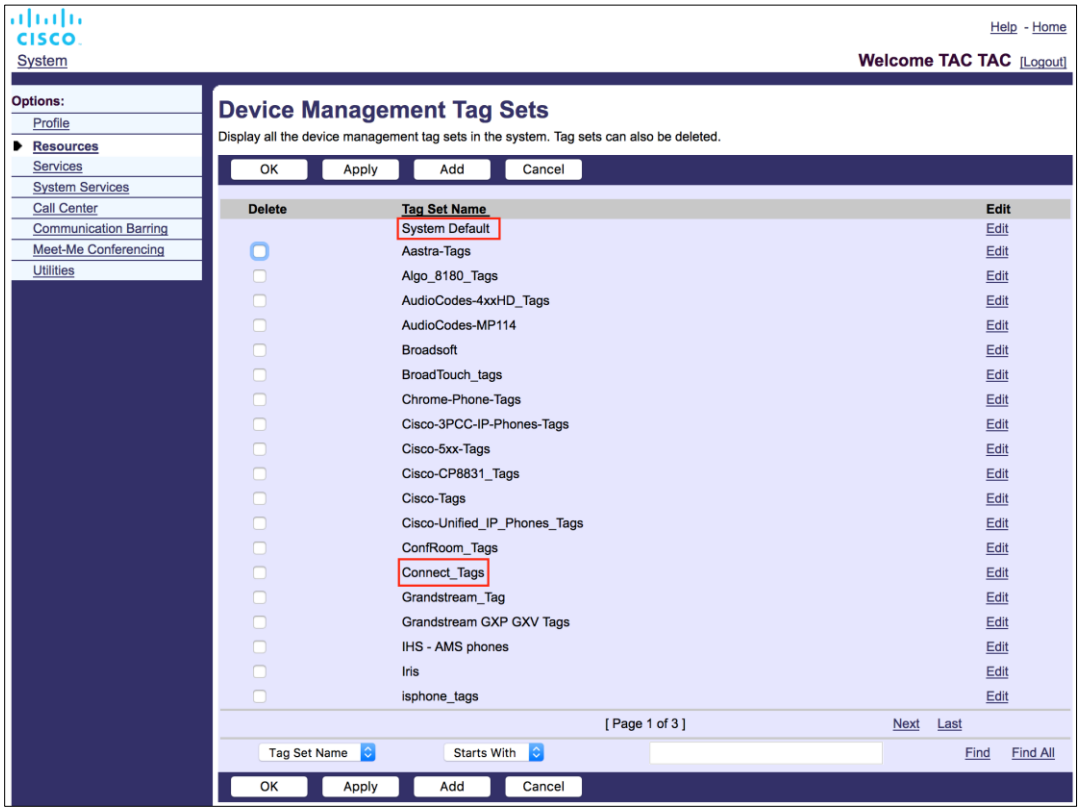



図 2 モバイル デバイス管理タグセット

## 5.2 デバイス タイプ選択の一致の強化

ユーザ グループまたは個々のユーザの機能パッケージを選択する際の柔軟性を高めるため、デバイス プロファイル タイプが（最初の）部分一致に基づいて選択されます。 これにより、顧客は異なるデバイス タイプを使用できます。

一般的なデバイス管理手順では、Cisco BroadWorks アプリケーション サーバがデバイス プロファイル タイプを提供するように指定します。 デスクトップには「Business Communicator – PC」、モバイルには「Connect – Mobile」、タブレットには「Connect – Tablet」という名前が付けられています。 デバイス プロファイルを作成してユーザに割り当てることができます。 次に、アプリケーション サーバが設定ファイルを構築し、プロファイル サーバに保存します。

ログイン時に、クライアントは Xsi を使用して割り当てられたデバイス リストをクエリし、対応するデバイス タイプ プロファイルを検索します。 クライアントは、対応するデバイス タイプ名で始まる最初のプロファイルを選択します。 その後、このデバイス プロファイルに関連付けられているデバイス プロファイルの設定データ（設定ファイル）を使用して、さまざまな機能を有効または無効にします。

これにより、さまざまなデバイス プロファイル タイプで同じクライアントが実行可能になるため、サービス プロバイダーは、ユーザまたはユーザ グループの DM のデバイス プロファイル タイプを変更するだけで、個々のユーザまたはユーザ グループの機能パッケージを変更できます。



シスコ社外秘

たとえば、サービス プロバイダーは、「Business Communicator – PC Basic」、「Business Communicator – PC Executive」、「Business Communicator – PC Assistant」など、ユーザ ロールに基づいて任意の数のデバイス プロファイル タイプを持ち、各ユーザのデバイス プロファイル タイプを変更することで、各ユーザが利用できる機能を変更できます。

受信したデバイス リストの XML に複数の一致するデバイス プロファイル タイプを持つことは想定されていませんが、1 つのみであることに注意してください。

## 5.3 クライアントの設定

クライアントの Cisco BroadWorks 版 Webex バージョンでは、通話機能を設定するために config-wxt.xml ファイルを使用します。 Webex には、このドキュメントで説明されていない別の設定手順があります。*config-wxt.xml* file for configuration of its calling functionality. There is a separate configuration procedure for Webex that is not covered in this document.

## 5.4 config-wxt.xml の展開

対応する config-wxt.xml ファイルを「Connect – Mobile」、「Connect – Tablet」、および「Business Communicator – PC」デバイス プロファイルに追加します。 Cisco BroadWorks 版 Webex は UC-One と同じデバイス プロファイルを使用しているため、簡単に展開できます。 *config-wxt.xml* file to the “Connect – Mobile”, “Connect – Tablet”, and “Business Communicator – PC” device profiles. Webex for Cisco BroadWorks uses the same device profiles as UC-One so to make it easier for deployment.

> **注意 1: 各デバイス プロファイルに対して設定ファイルが存在する必要があります。**: A config file must exist for each device profile.
>
> **注 2: Webex アプリの最新リリースに常に最新の状態に保つようにテンプレートを推奨します**: It is HIHGLY RECOMMENDED the templates to be kept up-to-date with the latest release of the Webex app

## 5.5 設定ファイル (config-wxt.xml)

_WXT サフィックスを持つ新しいカスタム タグは、レガシー クライアントから新しい Webex for Cisco BroadWorks 構成の展開を区別するために使用されます。 ただし、UC-One と Webex の間で共有される一部の (システム) タグはまだあります。**_WXT** suffix, are used to differentiate the new Webex for Cisco BroadWorks configuration deployment from legacy clients. However, there are still some (system) tags that are shared between UC-One and Webex.

一部の Cisco BroadWorks システム カスタム タグは、config-wxt.xml 設定ファイルにも使用されます。 次の各タグの詳細については、セクション *config-wxt.xml* configuration file. For more information on each of the following tags, see section*5.7Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ*を参照してください。

- %BWNETWORK-CONFERENCE-SIPURI-n%
- %BWVOICE-PORTAL-NUMBER-n%



シスコ社外秘

- %BWLINEPORT-n%
- %BWAUTHUSER-n%
- %BWAUTHPASSWORD-n%
- %BWE164-n%
- %BWHOST-n%
- %BWNAME-n%
- %BWEXTENSION-n%
- %BWAPPEARANCE-LABEL-n%
- %BWDISPLAYNAMELINEPORT%
- %BWLINEPORT-PRIMARY%
- %BWE911-PRIMARY-HELDURL%
- %BWE911-CUSTOMERID%
- %BWE911-SECRETKEY%
- %BWE911-EMERGENCY-NUMBER-LIST%
- %BW-MEMBERTYPE-n%
- %BWUSEREXTID-n%
- %BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-n%" (Webex Calling のみ)

## 5.6 システム デフォルト タグ

システム管理者は、[システム] → [リソース] → [デバイス管理タグセット] オプションからシステムデフォルトのタグにアクセスできます。 VoIP Calling パッケージがインストールされている場合は、次のシステム デフォルト タグをプロビジョニングする必要があります。*System → Resources → Device Management Tag Sets* option. The following System Default tags must be provisioned when the VoIP Calling package is installed.

| タグ | 説明 |
|---|---|
| %SBC_ADDRESS_WXT% | これは、ネットワークに展開されているセッション ボーダー コントローラ (SBC) の完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスとして設定する必要があります。<br>例: sbc.yourdomain.com |
| %SBC_PORT_WXT% | SBC_ADDRESS_WXT が IP アドレスである場合、このパラメータを SBC ポートに設定する必要があります。 is an IP address, then this parameter should be set to the SBC port.<br>SBC_ADDRESS_WXT が FQDN の場合、設定を解除することができます。<br>例: 5075 |



シスコ社外秘

## 5.7 Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ

デフォルトのシステム タグと定義する必要があるカスタム タグに加えて、通常使用され、推奨されるデバイス タイプ アーカイブ ファイル（DTAF）の一部である既存の Cisco BroadWorks システム タグがあります。 これらのタグはこのセクションに一覧表示されます。 インストールされているソリューションパッケージによっては、すべてのシステム タグが使用されるわけではありません。

| タグ | 説明 |
|---|---|
| %BWNETWORK-CONFERENCE-SIPURI-n% | これは N-Way 会議を有効にするために使用されるサーバー URI です。 |
| %BWVOICE-PORTAL-NUMBER-n% | この番号はボイスメールに使用されます。 クライアントは、ボイスメールを取得するときにこの番号をダイヤルします。 |
| %BWLINEPORT-n% | 登録などで、SIP シグナリングに使用される SIP ユーザー名。 |
| %BWHOST-n% | これは、ユーザーに割り当てられたデバイスのプロビジョニングされた回線ポートのドメイン部分です。 ユーザーのプロファイルから取得されます。<br>通常は SIP ドメインとして使用されます。 |
| %BWAUTHUSER-n% | これは認証ユーザ名です。 サブスクライバに認証が割り当てられている場合、これは、デバイス タイプの選択した認証モードに関係なく、[認証] ページでプロビジョニングされたユーザー ID です。<br>SIP ユーザ名。通常、401 および 407 シグナリングで使用されます。 デフォルトの SIP ユーザー名とは異なる場合があります。 |
| %BWAUTHPASSWORD-n% | これはユーザーの認証パスワードです。 サブスクライバに認証が割り当てられている場合、これは、デバイス タイプの選択した認証モード値に関係なく、[認証] ページでプロビジョニングされたパスワードです。<br>SIP シグナリングで使用される SIP パスワード。 |
| %BWE164-n% | このタグは、国際形式でユーザーの電話番号を提供します。 |
| %BWNAME-n% | これは、ユーザのプロファイルのサブスクライバの名と姓です。 名と姓が連結されます。<br>複数回線設定の場合、回線ラベルが設定されておらず、空でない場合は、回線セレクタの回線の表示名として使用されます。 |
| %BWEXTENSION-n% | サブスクライバの内線は、ユーザーのプロファイルでプロビジョニングされた内線から取得されます。 内線がプロビジョニングされていない場合、タグはサブスクライバの電話番号（DN）に置き換えられます。 |



シスコ社外秘

| タグ | 説明 |
| --- | --- |
| %BWAPPEARANCE-LABEL-n% | これは回線ラベルが設定されています。 回線名として使用されます (空でない場合)。 |
| %BWDISPLAYNAMELINEPORT% | これは、共有回線（共有コールアピアランス）とは対照的に、最初のプライベート回線の回線/ポートです。<br>これは、ユーザーに割り当てられたデバイスでプロビジョニングされた回線ポートです。 これはユーザーのプロファイルから取得されます。<br>ユーザーのプライマリ回線を識別するために使用されます。 |
| %BWLINEPORT-PRIMARY% | プライマリ回線ポートは、ユーザに割り当てられているデバイスでプロビジョニングされます。 このタグには、プロビジョニングされた回線ポートのドメイン部分が含まれていません。 ユーザーのプロファイルから取得されます。 |
| %BWE911-PRIMARY-HELDURL% | HELD プロトコルをサポートする RedSky 緊急ロケーション プラットフォームへの URL を指定します。 |
| %BWE911-CUSTOMERID% | RedSky HTTPS リクエストに使用される顧客 ID（HeldOrgId、CompanyID）。 |
| %BWE911-SECRETKEY% | RedSky HTTPS 要求を認証するためのシークレット。 |
| %BWE911-EMERGENCY-NUMBER-LIST% | RedSky でサポートされている緊急番号のリスト。<br>このタグを使用するには、デバイス タイプで使用されるタグ セットに %RESERVEDBW911-EMERGENCY-NUMBER-LIST% 予約済みカスタム タグを追加する必要があります。「予約済み」タグには、BroadWorks で AS_CLI/System/CallP/CallTypes > で定義された緊急番号を 911、0911、933 などのカンマ区切り形式で含める必要があります。<br>**メモ:** Webex クライアントは、緊急番号のワイルドカードをサポートしません。したがって、正確な緊急番号のみを「予約済み」カスタムタグに追加する必要があります。<br>次の例は、予約済みタグ機能を使用する方法を示しています。<br>1) ネイティブタグ %BWE911-EMERGENCY-NUMBER-LIST% がデバイスのテンプレート ファイルに追加されます<br>2) 予約済みカスタム タグ %RESERVEDBW911-EMERGENCY-NUMBER-LIST% が、デバイスで使用されるタグ セットに追加され、値 911、0911、933 が追加されます。<br>3) ファイルを再構築すると、%RESERVEDBW911-EMERGENCY-NUMBER-LIST% ネイティブ タグは 911、0911、933 に解決されます。 |



シスコ社外秘

| タグ | 説明 |
| --- | --- |
| %BW-MEMBERTYPE-n% | これは、各回線のタイプです。「仮想プロファイル」、「ユーザー」、「場所」のいずれかを指定できます。 |
| %BWUSEREXTID-n% | これは指定された回線の外部 ID です (Webex Calling のみ) |
| %BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-n%" | 対応する回線にコール ピックアップ グループが設定されているかどうかを示します。 (Webex Calling のみ) |



シスコ社外秘

# 6 カスタムタグ

このセクションでは、Cisco BroadWorks 版 Webex で使用されるカスタム タグについて説明します。 デスクトップ プラットフォームとモバイル/タブレット プラットフォームの両方に使用されるすべてのカスタム タグを一覧表示します。

ただし、このセクションで説明されている一部の設定は、クライアントの特定のリリースでのみサポートされていることに注意してください。 設定が古いクライアント バージョンに適用されないかどうかを判断するには、適切なリリース固有の設定ガイドを参照してください。

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT% | はい | はい | true | *6.1.16 着信通話拒否の動作* |
| %REJECT_WITH_XSI_MODE_WXT% | いいえ | はい | 拒否_false | *6.3.2 コールのプッシュ通知* |
| %REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_WXT% | いいえ | はい | 取り込み中 | *6.3.2 コールのプッシュ通知* |
| %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.20 転送* |
| %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.21 N 方向の電話会議と参加者 and Participants* |
| %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT% | はい | はい | false | *6.1.21 N 方向の電話会議と参加者 and Participants* |
| %MAX_CONF_PARTIES_WXT% | はい | はい | 10 | *6.1.21 N 方向の電話会議と参加者 and Participants* |
| %ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.24 通話の統計* |
| %ENABLE_CALL_PULL_WXT% | はい | はい | false | *6.1.22 コール プル* |
| %PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.2 コールのプッシュ通知* |
| %ENABLE_VOICE_MAIL_TRANSCRIPTION_WXT% | はい | はい | false | *6.1.28 Webex Calling のボイスメールの文字起こし* |
| %ENABLE_MWI_WXT% | はい | はい | false | *6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message* Waiting Indicator |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %MWI_MODE_WXT% | はい | はい | 空 | *6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message* Waiting Indicator |
| %ENABLE_VOICE_MAIL_WXT% | はい | はい | false | *6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message* Waiting Indicator |
| %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT% | はい | はい | false | *6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message* Waiting Indicator |
| %ENABLE_FORCED_LOGOUT_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.1 強制的にログアウト* |
| %FORCED_LOGOUT_APPID_WXT% | はい | いいえ | 空 | *6.2.1 強制的にログアウト* |
| %ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.1 通話転送常時* |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT% | はい | はい | true | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.29.3 BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ) |
| %ENABLE_EMERGENCY_DIALING_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.1 緊急コール* |
| %EMERGENCY_DIALING_NUMBERS_WXT% | いいえ | はい | 911、112 | *6.3.1 緊急コール* |
| %ENABLE_USE_RPORT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.14 NAT トラバーサルの SIP rport 管理* |
| %RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.14 NAT トラバーサルの SIP rport 管理* |
| %USE_TLS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.2 SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol* |
| %SBC_ADDRESS_WXT% | はい | はい | 空 | *5.6 システム デフォルト タグ* |
| %SBC_PORT_WXT% | はい | はい | 5060 | *5.6 システム デフォルト タグ* |
| %USE_PROXY_DISCOVERY_WXT% | はい | はい | false | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %USE_TCP_FROM_DNS_WXT% | はい | はい | true | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %USE_UDP_FROM_DNS_WXT% | はい | はい | true | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %USE_TLS_FROM_DNS_WXT% | はい | はい | true | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %DOMAIN_OVERRIDE_WXT% | はい | はい | 空 | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_BACKUP_SERVICE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_SRV_BACKUP_WXT% | はい | はい | true | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %PROXY_DISCOVERY_BYPASS_OS_CACHE_WXT% | Y (Windows のみ) | いいえ | false | *6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* |
| %SIP_TRANSPORTS_TCP_CONNECT_TIMEOUT_WXT% | はい | はい | 5,000 | *6.1.5 SIP ソケットを開くための設定可能なタイムアウト* |
| %SIP_TRANSPORTS_TLS_CONNECT_TIMEOUT_WXT% | はい | はい | 10000 | *6.1.5 SIP ソケットを開くための設定可能なタイムアウト* |
| %SOURCE_PORT_WXT% | はい | はい | 5060 | *6.1.7 SIP の優先ポート使用量* |
| %SIP_FAILBACK_ENABLED_WXT% | はい | いいえ | true | *6.1.8.2 SIP フェールバック* |
| %SIP_FAILBACK_TIMEOUT_WXT% | はい | いいえ | 900 | *6.1.8.2 SIP フェールバック* |
| %SIP_FAILBACK_USE_RANDOM_FACTOR_WXT% | はい | いいえ | false | *6.1.8.2 SIP フェールバック* |
| %SIP_TRANSPORTS_ENFORCE_IP_VERSION_WXT% | はい | はい | DNS | *6.1.8.3 です。 IP バージョンの強制* |
| %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT% | はい | はい | false | *6.1.10 登録で P-Associated-URI を使用する* |
| %TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT% | はい | はい | 18000 | *6.1.4 TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する* |
| %SIP_REFRESH_ON_TTL_WXT% | はい | いいえ | false | *6.1.8.4 DNS TTL 管理* |
| %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.12 SIP 更新のサポート* |
| %ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT% | はい | はい | false | *6.1.11 SIP P-Early Media（PEM）ヘッダー* |
| %ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT% | はい | はい | false | *6.1.15 SIP セッション ID* |

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT% | はい | はい | false | *6.1.13 レガシー SIP INFO FIR* |
| %SRTP_ENABLED_WXT% | はい | はい | false | *6.1.2 SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol* |
| %SRTP_MODE_WXT% | はい | はい | false | *6.1.2 SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol* |
| %ENABLE_REKEYING_WXT% | はい | はい | true | *6.1.2 SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol* |
| %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT% | はい | はい | 8000 | *6.1.17 リアルタイム トランスポート プロトコル ポート範囲* |
| %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT% | はい | はい | 8099 | *6.1.17 リアルタイム トランスポート プロトコル ポート範囲* |
| %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT% | はい | はい | 8100 | *6.1.17 リアルタイム トランスポート プロトコル ポート範囲* |
| %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT% | はい | はい | 8199 | *6.1.17 リアルタイム トランスポート プロトコル ポート範囲* |
| %ENABLE_RTCP_MUX_WXT% | はい | はい | true | *6.1.19 RTCP ミュックス* |
| %ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT% | はい | はい | true | *6.1.33 XSI イベント チャネル* |
| %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT% | はい | はい | 10000 | *6.1.33 XSI イベント チャネル* |
| %XSI_ROOT_WXT% | はい | はい | 空 (オリジナル URL を使用) | *6.1.32 XSI ルートとパス* |
| %XSI_ACTIONS_PATH_WXT% | はい | はい | /com.broadsoft.xsi-actions/ | *6.1.32 XSI ルートとパス* |
| %XSI_EVENTS_PATH_WXT% | はい | はい | /com.broadsoft.xsi-events/ | *6.1.32 XSI ルートとパス* |
| %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT% | はい | はい | false | *6.1.25 コール自動リカバリ/シームレスなコールハンドバー/ Seamless Call Handover* |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT% | いいえ | はい | CS のみ | *6.3.1 緊急コール* |
| %ENABLE_CALL_PICKUP_BLIND_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.2 コールピックアップ* |
| %ENABLE_CALL_PICKUP_DIRECTED_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.2 コールピックアップ* |
| %WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT% | はい | はい | 空 | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT% | はい | はい | 空 | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %ENABLE_CALL_CENTER_WXT% | はい | はい | false | *6.1.31 コール センター/コール キューのログイン/ログアウト* |
| %WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT% | はい | はい | 外部 | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT% | はい | はい | true | *6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings |
| %USE_MEDIASEC_WXT% | はい | はい | false | *6.1.3 SRTP の 3GPP SIP ヘッダー* |
| %ENABLE_DIALING_CALL_BACK_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.4 クリックしてダイヤル (コールバック)* |
| %DIALING_CALL_BACK_TIMER_WXT% | いいえ | はい | 10 | *6.3.4 クリックしてダイヤル (コールバック)* |
| %ENABLE_EXECUTIVE_ASSISTANT_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.3 Boss-Admin (エグゼクティブ-アシスタント) のサポート* |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT% | いいえ | はい | 35 | *6.3.2 コールのプッシュ通知* |
| %ENABLE_CALL_RECORDING_WXT% | はい | はい | false | *6.1.26 通話の録音* |
| %ENABLE_SINGLE_ALERTING_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.3 単一アラート* |
| %ENABLE_CALL_PARK_WXT% | はい | はい | false | *6.1.23 コールパーク/保留解除* |
| %CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT% | はい | はい | 10 | *6.1.23 コールパーク/保留解除* |
| %ENABLE_RTP_ICE_WXT% | はい | はい | false | *6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only) |
| %RTP_ICE_MODE_WXT% | はい | はい | アイステン | *6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only) |
| %RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT% | はい | はい | 空 | *6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only) |
| %RTP_ICE_PORT_WXT% | はい | はい | 3478 | *6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only) |
| %ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT% | はい | はい | false | *6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only) |
| %SIP_REFRESH_ON_TTL_USE_RANDOM_FACTOR_WXT% | はい | いいえ | false | *6.1.8.4 DNS TTL 管理* |
| %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.4 SIP 通話をミーティングにエスカレーションする (Webex Calling* のみ) |
| %ENABLE_DESKPHONE_CONTROL_AUTO_ANSWER_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.5 卓上電話制御通話 - 自動応答* |
| %ENABLE_DIALING_VOIP_WXT% | いいえ | はい | true | *6.3.5 MNO サポート ネイティブダイヤラーとの通話* |
| %ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.5 MNO サポート ネイティブダイヤラーとの通話* |
| %SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT% | はい | はい | true | *6.1.35 SIP-URI ダイヤル* |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %ENABLE_SIP_VIDEOCALLS_WXT% | はい | はい | true | *6.1.37 ビデオ通話を無効にする* |
| %ENABLE_LOCUS_VIDEOCALLS_WXT% | はい | はい | true | *6.1.37 ビデオ通話を無効にする* |
| %VIDEOCALLS_ANSWER_WITH_VIDEO_ON_DEFAULT_WXT% | はい | はい | デスクトップ - true<br>モバイル、タブレット - false | *6.1.37 ビデオ通話を無効にする* |
| %EMERGENCY_DIALING_ENABLE_REDSKY_WXT% | はい | はい | false | *6.1.38 緊急 (911) 通話 - E911 プロバイダーによるロケーションレポート* |
| %EMERGENCY_REDSKY_USER_REMINDER_TIMEOUT_WXT% | はい | はい | 0 | *6.1.38 緊急 (911) 通話 - E911 プロバイダーによるロケーションレポート* |
| %EMERGENCY_REDSKY_USER_MANDATORY_LOCATION_WXT% | はい | はい | -1 | *6.1.38 緊急 (911) 通話 - E911 プロバイダーによるロケーションレポート* |
| %EMERGENCY_REDSKY_USER_LOCATION_PROMPTING_WXT% | はい | はい | 例 1 once_per_login | *6.1.38 緊急 (911) 通話 - E911 プロバイダーによるロケーションレポート* |
| %ENABLE_AUTO_ANSWER_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.6 トーン通知による自動応答* |
| %ENABLE_CALLS_SPAM_INDICATION_WXT% | はい | はい | false | *6.1.41 スパムコール通知* |
| %ENABLE_NOISE_REMOVAL_WXT% | はい | はい | false | *6.1.42 PSTN/モバイル コールのノイズ除去と帯域幅拡張* |
| %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT% | はい | はい | false | *6.1.46.2 転送エラー修正 (FEC) とパケット再送信 (RTX)* |
| %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT% | はい | はい | false | *6.1.46.2 転送エラー修正 (FEC) とパケット再送信 (RTX)* |
| %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT% | はい | はい | false | *6.1.46.2 転送エラー修正 (FEC) とパケット再送信 (RTX)* |
| %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT% | はい | はい | false | *6.1.46.2 転送エラー修正 (FEC) とパケット再送信 (RTX)* |

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT% | はい | はい | false | *6.1.45 ブロック リスト (Webex Calling のみ)* |
| %ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT% | いいえ | はい | true | *6.3.5.6 MNO モビリティ - 通話中のウィジェット* |
| %ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT% | いいえ | はい | true | *6.3.5.6 MNO モビリティ - 通話中のウィジェット* |
| %ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | いいえ | はい | true | *6.3.5.6 MNO モビリティ - 通話中のウィジェット* |
| %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT% | はい | はい | false | *6.1.47 同じユーザーとの同時通話* |
| %ENABLE_REMOTE_MUTE_CONTROL_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.14 リモート ミュートコントロール イベント パッケージ (Webex Calling のみ)* |
| %ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT% | はい | はい | true | *6.1.29.2 ボイスメールへの通話転送* |
| %SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT% | はい | はい | true | *6.1.8.1 SIP フェールオーバー* |
| %ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.15 通話を移動* |
| %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.42 PSTN/モバイル コールのノイズ除去と帯域幅拡張* |
| %DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT% | いいえ | はい | 空 | *6.3.5.1 ネイティブ ダイヤラーとの通話* |
| %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT% | はい | はい | false | *6.1.20 転送* |
| %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT% | はい | はい | true | *6.1.48 rtcp-xr について* |
| %ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.6 着信発信者 ID* |



シスコ社外秘

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.6 着信発信者 ID* |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT% | いいえ | はい | false | *6.1.50 発信者番号*<br>*発信者* ID (Webex Calling のみ) |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT% | いいえ | はい | false | *6.1.50 発信者番号*<br>*発信者* ID (Webex Calling のみ) |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT% | いいえ | はい | false | *6.1.50 発信者番号*<br>*発信者* ID (Webex Calling のみ) |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT% | いいえ | はい | false | *6.1.50 発信者番号*<br>*発信者* ID (Webex Calling のみ) |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT% | いいえ | はい | false | *6.1.50 発信者番号*<br>*発信者* ID (Webex Calling のみ) |
| %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT% | はい | はい | false | *6.1.49 着信転送情報* |
| %ENABLE_BUSY_LAMP_FIELD_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.8.1 ビジー ランプ フィールド* |
| %ENABLE_BLF_DISPLAY_CALLER_WXT% | はい | いいえ | true | *6.2.8.1 ビジー ランプ フィールド* |
| %BLF_NOTIFICATION_DELAY_TIME_WXT% | はい | いいえ | 0 | *6.2.8.1 ビジー ランプ フィールド* |
| %ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.8.2 コール ピックアップ グループ (Webex Calling のみ)* |
| %ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT% | はい | いいえ | false | *6.2.8.2 コール ピックアップ グループ (Webex Calling のみ)* |
| %GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT% | はい | いいえ | 120 | *6.2.8.2 コール ピックアップ グループ (Webex Calling のみ)* |
| %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | はい | はい | true | *6.1.4 TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する* |

| タグ | デスクトップで使用されます | モバイル/タブレットで使用 | 既定値 | セクション |
|---|---|---|---|---|
| %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | はい | はい | false | *6.1.4 TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する* |
| %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | はい | はい | false | *6.1.4 TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する* |
| %ENABLE_MULTI_LINE_WXT% | はい | はい | false | *6.2.12 複数回線 - 共有回線アピアランス*<br>*モバイル向けマルチライン（Webex Calling のみ）* |
| %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | いいえ | はい | false | *6.2.4 SIP 通話をミーティングにエスカレーションする（Webex Calling）* |
| %ENABLE_CLID_DELIVERY_BLOCKING_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.5.3 発信通話回線 ID (CLID) – デュアル ペルソナ* |
| %ENABLE_MOBILITY_PERSONA_MANAGEMENT_WXT% | いいえ | はい | false | *6.3.5.3 発信通話回線 ID (CLID)* |
| %CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT% | はい | はい | 解決済み | *6.1.50.2 リモート発信者 ID 名* |
| %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT% | はい | はい | false | *パーソナル アシスタント (退席中)* |
| %PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT% | いいえ | はい | NPS | *コール プッシュ通知の配信モード (Webex Calling のみ)* |

Cisco BroadWorks 版 Webex で使用されるカスタム タグを UC-One で使用されるタグにマッピングする方法の詳細については、セクション*8Cisco BroadWorks 版 Webex と UC-One 間のカスタム タグ マッピング and* UC-One を参照してください。



シスコ社外秘

## 6.1 共通機能

### 6.1.1 SIP サーバー設定

クライアントは一般的に SIP ネットワークを使用するように設定されており、これは config-wxt.xml ファイルを変更することによって行われます。 通常、次のパラメータを変更する必要があります。*config-wxt.xml* file. Typically, the following parameters must be changed:

- SIP ドメイン。 これは、通常、SIP ヘッダーおよびリモート（XSI）コールでは、独自の SIP URI のドメイン部分（独自の SIP URI は回線ポートとも呼ばれます）として使用されます。 独自の SIP URI のユーザ部分は、SIP クレデンシャル設定（<credentials>のパラメータ <username>）から取得されます。
- DNS 解決に失敗する場合、SIP プロキシ サーバの SIP サーバ URI または IP アドレス。 TLS を使用するには、TLS 証明書の検証が失敗するため、プロキシパラメータで IP アドレスを使用することはできません。 プロキシ ポートの詳細については、DM タグ %SOURCE_PORT_WXT% を参照してください。 プロキシ アドレス パラメータで IP アドレスが使用されている場合は、DNS TTL 管理機能を使用できません。 通常、これらの理由から、このフィールドの IP アドレスを使用することは推奨されません。

他のパラメータを変更して、通話のさまざまな機能を有効にすることもできます。 ただし、以前の設定では、次の基本機能を使用できます。

- SIP ネットワークに登録しています。
- 音声またはビデオ通話を行う。
- 複数のプロキシを使用できる DNS ベースのプロキシ検出の実行。

SIP 登録を有効にすると、MWI の SIP SUBSCRIBE を有効にするには、別の設定パラメータを使用して行う必要があります。 ボイスメールの詳細については、セクション*6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message* Waiting Indicator を参照してください。

基本的な SIP 設定は、SIP コールが無効になっている場合でも、MWI に常に必要です。 MWI は SIP NOTIFY に依存します。

SIP サーバのセットアップは、次の基本スキームに従います。

- プロキシ アドレスには、SIP サーバ URI が含まれています。
- 定義できるプロキシは 1 つだけです。
- DNS プロキシ検出は、DNS の適切なセットアップを必要とする多くのプロキシをサポートします。

さらに、SIP タイマーは設定ファイルに公開されます（変更は推奨されません）。

```
<config>
<protocols>
<sip>
    <timers>
```



シスコ社外秘

```
        <T1>500</T1>
        <T2>4000</T2>
        <T4>5000</T4>
    </timers>
```

- T1:ネットワーク往復遅延の時間（ミリ秒単位）。
- T2:招待されていない要求と招待応答を再送信するまでの最大時間（ミリ秒単位）。
- T4:メッセージがネットワークに残る最大時間（ミリ秒単位）。the network.

各回線には、ボイスメール番号、会議 URI、ドメイン、および SIP 認証資格情報などのパラメータがあります。 必要に応じて、401 シグナリングと 407 シグナリングに個別のクレデンシャルを設定できます。

次の例と表は、SIP 設定に使用される最も一般的な DM タグに関する情報を示しています。

```
<config>
<protocols><sip>
<lines multi-line-enabled="%ENABLE_MULTI_LINE_WXT%">
        <line>
                <label>%BWAPPEARANCE-LABEL-1%</label>
                <name>%BWNAME-1%</name>
                <phone-number>%BWE164-1%</phone-number>
                <extension>%BWEXTENSION-1%</extension>
                <external-id>%BWUSEREXTID-1%</external-id>
                <voice-mail-number>%BWVOICE-PORTAL-NUMBER-1%</voice-mail-number>
                <conference-service-uri>sip:%BWNETWORK-CONFERENCE-SIPURI-
1%</conference-service-uri>
                <domain>%BWHOST-1%</domain>
                <credentials>
                        <username>%BWLINEPORT-1%</username>
                        <password>%BWAUTHPASSWORD-1%</password>
                        <auth>
                                <auth401>
                                        <default>
                                                <username>%BWAUTHUSER-1%</username>
                                                <password>%BWAUTHPASSWORD-1%</password>
                                        </default>
                                        <realm id="%BWHOST-1%">
                                                <username>%BWAUTHUSER-1%</username>
                                                <password>%BWAUTHPASSWORD-1%</password>
                                        </realm>
                                </auth401>
                                <auth407>
                                        <default>
                                                <username>%BWAUTHUSER-1%</username>
                                                <password>%BWAUTHPASSWORD-1%</password>
                                        </default>
                                        <realm id="%BWHOST-1%">
                                                <username>%BWAUTHUSER-1%</username>
                                                <password>%BWAUTHPASSWORD-1%</password>
                                        </realm>
                                </auth407>
                        </auth>
                </credentials>
        </line>
        …
</lines>
```



シスコ社外秘

```
<proxy address="%SBC_ADDRESS_WXT%" port="%SBC_PORT_WXT%" />
<preferred-port>%SOURCE_PORT_WXT%</preferred-port>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %BWLINEPORT-n% | 空 | 文字列 | 通常、SIP ユーザ名。<br>詳細については、セクション*5.7 を参照してください。Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ*.<br>例: ジョンドー |
| %BWAUTHPASSWORD-n% | 空 | 文字列 | 通常は SIP パスワード。<br>詳細については、セクション*5.7 を参照してください。Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ*.<br>例: 秘密パスワード |
| %BWE164-n% | 空 | 電話番号 | 国際形式でユーザーのデフォルトの電話番号。<br>詳細については、セクション*5.7 を参照してください。Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ*.<br>例: 12345678 |
| %SBC_ADDRESS_WXT% | 空 | 文字列 | 詳細については、セクション*5.6 を参照してください。システム デフォルト タグ*.<br>例: sbcexample.domain.com |
| %SBC_PORT_WXT% | 5060 | 番号 | 詳細については、セクション*5.6 システム デフォルト タグ*を参照してください。<br>例: 5060 |
| %BWHOST-n% | 空 | 文字列 | 通常は SIP ドメインとして使用されます。<br>詳細については、セクション*5.7 を参照してください。Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ*.<br>例: exampledomain.com のドメイン |
| %SOURCE_PORT_WXT% | 5060 | 番号 | 通常、preferred-port パラメータに使用されます。*preferred-port* parameter.<br>詳細については、セクション*6.1.7SIP の優先ポート使用量*を参照してください。<br>例: 5061 |
| %BWUSEREXTID-n% | 空 | 文字列 | （Webex Calling のみ）回線の外部 ID を保留します<br>詳細については、*6.2.13 複数回線 - 仮想回線 (Webex Calling のみ)*を参照してください。<br>例: 30f69bf7-710b-4cd0-ab4b-35ab393a1709 |



シスコ社外秘

メモ: モバイル端末で標準 SIP ポート (5060) を使用する際に発生する既知の問題のため、SIP ポートを 5060 以外 (5075 など) にすることが強く推奨されています。

### 6.1.2 SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol

クライアントは、メディア暗号化に TLS を介した SIP シグナリングと Secure Real-time Transport Protocol（SRTP）を使用するように設定できます。 ただし、次の例に示すように、これらの機能を設定で有効にする必要があります。 動的 SIP プロキシ検出が使用される場合、DNS SRV 優先順位はこのようなスタティック パラメータ (%USE_TLS_WXT%) を上書きし、DNS SRV で優先順位が高い場合は、非 TLS 転送が使用されます。 ダイナミック SIP プロキシ検出の詳細については、セクション (%USE_TLS_WXT%), and non-TLS transport is used if it has a higher priority in DNS SRV. For more information on dynamic SIP proxy discovery, see section*6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出を参照してください。*

動的プロキシ検出が使用されない場合、SIP に対して TLS を有効にすると、その検出が使用されます。

SIP ALG がネットワークで使用される SIP ポートとトランスポート プロトコルの推奨事項の詳細については、『Cisco BroadWorks 版 Webex ソリューション ガイド』を参照してください。 *Webex for Cisco BroadWorks Solution Guide*.

使用する証明書は有効である必要があります。 さらに、中間証明書もリンクされるように、証明書チェーンもそのままである必要があります。 既定でデバイスにすでに存在できるように、広く使用されている証明書を使用することをお勧めします。 手動または一括プロビジョニングを使用してローカルに証明書を追加することもできますが、通常は実行されません。

メディア暗号化に関連する SRTP を有効にするには、別の設定があります。

RTP に加えて、RTCP トラフィックは、前述の設定を使用して RTP と同じメカニズムで保護できます。

SIP/TLS 暗号については、*別紙 A: TLS 暗号化を参照してください。*

SRTP は、次の 3 つの異なる側面でメディア ストリームのセキュリティを提供するために使用されます。

- 機密性 (データは暗号化されています)
- 認証（相手側または相手の ID の保証）
- 整合性（再生攻撃などの対策）

メディア フレームワークの現在のバージョンでは、保護のための AES 128 カウンター モードと、認証用の HASH メッセージ認証コード（HMAC）SHA-1 がサポートされています。 マスター キー サイズは 16 バイト、マスター salt は 14 バイトです。



シスコ社外秘

メディア フレームワークは、フル（80 ビット）とショート（32 ビット）の両方の認証タグをサポートします。 クライアントは SIP シグナリングの一部として SDP 内のキーを交換し、コールの両側は、使用しているキーをもう一方の側に送信します。

SRTP は、次の例に示す設定を使用して有効にできます。 現在の実装では、SDP セキュア RTP プロファイルのみを使用し、Audio Visual Profile (AVP) および Secure Audio Visual Profile (SAVP) エントリ用のマルチライン SDP をサポートしています。 SRTP 実装は、さまざまな SBC を使用して通常の展開構成で正常にテストされています。 Audio Visual Profile (AVP) and Secure Audio Visual profile (SAVP) entries. The SRTP implementation has been tested successfully in its usual deployment configuration with various SBCs. AVP プロファイルを使用した暗号化のみをサポートするエンドポイントとの相互運用性テスト (IOT) はサポートされていません。 (IOT) with endpoints that only support encryption using the AVP profile is not supported.

複数の m 回線が常に使用されるように、SRTP に関連する複数回線 SDP 手順が実装されています。 AVP と SAVP の個別の m 回線が使用されます。

ただし、SBC 構成に注意する必要があります。特に、SDP 内の RTP/SAVP に関連付けられている着信「M=」回線が削除されないようにする必要があります。特定のケースでは SRTP コールがブロックされる可能性があるため、SBC 構成に注意する必要があります。

ただし、いくつかの異なるネットワーク設定は可能ですが、一部の展開では SBC がメディア トラフィックに関与していない一方で、他の展開では SBC への各クライアント RTP メディア レッグは SBC 経由で個別に暗号化され、ネゴシエートされます。 展開によっては、SBC では複数の SDP 回線を使用できません。

SBC は、通話セットアップ時に SDP m 回線の順序を変更して、AVP（非暗号化）または SAVP（暗号化）m 回線を最初に設定することもできます。 したがって、最初の動作中の m 回線を選択するクライアントは、暗号化または非暗号化のトラフィックを選択します。 さまざまな SRTP 設定オプションは次のとおりです。

- [必須(Mandatory)]:コールのセットアップ時に、最初の SDP は、オファーリング時に SAVP m 回線のみを含み、クライアントは応答時に SDP の SAVP m 回線のみを受け入れます。そのため、SRTP コールのみ可能です。
- [優先(Preferred)]:コールセットアップ時、最初の SDP には AVP と SAVP の M 回線の両方が含まれますが、SAVP は提供時に優先順位を示します。 応答時に、最初の m 回線でない場合でも、クライアントは SAVP を選択します（SIP 仕様に従って、応答時に m 回線の順序は変更されません）。
- オプション - 通話セットアップ時、最初の SDP は提供時に SAVP と AVP の両方を含みますが、AVP は最初に優先順位を示します。 応答時に、クライアントは最初の m-line、AVP、または SAVP を選択します。
- SRTP が有効になっていない – 提供時に最初の SDP に SAVP m-line がありません。 応答時、SAVP は受け入れられないため、RTP コールのみ可能です。

- トランスポート - トランスポート プロトコルに基づいて SRTP モードを自動的に選択します。 TLS が使用される場合、必須 SRTP モードが有効になります。 TCP または UDP が使用される場合、SRTP は使用されません。

SRTP と RTP はコールの両方向で対称です。つまり、送信と受信のプロファイルが同じです。

```
<config>
<protocols><sip>
<secure>%USE_TLS_WXT%</secure>
```

```
<config>
<protocols><rtp>
<secure enabled="%SRTP_ENABLED_WXT%" mode="%SRTP_MODE_WXT%" rekey-
always="%ENABLE_REKEYING_WXT%"/>
```

SRTP が有効になっている場合、Secure Real-Time Control Protocol（SRTCP）も使用されます。

一部の展開では、SRTP の再キーはサポートされていません。 したがって、SRTP 再キーを有効化/無効にするための設定パラメータがあります。 ただし、rfc3264 に従って、更新された SDP で受信すると、新しいキーは常に使用されます。 設定できは新しいキーの送信にのみ適用されます。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %USE_TLS_WXT% | false | true、false | 「false」に設定すると、SIP TLS は非アクティブになります。<br>「true」に設定すると、SIP TLS が有効になります。<br>*6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出* が使用されている場合、このパラメータは無視されます。 |
| %SRTP_ENABLED_WXT% | false | true、false | 「false」に設定すると、SRTP は非アクティブになります。<br>「true」に設定すると、SRTP がアクティブになります。 |
| %SRTP_MODE_WXT% | オプショナル | 必須、優先、オプション、輸送 | コールセットアップでの SRTP の優先方法を定義します。<br>デフォルト値は “optional” です。 |
| %ENABLE_REKEYING_WXT% | true | true、false | SRTP の SIP（SDP）再キーを有効にします。 |

**メモ:** ICE サポートが有効になっている場合 (*6.1.18ICE サポート (Webex Calling のみ)* (Webex Calling only)を参照)、再キーは常に実行されます (設定から %ENABLE_REKEYING_WXT% の値は無視されます)。

### 6.1.3 SRTP の 3GPP SIP ヘッダー

新しい 3GPP 仕様では、Secure Real-time Transport Protocol（SRTP）を使用するために、追加の SIP ヘッダーが必要です。 詳細については、3GPP TS 24.229 と以下を参照してください。 *3GPP TS 24.229* as well as the following:

https://tools.ietf.org/html/draft-dawes-dispatch-mediasec-parameter-07

この仕様で要求されるヘッダーは、この仕様が使用されていない展開での SIP 通話を中断する場合があります。 したがって、これらのヘッダーは、サーバ側がサポートしている環境でのみ使用することを推奨します。

ヘッダーの使用のみ設定可能です。 個々のヘッダーに対してこれ以上の設定を行うことはありません。 すべてのヘッダーは有効または無効のいずれかです。

```
<config>
<protocols><sip>
<use-mediasec enabled="%USE_MEDIASEC_WXT%"/>
```

次のタグは、この機能を制御します。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %USE_MEDIASEC_WXT% | false | true、false | SRTP ネゴシエーションの 3GPP SIP ヘッダーを有効にします。 |

### 6.1.4 TCP、TLS、UDP の使用およびキープアライブを強制する

Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントは、SIP シグナリングと RTP メディアの両方に TCP、TLS、または UDP のいずれかを使用するように設定できます。 クライアントのデフォルトは TCP です。 TCP キープアライブがない場合、SIP TCP 接続は非アクティブ状態が続いた後に閉じられることに注意してください。Cisco BroadWorks client can be configured to use either TCP, TLS or UDP for both SIP signaling and RTP media. Note that the client defaults to TCP. Note as well that without TCP keepalive, SIP TCP connections are closed after a period of inactivity.

次の例は、この設定ノードを示しています。

```
<config>
<protocols><sip>
<transports>
   <tcp-size-threshold>%TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT%</tcp-size-threshold>
```



シスコ社外秘

次のタグは、クライアントが TCP または UDP を使用するかどうかを制御します。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 (バイト) | 説明 |
|---|---|---|---|
| %TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT% | 0 | 0 | TCP の使用を強制します。 クライアントに TCP または UDP を使用するかどうかは、サービス プロバイダー次第です。ただし、デフォルト値「0」で TCP を使用することをお勧めします。 |
| | 0 | 1 ～ 99,000 | メッセージ サイズがここで指定した値を下回る場合、UDP が使用されます。<br>メッセージ サイズが設定値より大きい場合、デフォルトは TCP になります。 UDP を使用するには、1500 がデフォルトの推奨です。 |
| | 0 | 100000 | UDP の使用を強制します。 |

同じ設定ノードには、次の例で示されている UDP、TCP、TLS キープアライブ用のパラメータもあります。

```
<config>
<protocols><sip>
<transports>
        …
        <udp>
                <keepalive enabled="%UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%">
                        <timeout>20</timeout>
                        <payload>crlf</payload>
                </keepalive>
        </udp>
        <tcp>
                <keepalive enabled="%TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%">
                        <timeout>0</timeout>
                        <payload></payload>
                </keepalive>
        </tcp>
        <tls>
                <keepalive enabled="%TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT%">
                        <timeout>0</timeout>
                        <payload></payload>
                </keepalive>
        </tls>
</transports>
```

使用可能なパラメータは次のとおりです。

- TCP または TLS キープアライブを有効にし、可能な値 true/false を有効にします。ノードが見つからない場合は、デフォルトは “false” です。 この機能が有効になっている場合、SIP に UDP トランスポートが使用されている場合でも、TCP キープアライブが送信されることに注意してください。



シスコ社外秘

- UDP キープアライブを有効にし、可能な値 true/false を有効にします。ノードが見つからない場合は、デフォルトは “true” です。 この機能が有効になっている場合、TCP トランスポートが SIP に使用されていても UDP キープアライブが送信されることに注意してください。 さらに、TCP が SIP に使用されている場合でも、クライアントは RFC 3261 に従って UDP 経由のトラフィックも受け入れます。*RFC 3261*.
- タイムアウトは、キープアライブ メッセージを送信するまでの最大非アクティブ時間を秒単位で指定します。 値なしとは、プロトコルでキープアライブが無効であることを意味します。
- キープアライブ メッセージのペイロード、可能な値（プロトコルでキープアライブが無効であることを示す値はありません）。
  - CRLF
  - Null（使用しない）
  - カスタム文字列 (使用不可)**not to be used**)

キープアライブは、NAT トラバーサル目的で使用して、NAT バインディングを少し余分なトラフィックでオープンに保つことができます。

キープアライブ用のサーバ IP アドレスとポートは、SIP プロキシ検出の通常の手順を使用して決定されます。 SIP 動的プロキシ検出で取得された SIP ポートと、トランスポート プロトコルの選択は、静的ポートまたはトランスポート設定よりも優先されることに注意してください。

動的プロキシ検出の詳細については、セクション*6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出を参照してください。*

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | true | true、false | UDP トランスポート用にキープアライブ パケットを送信するかどうかを制御します。 |
| %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | false | true、false | TCP トランスポート用にキープアライブ パケットを送信するかどうかを制御します。 |
| %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | false | true、false | TLS トランスポートに対してキープアライブ パケットを送信するかどうかを制御します。 |

### 6.1.5 SIP ソケットを開くための設定可能なタイムアウト

以前は、SIP ソケットを開くタイムアウトは、TCP の場合は 5 秒、TLS の場合は 10 秒にハードコード化されていました。 これらのタイムアウトは設定可能になりました。

```
<config>
```



シスコ社外秘

```
    <protocols>
        <sip>
            <transports>
                <udp>
                    …
                </udp>
                <tcp>
                    …
                    <connect-
timeout>%SIP_TRANSPORTS_TCP_CONNECT_TIMEOUT_WXT%</connect-timeout>
                </tcp>
                <tls>
                    <connect-
timeout>%SIP_TRANSPORTS_TLS_CONNECT_TIMEOUT_WXT%</connect-timeout>
                </tcp>
            </transports>
```

以下のタグは、ソケット接続のタイムアウトを制御します（ミリ秒単位）。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %sip_transports_tcp_connect_timeout_wxt% | 5,000 | <integer> - タイムアウト（ミリ秒単位） | 表 1TCP 設定オプション |
| %sip_transports_tls_connect_timeout_wxt% | 10000 | <integer> - タイムアウト（ミリ秒単位） | TLS トランスポートが使用されている場合のソケット接続のタイムアウトです。 |

### 6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出

SIP 動的プロキシ検出機能を有効にするには、次の例を参照してください。

```
<config>
<protocols><sip>
<proxy-discovery enabled="%USE_PROXY_DISCOVERY_WXT%”
tcp=”%USE_TCP_FROM_DNS_WXT%" udp="%USE_UDP_FROM_DNS_WXT%"
tls="%USE_TLS_FROM_DNS_WXT%">
    <record-name>%SBC_ADDRESS_WXT%</record-name>
     <domain-override>%DOMAIN_OVERRIDE_WXT%</domain-override>
</proxy-discovery>
```

DNS SRV からのトランスポート プロトコル エントリは、このセクションに記載されている手順に従って、多くが使用可能な場合に制御できます。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %USE_PROXY_DISCOVERY_WXT% | false | true、false | 音声およびビデオ コールに対してダイナミック SIP プロキシ検出を有効にします。<br>推奨値は “true” です。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SBC_ADDRESS_WXT% | 空 | 文字列 | この Cisco BroadWorks タグは、通常、record-name パラメータに使用されます。 有効な URL である必要があります。IP アドレスである必要はありません。<br>詳細については、セクション*5.6 システム デフォルト タグ*を参照してください。<br>例: sbc.domain.com |
| %DOMAIN_OVERRIDE_WXT% | 空 | 文字列 | このカスタム タグは、ドメイン オーバーライドに使用されます。 詳細については、次のセクションを参照してください。<br>例: other.domain.com |
| %USE_TCP_FROM_DNS_WXT% | true | true、false | このパラメータ値が「false」の場合、このトランスポートプロトコル（TCP）の DNS SRV 結果が破棄されます。<br>「true」の場合、このトランスポートプロトコル（TCP）の DNS SRV の結果が使用されます。 SRV の優先順位によっては、別のトランスポートを選択することもできます。 |
| %USE_UDP_FROM_DNS_WXT% | true | true、false | このパラメータ値が「false」の場合、このトランスポートプロトコル（UDP）の DNS SRV 結果が破棄されます。<br>「true」の場合、このトランスポートプロトコル（UDP）の DNS SRV の結果が使用されます。 SRV の優先順位によっては、別のトランスポートを選択することもできます。 |
| %USE_TLS_FROM_DNS_WXT% | true | true、false | このパラメータ値が「false」の場合、このトランスポートプロトコル（TLS）の DNS SRV 結果が破棄されます。<br>「true」の場合、このトランスポートプロトコル（TLS）の DNS の結果が使用されます。 SRV の優先順位によっては、別のトランスポートを選択することもできます。 |
| %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_BACKUP_SERVICE_WXT% | true、false | true | DNS バックアップ サービスを有効/無効にします。 有効にすると、SIP プロキシ アドレスに対して A/AAAA 解決が実行されます。 SRV/NAPTR サービス ディスカバリが有効になっている場合にのみ考慮されます。 |
| %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_SRV_BACKUP_WXT% | true、false | true | 「true」に設定し、NAPTR サービス ディスカバリが失敗した場合、または結果を返さない場合、設定されたホストに対して SRV サービス ディスカバリが実行されます。 「false」に設定すると、SRV 検出は実行されません。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %PROXY_DISCOVERY_BYPASS_OS_CACHE_WXT% | true、false | false | OS DNS キャッシュのバイパスを許可します。 |

DNS により、クライアントは RFC 3263 に従って SIP プロキシの IP アドレス、ポート、およびトランスポートプロトコルを取得できます。

DNS SRV、Naming Authority Pointer (NAPTR)、および A レコードクエリがサポートされています。 ログイン時、3 段階のフローは次のとおりです。Naming Authority Pointer (NAPTR) and A-record queries are supported. At login, the 3-step flow is as follows:

1. 上記 <*record-name*> フィールドを使用して NAPTR クエリを実行し、トランスポートプロトコルでサーバー URI を取得します。 <*record-name*> パラメータの値は、DNS が解決する全ドメインである必要があり、IP アドレスにはできません。

2. 最終サーバ URI とポートを取得するために、SRV クエリを使用して NAPTR クエリで見つかった項目を解決します。 SRV クエリーで使用されるドメイン部分は、最後のサーバ URI（およびポート）を検索するために、NAPTR クエリーの結果から取得されます。 DNS SRV クエリから受信したポートは、DNS SRV エントリが利用可能な場合に使用されます。設定ファイルからのみポートは、設定ファイル内のスタティック プロキシに適用され、SRV を使用して解決された URI には適用されません。

   さまざまなレコード名の使用については、次の例を参照してください。

   NAPTR が見つからない場合、クライアントは <*domain*> パラメータから取られたレコード名で <*domain-override*> パラメータが存在しない限り、<*domain-override*> が使用され、TCP、UDP、および TLS (*_sip_protocol* [UDP、TCP、または TLS]) の個別のエントリを検索しようとします。 Stream Control Transmission Protocol（SCTP）はサポートされていないことに注意してください。 SRV クエリで結果が得られない場合、プロキシ ディスカバリは失敗し、コールが利用できないことを示すエラーが表示されます。 この場合、SIP 登録はありません。 ただし、すべての SRV クエリーが失敗した場合、またはそこに受信したサーバが機能しない場合でも、フォールバックとして、クライアントは設定されたスタティック プロキシが機能するかどうかを確認します。<PROXY ADDRESS> で指定された URI への A-クエリを使用して、動作する SIP 登録を提供する IP アドレスが生成されるかどうかを確認します。 この最後のリゾート ケースでのポートとトランスポートは、*tcp-threshold* および <*secure*> パラメータから取得されます。



シスコ社外秘

3. A レコードクエリを使用して見つかった URI を解決します。 受信した最終的な IP アドレスは、SIP プロキシへの有効な接続を取得するために受信した順番で試行されます。 この注文は、DNS でサービス プロバイダーによって定義できます。 A レコードルックアップが成功する最初の SIP プロキシ URI が選択され、それが機能しなくなるか、クライアントがログアウトされるまで使用されます。 A クエリの手順では、複数の受信者がいても、一度に 1 つの IP アドレスだけが使用されます。 ただし、すべての SRV エントリは、ログアウトまたはネットワークが失われるまで解決されます。

**重要な注記**

**注意 1: DNS プロキシ検出で、トランスポート プロトコル用の動作する SIP プロキシ URI を受信することにより、SRV ステップでトランスポート プロトコルの選択結果が生じた場合、構成ファイルで UDP または TCP を選択するために一般的に使用される tcp-threshold パラメータを上書きします。 SIP/TLS の設定にも同じことが適用されます。 TCP または UDP は、DNS の優先度に応じて使用されます。**: If DNS proxy discovery results in transport protocol selection in the SRV step by receiving a working SIP proxy URI for a transport protocol, it overrides the *tcp-threshold* parameter typically used to select UDP or TCP in the configuration file. The same also applies to configuration of SIP/TLS. TCP or UDP is used depending on the priority in DNS.

**注 2: SRV 経由で受信された項目は、設定ファイルのスタティック プロキシよりも優先されます。 NAPTR 順序は表示されません。SRV 優先度カウントのみです。 SRV が同等のトランスポートプロトコル、優先順位、および重みを持つ複数の項目が表示される場合、受信した項目はランダムに選択されます。 NAPTR の重み付けはこのリリースではサポートされていませんが、SRV の重み付けがサポートされています。 SRV 優先順位が最初に確認され、同じ優先順位を持つ項目については、特定のサーバが次に試行される確率を決定するために重み付けが行われます。**: Items received via SRV are prioritized over the static proxy in the configuration file. The NAPTR order is not looked at; only SRV priority counts. When SRV results in several items with equal transport protocol, priority, and weight, any one received is selected at random. NAPTR weights are not supported in this release but SRV weights are supported. SRV priority is looked at first, and for items with equal priority, weight is looked at to determine the likelihood in which a certain server is tried next.

**注意 3: オプション domain-override パラメータでは、NAPTR の結果が省略されたときに、SIP ドメイン設定パラメータ内の A レコード名以外の A レコード名を SRV で解決できます。 domain-override パラメータの使用については、次の例を参照してください。**: The optional *domain-override* parameter allows A-record name other than the one in the SIP domain configuration parameter to be resolved with SRV when NAPTR results are omitted. See the following examples for the usage of the *domain-override* parameter.

**注意 4: クライアントは DNS 操作にオペレーティング システムのプリミティブを使用し、通常、DNS 応答は DNS 応答の TTL に準拠するためにキャッシュされます。**: The client uses operating system primitives for DNS operations and, typically, DNS responses are cached to honor the TTL of the DNS response.



シスコ社外秘

**注意 5: NAPTR レコードの DNS タイプ (サービス) は RFC 3263 の手順に従う必要があります。そうしないと、DNS の解決に失敗する可能性があります。 たとえば、SIP OVER TLS には SIPS+D2T を使用する必要があります。**: The DNS type (service) for NAPTR records must follow *RFC 3263* procedures, otherwise, DNS resolution may fail. For example, it is required to use SIPS+D2T for SIP over TLS.

**注意 6: クライアントは、NAPTR サービスの特定のプレフィックスのみをサポートします。 サポートされているプレフィックスを次に示します。**: The client supports only certain prefixes for NAPTR services. The following lists the supported prefixes:

SIP+D2U -> _sip._udp

SIP+D2T -> _sip._tcp

SIPS+D2T -> _sips._tcp

SIPS+D2T -> _sips._tls

NAPTR 応答にサービス タイプに一致しないプレフィックスを持つレコードが含まれている場合、このレコードは無視されます。

### 例 1: ドメインオーバーライド設定パラメータなしで DNS プロキシ検出を使用する

以下は、SIP over TCP のみが使用され、ステップ 1 の NAPTR クエリが結果を返した場合の SIP プロキシ検出を使用した設定の例です。

```
<config>
<protocols><sip>
<proxy address="domain.com" port="5060"/>
<proxy-discovery enabled="true" >
   <record-name>record-domain.com</record-name>
    <domain-override>override-domain.com</domain-override>
</proxy-discovery>
<domain>sip-domain.com</domain>
```

これにより、プロトコル レベルで次の手順になります。

```
1. NAPTR query for record-domain.com, answer:
record-domain.com.
28591 IN NAPTR 100 10 "S" "SIP+D2T" "" _sip._tcp.test.sip.record-domain.com.
2. SRV query for _sip._tcp.test.sip.record-domain.com (received in the NAPTR
query), answer
_sip._tcp.test.sip.record-domain.com. 28635 IN SRV
10 10 5061 test.sipgeo.record-domain.com.
3. A-record query for test.sipgeo.record-domain.com, answer:
test.sipgeo.record-domain.com. 16 IN A 1.2.3.4
```

その結果、SIP 登録は、ポート 5061（SRV ステップで受信）を使用して、IP アドレス 1.2.3.4 に対して TCP を介して行われます。

### 例 2: 設定ファイルのドメインオーバーライド パラメータの使用

以下は、SIP ドメインがプロキシドメインと異なり、UDP 経由の SIP のみが使用され、NAPTR クエリでは結果を返さない、SIP プロキシ検出を使用した設定の 2 番目の例です。



シスコ社外秘

```
<config>
<protocols><sip
<proxy address="domain.com" port="5060"/>
<proxy-discovery enabled="true">
    <record-name>record-domain.com</record-name>
     <domain-override>override-domain.com</domain-override>
</proxy-discovery>
<domain>sip-domain.com</domain>
```

これにより、プロトコル レベルで次の手順が実行されます。

```
1. NAPTR query for record-domain.com, no answer.
2. SRV query for _sip._tcp.override-domain.com (from configuration file),
answer
_sip._tcp.override-domain.com. 28635 IN SRV
10 10 5061 test.override-domain.com.
3. A-record query for test.override-domain.com, answer:
test.sipgeooverride-domain.com. 16 IN A 4.3.2.1
```

その結果、SIP 登録は、ポート 5061（SRV ステップで受信）を使用して、IP アドレス 4.3.2.1 に対して UDP 上で行われます。

**例 3: SRV の優先順位を使用する**

以下は、SIP over TCP のみが使用され、ステップ 1 の NAPTR クエリが結果を返す場合の SIP プロキシ検出を使用した設定の別の例です。ただし、優先順位が異なる複数の NAPTR と SRV レコードを受信します。 この場合、異なる優先順位を持つ複数の NAPTR レコードも受信されますが、このリリース イベントでは SRV 優先事項のみが受信されます。

```
<config>
<protocols><sip>
<proxy address="domain.com" port="5060"/>
<proxy-discovery enabled="true">
    <record-name>record-domain.com</record-name>
     <domain-override>override-domain.com</domain-override>
</proxy-discovery>
<domain>sip-domain.com</domain>
```

これにより、プロトコル レベルで次の手順が実行されます。

```
1. NAPTR query for record-domain.com, answer:
record-domain.com.
28591 IN NAPTR 100 10 "S" "SIPS+D2T" "" _sip._tcp.test.sip.record-domain.com.
28591 IN NAPTR 120 10 "S" "SIPS+D2U" "" _sip._udp.test.sip.record-domain.com.

2. SRV query for _sip._tcp.test.sip.record-domain.com (received in the NAPTR
query), answer
_sip._tcp.test.sip.record-domain.com. 28635 IN SRV
10 10 5061 test.sipgeo.record-domain.com.

SRV query for _sip._udp.test.sip.record-domain.com (received in the NAPTR
query), answer
_sip._udp.test.sip.record-domain.com. 28635 IN SRV
20 10 5062 test.sipgeo.record-domain.com.

3. A-record query for test.sipgeo.record-domain.com, answer:
test.sipgeo.record-domain.com. 16 IN A 1.2.3.4
```

その結果、SIP 登録は、ポート 5061（SRV ステップで受信）を使用して TCP を使用し、UDP と TCP の両方をサポートする IP アドレス 1.2.3.4 に対して行われます。

**例 4: サービスがサービス タイプに一致しない場合に NAPTR で DNS プロキシ検出を使用する**

以下は、TCP および TLS を介した SIP が使用され、ステップ 1 の NAPTR クエリが結果を返した場合の SIP プロキシ検出を使用した設定の例です。

```
<config>
<protocols><sip>
<proxy address="domain.com" port="5060"/>
<proxy-discovery enabled="true" tcp="true" udp="false" tls="true">
   <record-name>record-domain.com</record-name>
    <domain-override>override-domain.com</domain-override>
</proxy-discovery>
<domain>sip-domain.com</domain>
```

これにより、プロトコル レベルで次の手順になります。

```
1. NAPTR query for record-domain.com, answer:
record-domain.com.
28591 IN NAPTR 100 10 "S" "SIPS+D2T" "" _sip._tls.test.sip.record-
domain.com.
28591 IN NAPTR 100 10 "S" "SIP+D2T" "" _sip._tcp.test.sip.record-domain.com.

2. For the first record we have service type "SIPS+D2T" and the prefix is
"sip._tls.". Since this prefix doesn't match the service type (see Note 6
above) it will be ignored.

3. SRV query for _sip._tcp.test.sip.record-domain.com (received in the NAPTR
query), answer
_sip._tcp.test.sip.record-domain.com. 28635 IN SRV
10 10 5061 test.sipgeo.record-domain.com.

3. A-record query for test.sipgeo.record-domain.com, answer:
test.sipgeo.record-domain.com. 16 IN A 1.2.3.4
```

その結果、SIP 登録は、ポート 5061（SRV ステップで受信）を使用して、IP アドレス 1.2.3.4 に対して TCP を介して行われます。



シスコ社外秘

### 6.1.7 SIP の優先ポート使用量

デフォルトの SIP ポートを占有しているクライアントと同じマシン上で別のソフトウェア パッケージが実行されている場合がありました。 SIP に別のポートを使用するようにクライアントを設定するには、preferred-port パラメータを使用できます。 クライアントは、preferred-port パラメータで指定された設定されたポート値を使用しようとしますが、実行された場合、クライアントは設定された値を超えるポート値を段階的に試行します。 たとえば、preferred-port の値が “6000” で、そのポートが使用されている場合、クライアントは未使用のポートを見つけるまで、6001、6002、6003 などを試行します。 未使用のポートが見つかると、それを独自の SIP 通信に使用します。*preferred-port* parameter can be used. The client tries to use the configured port value specified in the *preferred-port* parameter, but if it is taken, the client incrementally tries port values above the configured value. For example, if the value of the *preferred-port* is “6000” and that port is taken, the client tries 6001, 6002, 6003, and so on until it finds an unused port. Once an unused port is found, it uses that for its own SIP communication.

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SOURCE_PORT_WXT% | 5060 | 番号 | 通信用の優先ローカル SIP ポートを指定します。<br>例: 5060 |

### 6.1.8 SIP フェールオーバーとフェールバック

SIP フェールオーバーとフェールバックは、Cisco BroadWorks の手順に従います。 このためには、複数のプロキシ (通常は SBC) を設定する必要があります。

クライアント側では、プロキシは複数の IP アドレスに解決する必要があります。 次のいずれかの方法でこれを実現できます。

- SIP プロキシ検出が有効で、DNS サーバーには SBC FQDN の NAPTR および/または SRV レコードがあります（セクション*6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出*を参照）。
- SIP プロキシ アドレスは FQDN として提供され、複数の IP アドレスに解決されます (セクション*6.1.1SIP サーバー設定*を参照)。

オペレーティング システムの DNS キャッシュは、不要な DNS トラフィックを回避するために使用されます。 リスト内の IP アドレスの最大数には、ハードコードされた制限はありません。

サインイン時に、複数の IP アドレスが解決されると、優先順位の順に並べられます。 クライアントは、最初に利用可能な IP アドレスを使用し始めます。



シスコ社外秘

#### 6.1.8.1 SIP フェールオーバー

SIP フェールオーバーは、次のようにサーバからのソケット エラー、リクエスト タイムアウト エラー、または最終エラー応答のいずれかによってトリガーされる場合があります。

- ソケットエラー:ネットワーク接続の損失の場合と同様に、クライアントとサーバ間のソケットが壊れているか、閉じている場合、クライアントはすぐに反応し、フェールオーバーをトリガーします。
- タイムアウト（SBC がハングする場合など） - SIP T1 に基づく:
  - SIP INVITE:INVITE 要求がタイムアウトした場合、クライアントは次に利用可能な SBC (IP) に登録し、INVITE を再試行します。
  - 別の SIP リクエスト - クライアントは次に利用可能な SBC (IP) に登録しようとします。
- サーバーから最終エラー応答を受信しました:
  - サーバから SIP REGISTER への次の SIP エラー応答は、フェールオーバーをトリガーします。
    - 5xx 日
    - 6xx さん
  - SIP REGISTER に対する次の SIP 4xx 応答は、フェールオーバーをしません。*4xx* responses to SIP REGISTER do not cause failover:
    - 401 権限がありません
    - 403 Forbidden
    - 404 見つかりません
    - 407 プロキシ認証が必要です
    - 423 インターバルが短すぎる
  - さらに、SIP INVITE への 4xx エラー応答はフェールオーバーをトリガーするのではなく、5xx および 6xx do をトリガーします。*4xx* error responses to SIP INVITE do not trigger failover, but *5xx* and *6xx* do.

フェールオーバーがトリガーされると、クライアントはリストから次に利用可能な IP アドレスを取得します。 SIP T1 タイマーは、リスト上のプロキシが次のプロキシに移動するまでの時間を定義します。通常 32 秒の値が使用されます (64*T1)。 すべての IP アドレスが失敗した場合、クライアントは SIP 接続のユーザ インターフェイス エラーを表示します。 フェールオーバーが発生したときに VoIP コールが進行中の場合、コールは終了します。

SIP フェールオーバー ロジックは、いくつかの設定パラメータに依存します。

- SIP フェールオーバー タイマー:SIP タイマー T1、T2、および T4 は設定ファイルに公開されますが、変更は推奨されません。

```
<config><protocols><sip>
<timers>
```



シスコ社外秘

```
    <T1>500</T1>
    <T2>4000</T2>
    <T4>5000</T4>
</timers>
```

- T1:ネットワーク往復遅延の時間（ミリ秒単位）。
- T2:招待されていない要求と招待応答を再送信するまでの最大時間（ミリ秒単位）。
- T4:メッセージがネットワークに残る最大時間（ミリ秒単位）。

- SIP プロキシ アドレスと SIP プロキシ 検出
  - セクション*6.1.1SIP サーバー設定*を参照してください。
  - セクション*6.1.6 ダイナミック SIP プロキシ検出*を参照してください。
- フェールオーバー設定を登録 (次を参照)

フェールオーバーの場合、Webex アプリケーションは 2 つの Contact ヘッダーで SIP REGISTER を送信します。1 つは古いセッション用で、2 つは新しいデバイス情報で、2 つは新しいデバイス情報で SIP REGISTER を送信します。 古いセッションの Contact ヘッダーが含まれており、データをクリーンアップするように SBC に通知します。 このヘッダーには expires=0 と q=0.5 が含まれます。

新しいデバイス情報の Contact ヘッダーにも q 値があります。これは *<q-value>* タグから読み取られます。 *<q-value>* タグの値は、特定の連絡先アドレスの優先順位または優先順位を示すために使用されます。 0 から 1.0 の範囲で、1.0 が最高優先度、0 が最低優先度です。 このタグには、値を制御するためのカスタムタグがありません。これは 1.0 にハードコードされています。展開で使用される SBC に逆ロジックがあり、最大優先度で q = 0.0 を扱う場合、この値は手動で調整できます。

リリース 42.11 以降、新しい *<register-failover>* セクションが構成テンプレートに導入されます。 アプリケーションが古いデバイス情報をクリーンアップするために連絡先ヘッダーを送信するかどうかを制御するために、新しい構成可能なパラメータ *<registration-cleanup>* が追加されました。 一部の SBC は、ソケット切断時にすぐに古いセッションをクリーンアップするため、古いセッションの Contact ヘッダーが存在する必要はありません。 デフォルトでは、登録のクリーンアップ ロジックが有効になっています。

一貫性のために、*<q-value>* タグも同じ *<register-failover>* セクションの下に移動されます。

例:

```
<config>
<protocols><sip>
   <q-value>1.0</q-value> <!-- DEPRECATED -->
   <register-failover>
      <registration-
cleanup>%SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT%</registration-cleanup>
      <q-value>1.0</q-value>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT% | true | true、false | SIP フェールオーバーの場合に古いデバイス情報のクリーンアップを制御します。 |

#### 6.1.8.2 SIP フェールバック

クライアントが優先順位の高いプロキシに接続されている場合、優先順位の最も高い IP への再接続を試みます。 フェールバックの時間は、DNS TTL 管理の設定に基づいています (セクション*6.1.8.4DNS TTL 管理*を参照)。 フェールバック タイマーに達したときにコールが進行中の場合、クライアントは、すべてのコールが完了するまで待機し、フェールバック 手順をトリガーします。 SIP 接続がモバイルのコール中にのみアクティブになっているため、これはデスクトップ クライアントでのみ有効です。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SIP_FAILBACK_ENABLED_WXT% | true | true、false | SIP フェールバックを有効または無効にします。 |
| %SIP_FAILBACK_TIMEOUT_WXT% | 900 | 60 を超える | SIP フェールバック タイムアウト（秒単位）。 |
| %SIP_FAILBACK_USE_RANDOM_FACTOR_WXT% | false | true、false | SIP フェールバックのランダム期間 [0-10]% を追加します。 |

#### 6.1.8.3 IP バージョンの強制

Webex クライアントは、DNS を通じて解決済みホストのリストを注文し、SIP フェールオーバーの場合に繰り返し実行する方法を設定できます。 すべてのモードでは、優先順位と重み付けが尊重されます。

サポートされている構成:

- dns - DNS クエリにより返されたすべてのアドレスを使用
- ipv4 - IPv6 アドレスをフィルタリングする
- ipv6 - IPv4 アドレスをフィルタリングする
- prefer-ipv4 - IPv6 の前に IPv4 アドレスをオーダーします (リリース 42.9)
- prefer-ipv6 - IPv4 の前に IPv6 アドレスをオーダーします (リリース 42.9)
- nat64 - IPv6 アドレスを無視し、IPv4 アドレスをオーダーする（リリース 44.2）



シスコ社外秘

環境/ネットワークの設定に異なるモードが必要でない限り、デフォルト値 (dns) を使用することを推奨します。

「dns」設定では、指定されたホストに対して IPv4 アドレスが IPv6 アドレスよりも優先されます。 IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を持つホストが 2 つある場合、順序は IPv4(host1)、IPv6(host1)、IPv4(host2)、IPv6(host2)になります。

「prefer-ipv4」モードでは、IPv4 アドレスが IPv6 アドレスの前に順序付けされます（IPv4 と IPv6 グループ内の順序は残ります）

*例*: IPv4(host1), IPv4(host2), IPv6(host1), IPv6(host2).

“prefer-ipv6” モードでは、順序は反対です。IPv6 アドレスは IPv4 アドレスの前に配置されます。

*例*: IPv6(host1), IPv6(host2), IPv4(host1), IPv4(host2).

「nat64」モードでは、IPv6 アドレスは無視され、IPv4 順序が尊重されます。 IPv6 プレフィックスが検出されます。 各 IPv4 アドレスに対して、各 Pref64 プレフィックスおよび/またはサフィックスとの組み合わせが作成されます。

*例*: Pref64(1)::IPv4(host1), Pref64(2)::IPv4(host1)::Suff64(2), IPv4(host1)::Suff64(3), Pref64(1)::IPv4(host2)::Suff64(2), IPv4(host2)::Suff64(3).

```
<config>
<protocols><sip><transports>
<enforce-ip-version>%SIP_TRANSPORTS_ENFORCE_IP_VERSION_WXT%</enforce-ip-
version>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SIP_TRANSPORTS_ENFORCE_IP_VERSION_WXT% | DNS | IPv4<br>ipv6<br>DNS<br>優先 ipv4<br>優先 ipv6<br>ナット 64 | Webex クライアントが SIP セッションに接続するために使用する IPv4/IPv6 アドレスの順序を制御します。 |

#### 6.1.8.4 DNS TTL 管理

現在使用されているサーバの DNS レコードの TTL が期限切れになったときに、DNS 解決を再実行する方法を管理するために、別の設定パラメータが追加されました。 次の表のパラメータを有効にすると、現在使用されているサーバの DNS SRV または A レコードの TTL が期限切れになると、クライアントは DNS 操作を強制的にやり直します。



シスコ社外秘

DNS 解決を再実行した後、このパラメータは、現在の接続が完全に動作している場合でも、現在使用されているサーバと異なる場合に、クライアントが受信した最上位優先順位サーバに再接続するように強制します。 ただし、再接続は、進行中のコールが終了した後にのみ行われます。

サーバ A レコードと SRV レコードの TTL が異なる場合、小さい値が選択されます。

このパラメータが無効になっている場合、TTL が期限切れになると DNS 操作は再実行されず、15 分ごとに実行されます。

このパラメータは、SIP でのみ機能します。

プロキシ アドレス パラメータで IP アドレスが使用されている場合は、DNS TTL 管理機能を使用できません。

> **メモ:** モバイル クライアントは通話中に SIP 接続のみを使用しているため、これはデスクトップのみの機能です。

```
<config>
<protocols><sip>
<refresh-on-ttl enabled="%SIP_REFRESH_ON_TTL_WXT%"
  use-random-factor="%SIP_REFRESH_ON_TTL_USE_RANDOM_FACTOR_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SIP_REFRESH_ON_TTL_WXT% | false | false、true | 「false」に設定すると、SIP に対して DNS TTL 管理が無効になります。<br>「true」に設定すると、SIP に対して DNS TTL 管理が有効になります。 |
| %SIP_REFRESH_ON_TTL_USE_RANDOM_FACTOR_WXT%" | false | false、true | 有効にすると、DNS TTL に 0 ～ 10% のランダム期間が追加されます。a random period between 0-10% to the DNS TTL. |

> **メモ:** DNS への要求のスパイクや、アプリケーション サーバへの再接続のスパイクを防ぐために、DNS TTL ランダムファクターを有効にすることを強くお勧めします。



シスコ社外秘

### 6.1.9 SIP SUBCSRIBE および REGISTER の更新および SUBSCRIBE 再試行

Communicator は、SIP SUBSCRIBE と REGISTER の更新間隔の設定をサポートしています。 SIP SUBSCRIBE の場合、更新間隔（秒単位）と、エラーがある場合に SIP SUBSCRIBE を再試行するまでの待機時間（秒単位）には別のパラメータがあります。 subscription-retry-interval の推奨最大値は 2000000 秒ですが、負値、0、または空の値は 1800 秒になります。 サブスクライブ更新に負の値を指定すると、Expires ヘッダーが消去され、ワンオフの SUBSCRIBE が作成されます。*subscription-retry-interval* is 2000000 seconds while any negative, 0, or empty value results in 1800 seconds being used. Any negative value in for subscribe refresh leaves out the *Expires* header and thus creates a one-off SUBSCRIBE.

クライアントが提案する SIP REGISTER 更新タイマーは秒単位で設定できますが、SIP 仕様に従って、サーバは値をオーバーライドできます。 現在、クライアントは、常に設定された値を使用する代わりに、後で更新するためにサーバによって提案された値を記憶しています。

最後に、SIP セッションの有効期限値（SIP INVITE および SUBSCRIBE 用）も設定できます（秒単位）。

```
<config>
<protocols><sip>
<subscription-refresh-interval>10800</subscription-refresh-interval>
<subscription-retry-interval>60</subscription-retry-interval>
<registration-refresh-interval>300</registration-refresh-interval>
<session>
       <expires-value>3600</expires-value>
</session>
```

### 6.1.10 登録で P-Associated-URI を使用する

次のパラメータは、関連する 200 OK 応答を登録および処理するときに使用されます。*200 OK* response.

パラメータが「false」に設定されている場合、クライアントは P-Associated-URI を使用せず、代わりに独自の SIP URI の ID を使用します。*P-Associated-URI* and uses the identity from its own SIP URI instead.

```
<config>
<protocols><sip>
<use-alternative-identities>%USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT%</use-alternative-
identities>
```

パラメータが「true」に設定されている場合、クライアントは REGISTER の 200 OK 応答からのすべての発信 SIP リクエスト (INVITE、SUBSCRIBE、CANCEL、INFO、および REFER) の最後の P-Associated-URI ヘッダーから独自の ID を取得します。 さらに、これらの URI は連絡先リストに連絡先として表示されません。*P-Associated-URI* header for all outgoing SIP requests (INVITE, SUBSCRIBE, CANCEL, INFO, and REFER) from the *200 OK* response in the REGISTER. In addition, these URIs are not shown as contacts in the contact list.



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT% | false | true、false | SIP REGISTER で代替 ID の使用を有効にします。<br>「true」に設定すると、クライアントは発信 SIP 要求の最後の P-Associated-URI ヘッダーから独自の ID を取得します。*P-Associated-URI* header for outgoing SIP requests.<br>“false” に設定すると、発信 SIP 要求の独自の ID が自身の SIP URI から取得されます。 |

### 6.1.11 SIP P-Early Media（PEM）ヘッダー

SIP P-Early Media (PEM) ヘッダーは、たとえば、信頼ドメイン内の IMS 環境で使用して、ネットワークが複数の SIP アーリー メディア ダイアログを承認できるようにすることができます。たとえば、別のネットワークがすべてのアーリー メディアを許可する場合などです。*P-Early Media* (PEM) header can be used in, for example, IMS environments inside a trust domain to allow the network to authorize multiple SIP early media dialogs for instance in cases where another network allows all early media.

設定パラメータにより、SIP シグナリングでのアドバタイジング PEM サポートが有効になります。 実際の初期のメディア処理ロジックは、サポートされている PEM ヘッダー値で対応する PEM と非 PEM ケースの両方で同じです。

```
<config>
<protocols><sip>
<support-p-early-media>%ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT%</support-p-early-media>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT% | false | true、false | SIP シグナリングでクライアントのアドバタイジング PEM サポートを有効にするには、「true」に設定します。<br>SIP シグナリングでのクライアント広告 PEM サポートを無効にするには、「false」に設定します。 |

### 6.1.12 SIP 更新のサポート

SIP の更新は、たとえば、代替の RE-INVITE の代わりに、一部の IMS 展開で必要です。 クライアントはメディア ストリームのセットやコーデックなどのセッションのパラメータを更新することができますが、SIP ダイアログの状態には影響しません。

一般的な使用事例は、たとえば、リングバックトーンとプレアラートを同時に使用する場合に、初期のメディアに関連しています。



シスコ社外秘

SIP 更新は現在、ダイアログ前の使用事例 (早期メディア) で受信し、アクティブなダイアログ中にない場合にのみサポートされています。たとえば、再招待がまだ使用されているコールの保留/再開の場合。

このリリースでは、SIP UPDATE (メディア変更) を使用して音声にビデオを追加することはできません。 また、クライアントはリソース予約による完全な IMS ロング コールフローをサポートしていません。

```
<config>
<protocols><sip>
<support-update enabled="%ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT% | false | true、false | 「false」に設定すると、SIP UPDATE サポートが無効になります。<br>「true」に設定すると、SIP UPDATE サポートが有効になります。 |

### 6.1.13 レガシー SIP INFO FIR

このクライアントは、SIP INFO メディア制御リクエストを介してビデオ キーフレームをリクエストするレガシー方式をサポートします。 一部のデバイスで RTCP-FB FIR への応答に問題があり、場合によっては RTCP がリモート エンドポイントに転送されないため、ビデオなしまたは一方向ビデオにつながる場合があります。 詳細については、*RFC 5168* を参照してください。

```
<config>
<protocols><sip>
<force-sip-info-fir enabled="%ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT% | false | true、false | 「false」に設定すると、SIP INFO FIR サポートが無効になります。<br>「true」に設定すると、SIP INFO FIR サポートが有効になります。 |

### 6.1.14 NAT トラバーサルの SIP rport 管理

クライアントは、NAT トラバーサルに SIP rport メカニズムを使用するように設定できます。 通常、NAT トラバーサル用の唯一のソリューションではなく、SBC は主にこの目的で使用されていることに注意してください。 rport 仕様の説明については、RFC 3581 を参照してください。 *RFC 3581*.



シスコ社外秘

ネットワークで SIP アプリケーション レイヤー ゲートウェイ (ALG) が使用される場合の SIP ポートおよびトランスポート プロトコルの推奨事項の詳細については、『Cisco BroadWorks 版 Webex ソリューション ガイド』を参照してください。*Webex for Cisco BroadWorks Solution Guide*.

「rport」文字列は、設定に関係なく、常に発信 SIP 要求に存在することに注意してください。このパラメータは、SIP の「受信済み」および「rport」ヘッダーでサーバから受信した IP アドレスとポートの使用にのみ影響します。 この機能が有効な場合、「received」ヘッダーと「rport」ヘッダーの値が SIP 要求の SIP Contact ヘッダーで使用されます（「received」ヘッダーが REGISTER 応答に欠落している場合でも）。

Preferred-port パラメータは、SIP Contact ヘッダーで使用されるポートを定義するものに関連しています。 SIP ポートの割り当ての詳細については、セクション *Preferred-port* parameter is related in that it otherwise defines the port used in the SIP Contact header. For more information on SIP port allocation, see section *6.1.7SIP の優先ポート使用量*を参照してください。

クライアント ソケットのローカル ポートを Contact ヘッダーで設定するように強制する、別の設定パラメータ use-local-port があります。 これは、（Contact ヘッダーから）クライアントに実際の IP があることを検出する一部の SBC で使用され、SBC はリクエストに対してクライアントに別のソケットを確立しようとします。 ほとんどの場合、ファイアウォールは SBC とクライアントの間に配置され、クライアントへの着信接続を拒否します。*use-local-port* that forces local port of the client socket to be set in the *Contact* header. This is used for some SBCs that detect the client has a real IP (from the *Contact* header) and the SBC tries to establish a separate socket to the client for its requests. In most cases, a firewall sits between the SBC and the client, and it denies the incoming connections to the client.

> **メモ:** IPv6 環境では、すべてのアドレスが本物であり、SBC はリスニング クライアント アドレス (連絡先 ヘッダーから) への接続を確立しようとします。*Contact* header).

```
<config>
<protocols><sip>
<use-rport enabled="%ENABLE_USE_RPORT_WXT%" use-local-
port="%RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_USE_RPORT_WXT% | false | true、false | 音声およびビデオ コールに対して rport を有効にします。 |
| %RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT% | false | true、false | クライアントのソケットのローカル ポートを SIP Contact ヘッダーに追加するかどうかを制御します。*Contact* header. |



シスコ社外秘

### 6.1.15 SIP セッション ID

有効にすると、初期登録時にローカルセッション ID が生成されます。 セッション ID は、そのデバイスの接続/セッションの有効期間、すべてのアウトオブ通話ダイアログ、登録、サブスクライブ、通知などに使用されます。 バインディングが失われるまで同じセッション ID が使用されます。 登録バインディングが失われると（DNS ルックアップ、接続リセット、電話機のリセットなど）、新しいローカル セッション ID が生成されます。

セッション ID の値は、そのデバイスに関連付けられた一連のダイアログを検索するために使用できます。

```
<config>
<protocols><sip>
<sip-sessionid enabled="%ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT% | false | true、false | SIP セッション ID の使用を制御します。 |

### 6.1.16 着信通話拒否の動作

クライアントは 486 または 603 のコールを拒否する柔軟性を提供します。*486* or *603*.

クライアントが 603 拒否の通話を拒否するように設定されている場合、話中転送サービスと無応答時転送サービスが期待通りに機能しないことがあります。*603 Decline*, then the Call Forward Busy and Call Forward No Answer services may not work as expected.

```
<config>
<services><calls>
<reject-with-486 enabled="%ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT% | true | true、false | 着信 SIP コールを拒否するために使用される SIP エラー コードと理由を制御します。 有効な場合、486 Temporarily Unavailable が使用されます。 それ以外の場合は、603 Decline が使用されます。*486 Temporarily Unavailable* is used. Otherwise, *603 Decline* is used. |



シスコ社外秘

### 6.1.17 リアルタイム トランスポート プロトコル ポート範囲

クライアントは、Real-Time Transport Protocol（RTP）ストリームに定義されたポート範囲を使用するように設定できます。これは、SRTP にも適用されます。 この設定は、次の例に示すタグを使用して、音声とビデオ ストリームの両方のポート範囲制限値を設定することによって行われます。

```
<config>
<protocols><rtp>
<preferred-audio-port-start>%RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT%</preferred-audio-port-start>
<preferred-audio-port-end>%RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT%</preferred-audio-port-end>
<preferred-video-port-start>%RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT%</preferred-video-port-start>
<preferred-video-port-end>%RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT%</preferred-video-port-end>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT% | 8000 | 番号 | 音声ポート範囲の開始。 |
| %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT% | 8099 | 番号 | 音声ポート範囲の終了。 |
| %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT% | 8100 | 番号 | ビデオポート範囲の開始。 |
| %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT% | 8199 | 番号 | ビデオポート範囲の終了。 |

**メモ:** ポート範囲が重複しないように設定する必要があります。

### 6.1.18 ICE サポート (Webex Calling のみ) (Webex Calling only)

クライアントは、エンドポイント間のメディア パスの最適化（ピアツーピア）を可能にする Interactive Connectivity Establishment（ICE）ネゴシエーションをサポートします。 これは、データ遅延を削減し、パケット損失を削減し、アプリケーションを展開する運用コストを削減するために行われます。Interactive Connectivity Establishment (ICE) negotiation that enables media path optimization between endpoints (in a peer-to-peer manner). This is done to reduce data latency, decrease packet loss, and reduce the operational costs of deploying the application.

現在の実装は STUN サーバをサポートしていますが、TURN はサポートされていません。

ICE サポートが有効になっている場合、SRTP のキーは常に実行されます (セクション*6.1.2SIP Over TLS および Secure Real-time Transport Protocol* を参照)。

リリース 44.5 以降、Webex アプリは NAT64 を使用した ICE over IPv6 のサポートを追加します。



シスコ社外秘

```
<config>
<protocols><rtp>
   <ice enabled="%ENABLE_RTP_ICE_WXT%"
        enable-ipv6-support="%ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT%"
        mode="%RTP_ICE_MODE_WXT%"
        service-uri="%RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT%"
        port="%RTP_ICE_PORT_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_RTP_ICE_WXT% | false | true、false | ICE サポートを有効/無効にします。 |
| %RTP_ICE_MODE_WXT% | アイステン | アイステン | ICE サポートモード。 現在、サポートされている唯一の値は “icestun” です。 |
| %RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT% | (空) | 有効な STUN サーバー URI または (空) | STUN サーバー URI。 |
| %RTP_ICE_PORT_WXT% | 3478 | 番号（0-65535） (0-65535) | STUN サーバー ポート。 |
| %ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT% | false | true、false | ICE over IPv6 を有効にします。 |

### 6.1.19 RTCP ミューックス

RTCP MUX は設定可能です。 この機能により、クライアントは RTP と RTCP に対して同じポートを使用します。 SIP/SDP シグナリング レベルでは、回線 a=rtcp-mux が SDP に追加されます。 さらに、さまざまなモードが可能です。

- 後方互換モード（つまり、回線 a=rtcp-mux は SDP に表示されません）
- 多重モード（a=rtcp-mux 回線は SDP で 2 回表示されます。 m=音声セクションで 1 回、m=ビデオセクションで 2 回目)

ビデオと音声は同じポートを使用しません。

```
<config>
<protocols><rtp>
<mux enabled=”%ENABLE_RTCP_MUX_WXT%”/>
```

RTCP MUX は SRTP コールで使用できないことに注意してください。



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_RTCP_MUX_WXT% | true | true、false | RTPC MUX を有効にするには、「true」に設定します。<br>RTCP MUX を無効にするには、「false」に設定します。 |

### 6.1.20 転送

Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントは、在席中（コンサルタティブ）、セミコンサルタティブ、ダイレクト（ブラインド）コール転送をサポートします。

セミコンサルタティブコール転送を使用すると、発信者はコールがリモート呼び出し先にピックアップされる前に転送を完了できます。 着信側で呼び出し音が開始され、対応する SIP 通知 (180 Ringing) が発信者側で受信された後にのみ、semi-consultative completion ボタンが有効になります。 ブラインド転送は UI で「今すぐ転送」と呼ばれます。*180 Ringing*) is received on the caller side. Blind transfer is called “Transfer Now” in the UI.

> **メモ:** SIP 180 Ringing は、一部の環境、一部の番号、または一部のクロスサーバー通信シナリオでトリガーされない場合があります。*180 Ringing* may not be triggered in some environments, for some numbers, or in some cross-server communication scenarios.

Webex アプリのリリース 43.9 では、同じタイプの別のスタンドアロン進行中のコールへの転送が導入されます。 Webex アプリで終了した通話は、ローカル エンドポイントで終了した他の通話に転送できます。 また、リモート デバイスで終了したコールは、リモート エンドポイントで終了したコールに転送できます。 この機能には設定可能なオプションがありません。

リリース 43.12 以降、Webex アプリは、[転送] メニュー項目が選択されているときに、現在の通話を自動的に保留にするかどうかを制御するための設定オプションを追加します。 この動作は新しい自動保留属性によって制御されます。 デフォルトでは、自動保留は無効になっています。*auto-hold* attribute. By default, auto-hold is disabled.

```
<config>
<services><calls>
   <transfer-call enabled="%ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT%"
                  xsi-enabled="%ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT%"
                  type="%TRANSFER_CALL_TYPE_WXT%"
                  auto-hold="%ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% | false | true、false | 「true」に設定すると、コール転送が有効になります。<br>「false」に設定すると、コール転送が無効になります。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT% | false | true、false | 別のロケーションで終了したリモート（XSI）コールの転送オプションを有効にします。 |
| %TRANSFER_CALL_TYPE_WXT% | 満 | トークファースト、ブラインド、フル | BroadWorks 構成でユーザーが利用できる転送タイプを指定します。 |
| %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT% | false | true、false | ユーザーが通話中の画面メニューから [転送] オプションを選択したときに、アクティブコールが自動的に保留されるかどうかを制御します。 |

### 6.1.21 N 方向の電話会議と参加者 and Participants

次のカスタム タグを使用して、Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントの SIP 経由のアドホック（N-Way）会議コールの可用性を制御できます。 さらに、N ウェイの所有者は、SIP SUBSCRIBE/NOTIFY および会議イベント パッケージを介して参加者の完全なリストを確認できます。 所有者のクライアントは、電話会議 URI への INVITE に応答して送信された 200 OK メッセージの Contact ヘッダーを介して SIP SUBSCRIBE を送信する URI を学習します。参加者の場合、前のコール情報通知に同じ情報が記載されています。*Contact* header of the *200 OK* message sent in response to the INVITE to the conference URI while for participants the same information is in a preceding call-info NOTIFY.

Cisco BroadWorks システム設定 (maxConferenceParties) は、会議の参加者の最大数を設定するために使用されます。 特定の通話について、ユーザーが「参加者の追加」通話中コントロール オプションまたは Cisco BroadWorks N way Calling 機能を通じて利用または追加できるアクティブな同時通話相手の数を示します。*maxConferenceParties)* is used to set the maximum number of conference parties. For a given call, it indicates the number of active simultaneous parties a user can have or add through the “Add participants” mid-call control option or through the Cisco BroadWorks N-way Calling feature.

この情報は、次のコマンドライン インターフェイス（CLI）コマンドを使用して、アプリケーション サーバ（AS）から取得されます。

```
AS_CLI/SubscriberMgmt/Policy/CallProcessing/Conferencing> get

Example output:
maxConferenceParties = 6
conferenceURI =
```

maxConferenceParties の値を取得したら (4 ～ 15 の範囲で)、%MAX_CONF_PARTIES_WXT% タグを適宜設定する必要があります。*maxConferenceParties* is obtained, (which has a range of 4 through 15), the %MAX_CONF_PARTIES_WXT% tag should be set accordingly.

```
<config>
<services><calls>
<conference enabled="%ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT%">
```



シスコ社外秘

```
    <service-uri>sip:%BWNETWORK-CONFERENCE-SIPURI-1%</service-uri>
    <subscribe-conference-info enabled="%ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT%"/>
       <max-nway-participants>%MAX_CONF_PARTIES_WXT%</max-nway-participants>
</conference>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT% | false | true、false | ユーザに対して [会議（Conference）] オプションを有効にするかどうかを制御します。 |
| %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT% | false | true、false | [true] に設定すると、N 方向所有者参加者リストが有効になります。<br>[false] に設定すると、N 方向所有者参加者リストが無効になります。 |
| %MAX_CONF_PARTIES_WXT% | 10 | 4 ～ 15 の番号<br>(空) | クライアントによって強制される N 方向最大参加者数を指定します (例: 10)。 サーバー側には独自の制限があります。<br>値が空の場合、クライアント側の N 方向参加者の制限を強制的に無効にします。 |

### 6.1.22 コール プル

コール プル機能は、次の例に示すように、1 つの設定パラメータを使用して有効にできます。

```
<config>
<services><calls>
<call-pull enabled="%ENABLE_CALL_PULL_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_PULL_WXT% | false | true、false | コール プルを有効にします。 |

### 6.1.23 コール パーク/保留解除

グループ コール パーク機能を使用すると、進行中の VoIP コールをコール パーク サーバに転送できます。これにより、発信者は別のことを行い、同じユーザまたは別のユーザが取得できます。 進行中のコールは、コール パーク グループ内の最初に利用可能な内線に対してパークされます。

コール取得は、コールをパークした直後に、設定可能な秒数だけダイアログでコールをパークしたユーザによって実行できます。 パークされたコールは、コール取得オプションを選択し、番号または内線番号を入力することで、ユーザまたは別のユーザが取得できます。

```
<config>
<services><calls>
```



シスコ社外秘

```
<call-park enabled="%ENABLE_CALL_PARK_WXT%"
timer="%CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_PARK_WXT% | false | true、false | コール パーク/取得を有効にします。 |
| %CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT% | 10 | 5 から 30 までの数字 | [コールパーク中（Call Park）] ダイアログが正常に表示され、自動的に閉じられるまでの秒数を指定します。 |

### 6.1.24 通話の統計

Session Initiation Protocol（SIP）BYE メッセージで通話終了統計をレポートすると、コールが終了したときに通話統計をリモートエンドに送信できます。 通話統計は、SIP BYE メッセージまたは BYE メッセージに対する対応する 200 OK 応答の新しいヘッダーとして送信されます。 統計には、送信または受信された Real-time Transport Protocol（RTP）パケット、送信または受信した合計バイト数、紛失したパケットの総数、遅延ジッター、ラウンドトリップ遅延、通話時間が含まれます。*200 OK* response to the BYE message. The statistics include Real-time Transport Protocol (RTP) packets sent or received, total bytes sent or received, total number of packets that are lost, delay jitter, round-trip delay, and call duration.

```
<config>
<services><calls>
<call-statistics enabled="%ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT% | false | true、false | 通話メトリックのキャプチャを有効にするには、「true」に設定します。<br>「false」に設定すると、通話メトリックのキャプチャが無効になります。 |

### 6.1.25 コール自動リカバリ/シームレスなコールハンドバー / Seamless Call Handover

クライアントは、ユーザが進行中の VoIP コールを持っている間、ネットワークの切り替えでコール自動リカバリをサポートしています。 コール自動リカバリは、セルラーデータから WiFi および WiFi からセルラーデータ、および WiFi からセルラーデータ、および WiFi ネットワークを切り替えて両方向に動作します。 コールは 1 分以内に回復しようとし、その後停止します。 進行中の VoIP コールが複数ある場合、アクティブなコールのみが復元されます。

セルラーデータから WiFi への移行では、クライアントは終了またはセルラー データ ネットワークが失われるまで、セルラー データで進行中の VoIP コールを保持します。

```
<config>
<services><calls>
```



シスコ社外秘

```
<auto-recovery enabled="%ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT% | false | true、false | ユーザに対して自動リカバリメカニズムを有効にするかどうかを制御します。 |

### 6.1.26 通話の録音

コール録音機能はクライアントによってサポートされており、サーバー側の機能の可用性、および設定オプションによって異なります。 この機能は、有効な XSI イベント チャネル (セクション*6.1.33XSI イベント チャネル*を参照) および *X-BroadWorks-Correlation-Info* SIP ヘッダーの送信に設定されたアプリケーション サーバー (AS) によって異なります (*Cisco BroadWorks 版 Webex ソリューション ガイド*を参照)。

この機能が無効になっている場合、ユーザーには録画ボタンとオプションはありません。 通話録音は、通話ベースではなく、ユーザーごとに動作します。つまり、通話の参加者の 1 人が通話録音をサポートしている場合、通話を録音できます。

通話録音機能が有効になっている場合、通話が録音されているときに常に視覚的な通知が表示されます。 Cisco BroadWorks では、次の通話録音モードがサポートされています。

**常時**

- 通話録音は、通話の確立時に自動的に開始されます。
- ユーザーは通話録音を停止/一時停止できません。**NOT** able to stop/pause the call recording.

**常に一時停止/再開のサポート**

- 通話録音は通話の確立時に自動的に開始されますが、ユーザーは通話を一時停止して再開できます。
- ユーザーの対話:
  - 録画が進行中です - [一時停止] 録画アクション。**Pause** Recording action.
  - 録画は一時停止中です - 再開 録画アクション。**Resume** Recording action.

**オンデマンド**

- コールが確立されると、サーバ上でコール録音が開始されます。
- コール中にユーザが [録音の開始（Start Recording）] オプションを押すと、コール録音が保存され、起動時からコールが保持されます。 それ以外の場合、ユーザから録音を開始しない場合、コール録音はサーバ上で削除されます。
- ユーザーの対話:
  - 録画はまだ開始されていません。録画の開始アクションです。**Start** Recording action.



シスコ社外秘

- 録画が進行中です - [一時停止] 録画アクション。**Pause** Recording action.
- 録画は一時停止中です - 再開 録画アクション。**Resume** Recording action.

**ユーザーが開始したオンデマンド**

- ユーザは、通話中に複数回、いつでも通話録音を開始、停止、一時停止、再開できます。
- 通話録音の起動ごとに個別の通話録音があります。
- ユーザーの対話:
  - 録画はまだ開始されていません。録画の開始アクションです。**Start** Recording action.
  - 録画が進行中です - 録画のアクションを停止と一時停止します。**Stop** and **Pause** Recording action.
  - 録画は一時停止中です。[停止] と [再開] 録画アクションです。**Stop** and **Resume** Recording action.

ユーザーに割り当てられた通話録音モードは、Control Hub から選択できます。

```
<config>
<services><calls>
<record enabled="%ENABLE_CALL_RECORDING_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_RECORDING_WXT% | false | true、false | コール録音のコントロールを有効にします。 |

### 6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message Waiting Indicator

次のカスタム タグを使用して、Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントで Cisco BroadWorks ボイスメールとビジュアル ボイスメールの可用性を制御できます。 ボイスメールには Cisco BroadWorks システム タグ (%BWVOICE-PORTAL-NUMBER-1%) が使用されます。 %BWVOICE-PORTAL-NUMBER-1%) is used with voicemail.

ビジュアルボイスメール (VVM) は音声のみに対応しています。 サポートされている形式は、H264 ビデオ (音声のみとして再生) を含む wav、ulaw、mov です。 これにより、ユーザーは着信ボイスメールをリストビューで表示し、個々のアイテムを再生できます。 この機能は Xsi に基づいていますが、新しいボイスメールの通知は SIP を介して提供されます。したがって、通知が機能するには SIP を有効にする必要があります。 さらに、通知が届くには、メッセージ待機インジケータ（MWI）設定の SIP SUBSCRIBE が必要であり、ビジュアル ボイスメールが機能するには MWI を有効にする必要があります。 SIP 構成の詳細については、セクション*6.1.1SIP サーバー設定*を参照してください。



シスコ社外秘

ビジュアル ボイスメールの Cisco BroadWorks リリースおよびパッチ要件については、「Cisco BroadWorks 版 Webex ソリューション ガイド」を参照してください。*Webex for Cisco BroadWorks Solution Guide*.

ビジュアル ボイスメールは、設定で個別に有効にする必要があります。

ビジュアル ボイスメールを使用するには、CommPilot ポータルで次の設定が必要です。

- ボイス メッセージングが有効になっています
- 「メッセージが届いたらユニファイド メッセージングを使用」オプションが有効になっています
- [電話メッセージ待機インジケータを使用] オプションが有効になっています

Cisco BroadWorks 側にビジュアル ボイスメール サービスが割り当てられていない場合、サービスの設定が自動的に無効になります。

SIP 登録を無効にすると、新しいボイスメールの MWI も無効にされることに注意してください。 MWI の有効化に関する詳細は、次の表を参照してください。

UI にボイスメール メッセージ情報を表示するには、クライアントはサーバから SIP MWI 通知（ボイスメール イベント パッケージ）を受信する必要があります。 サブスクリプション オプションについては、次の表を参照してください。 また、ビジュアル ボイスメールの通知が機能するには、MWI が必要であることに注意してください。

ボイスメール イベント パッケージへの SIP サブスクリプションが失敗した場合、クライアントは設定時に再試行し続けることに注意してください。 SIP SUBSCRIBE 再試行設定の詳細については、セクション*6.1.9SIP SUBCSRIBE および REGISTER の更新および SUBSCRIBE 再試行を参照してください。*

```
<config>
<services><calls>
<mwi enabled="%ENABLE_MWI_WXT%" type="%MWI_MODE_WXT%"/>
<voice-mail enabled="%ENABLE_VOICE_MAIL_WXT%" visual-
voicemail="%ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT%">
    <center-number>%BWVOICE-PORTAL-NUMBER-1%</center-number>
</voice-mail>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_VOICE_MAIL_WXT% | false | true、false | ボイスメールのサポートを有効にするには、「true」に設定します。<br>ボイスメールのサポートを無効にするには、「false」に設定します。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT% | false | true、false | 「false」に設定すると、VVM は無効になります。<br>「true」に設定すると、VVM が有効になります。<br>実際の VVM 属性が下位互換性のためにまだ使用される前に、ボイスメール enabled=false に注意してください。 |
| %BWVOICE-PORTAL-NUMBER-1% | 空 | 番号 | クライアントは、通常、ボイスメールをダイヤルするときに、既存の Cisco BroadWorks システム タグを使用してこの番号を呼び出します。 |
| %ENABLE_MWI_WXT% | false | true、false | MWI を有効にするには、「true」に設定します。<br>MWI を無効にするには、「false」に設定します。 |
| %MWI_MODE_WXT% | 空 | 暗黙的、明示的 | MWI が有効になっている場合、MWI イベント パッケージの SIP SUBSCRIBE を送信するには、「明示的」に設定します。<br>「暗黙的」を使用すると、MWI が有効になっている場合、MWI イベント パッケージの SIP SUBSCRIBE を送信しません。<br>空のままにすると、MWI は無効になります。 |

### 6.1.28 Webex Calling のボイスメールの文字起こし

この機能により、ボイスメール メッセージはテキストに変換され、Webex Calling デスクトップおよびモバイル アプリのビジュアル ボイスメール メッセージ ビューに表示されます。

この機能は、次の場合にのみユーザーに対して有効にする必要があります。

1. アプリは Webex Calling 展開で実行されています。
2. ビジュアル ボイスメール機能はユーザーに対して有効になっています。
3. この機能は設定で有効になっています (<services><voice-mail><transcription> タグの enabled 属性は “true” に設定する必要があります)。



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_VOICE_MAIL_TRANSCRIPTION_WXT% | false | true、false | [Webex Calling のみ] ビジュアルボイスメールが有効になっている場合のみ、ボイスメールの音声テキストの可用性を制御します。 |

### 6.1.29 通話設定

#### 6.1.29.1 通話転送常時

次のカスタム タグを使用して、Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントの Cisco BroadWorks Call Forwarding Always サービスの可用性を制御できます。

```
<config>
<services><supplementary-services>
<call-forwarding-always enabled="%ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT% | false | true、false | 常時通話転送サービスの可用性を制御します。<br>デフォルトでは、この機能は無効になっています。 |

**メモ:** 常時通話転送とボイスメールへの通話転送 (*6.1.29.2 ボイスメールへの通話転送*) を併用して、Webex アプリの「通話転送」設定を表示または非表示にできます。 両方のタグが無効になっている場合、Webex アプリの「通話転送」設定は非表示になります。

#### 6.1.29.2 ボイスメールへの通話転送

リリース 43.9 以降、Webex アプリは、ボイスメールへの転送の可用性を制御するオプションを提供します。 デフォルトでは、この機能は有効になっており、次の設定オプションを使用して無効にすることができます。

```
<config>
<services>
   <voice-mail>
      <forwarding enabled="%ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT%"/>
```



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT% | true | true、false | ボイスメールへの転送の可否を制御します。<br>デフォルトでは、この機能は有効になっています。 |

**注意 1:** この機能は、ユーザーに割り当てる「ボイス メッセージ ユーザー」または「サードパーティ ボイス メール サポート」サービスのいずれかに依存します。

**注 2:** ボイスメールへの通話転送と常時通話転送 (*6.1.29.1 通話転送常時*) を併用して、Webex アプリの「通話転送」設定を表示または非表示にできます。 両方のタグが無効になっている場合、Webex アプリの「通話転送」設定は非表示になります。

### 6.1.29.3 BroadWorks Anywhere (単一番号リーチ) (Single Number Reach)

次のカスタム タグは、BroadWorks Anywhere の可用性、および Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントの設定可用性を制御します。 クライアント内のこの機能の名前は、[自分の番号を管理] です。*Manage My Numbers*.

```
<config>
<services><supplementary-services>
<broadworks-anywhere enabled="%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT%">
       <description enabled="%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT%"/>
       <alert-all-locations
enabled="%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT%"
default="%BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT%"/>
       <call-control enabled="%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT%"
default="%BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT%"/>
       <diversion-inhibitor
enabled="%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT%"
default="%BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT%"/>
       <answer-confirmation
enabled="%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT%"
default="%BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT%"/>
</broadworks-anywhere>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT% | false | true、false | 設定レベルで BroadWorks Anywhere (BWA) を有効にします。 |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT% | true | true、false | ユーザーが BWA ロケーションの説明を使用可能にするかどうかを制御します。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT% | false | true、false | ユーザーが BWA サービスのすべてのロケーションにアラートを表示するには、「true」に設定します。<br>ユーザーが BWA サービスのすべてのロケーションにアラートを送信できないようにするには、「false」に設定します。 |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT% | false | true、false | 新しい BWA ロケーションを追加するたびに、アプリケーションが [すべてのロケーションにアラート（Alert All Locations）] 状態を有効にするかどうかを制御します。 |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT% | false | true、false | BWA ロケーションのコール制御をユーザーが使用できるようにするかどうかを制御します。 |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT% | false | true、false | BWA ロケーションのコール制御のデフォルトの状態を制御します。 |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT% | false | true、false | BWA ロケーションの転送インヒビータをユーザが使用可能にするかどうかを制御します。 |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT% | false | true、false | BWA ロケーションの転送インヒビターのデフォルト状態を制御します。 |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT% | false | true、false | ユーザーが BWA ロケーションの応答確認を利用できるかどうかを制御します。 |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT% | false | true、false | BWA ロケーションの応答確認のデフォルトの状態を制御します。 |

### 6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call Settings

Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントは、ユーザがアプリケーションおよびサービス設定の一部を設定できる設定（セルフケア）ポータルへのアクセスを提供します。

さらに、クライアントはコール設定 Web ビュー（CSWV）を使用するオプションを提供します。 これにより、ユーザはサーバベースのコール設定をさらに制御できます。 別のタグを使用して、Web ベースの通話設定で特定のサービスが表示されるかどうかを制御できます。

> **メモ:** コール センター (セクション *6.1.31 コール センター/コール キューのログイン/ログアウト* を参照) や BroadWorks Anywhere (セクション *6.1.29.3BroadWorks Anywhere* (単一番号リーチ)を参照) などのアプリケーションですでに表示される設定を非表示にするこ



シスコ社外秘

とをお勧めします。 リモート オフィス サービスは、BroadWorks Anywhere サービスに継承されているため、非表示にすることをおすすめします。

次のカスタム タグを使用して、設定（セルフケアまたは CSWV）ポータルの URL を設定できます。 タグが空の場合、アプリケーション内のユーザに設定ポータルへのリンクは表示されません。

```
<config>
<services>
<web-call-settings target="%WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT%"
 <url>%WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT%</url>
<branding-enabled="%WEB_CALL_SETTINGS_BRANDING_ENABLED_WXT%">
  <service-settings>
   <service name="Call Forwarding Always"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Call Forwarding Busy"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Call Forwarding Not Reachable"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Call Forwarding No Answer"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Do Not Disturb"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Anonymous Call Rejection"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Simultaneous Ring Personal"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Sequential Ring"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Automatic Callback"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Call Waiting" visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Calling Line ID Delivery Blocking"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Personal Assistant"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Call Center - Standard"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="BroadWorks Anywhere"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="BroadWorks Mobility"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Remote Office" visible="%WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT%"/>
   <service name="Voice Messaging User"
visible="%WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT%"/>
 </service-settings>
<userportal-settings> <url>%USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT%</url></userportal-
settings>
</web-call-settings>
```



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT% | 外部 | 外部、csw | 管理者ポータル モードを制御します。<br>外部ブラウザで設定済み設定ポータル URL を開くには、「外部」に設定します。 to open configured setting portal URL in an external browser.<br>「csw」に設定すると、追加のパラメータセクション<services><web-call-settings> を使用して、埋め込みブラウザで CSW ポータルが開き、POST 要求をフォームします。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT% | 空 | URL 文字列 | 設定ポータルの URL。<br>例: https://settings.webex.com |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、[常に着信転送] オプションをユーザーに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定でユーザーにサイレント（DND）オプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、ユーザーに匿名着信拒否 (ACR) オプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、話中転送（CFB）オプションをユーザに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、Call Forwarding Not Reachable（CFNR）オプションをユーザに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、無応答時転送（CFNA）オプションをユーザに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、ユーザーに同時呼び出しパーソナル（SIMRING）オプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、シーケンシャル リング（SEQRING）オプションをユーザに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、Remote Office (RO) オプションをユーザーに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定でユーザーに自動コールバック (ACB) オプションを表示するかどうかを制御します。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、コール待機（CW）オプションをユーザに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、Calling Line ID Delivery Blocking（CLIDB）オプションをユーザーに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定でユーザーにパーソナルアシスタント (PA) オプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、BroadWorks Anywhere (BWA) オプションをユーザーに表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定でユーザーにコール センター オプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定で、BroadWorks モビリティ (BWM) オプションをユーザーに表示するかどうかを制御します。<br>現在、推奨値は Cisco BroadWorks 版 Webex と BroadWorks モビリティ間の相互運用性の問題により、「false」です。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定でユーザーに音声管理（VM）オプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BRANDING_ENABLED_WXT% | false | true、false | 新しいコール設定 WebView ブランディングを使用するかどうかを制御します。 サーバ側の CSWV バージョンが 1.8.6 以上である場合に有効にします。 それ以外の場合は、false のままにしておきます。 |
| %WEB_CALL_SETTINGS_EMAIL_VM_VISIBLE_WXT% | true | true、false | Web ベースの設定でメール/ボイスメール メッセージオプションを表示するかどうかを制御します。 |
| %USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT% | 空 | URL 文字列 | ユーザ設定ポータルの URL を指定します。 この機能を有効にして、UI の [ユーザー ポータルにアクセス] ボタンを表示するには、このカスタム タグを空にしないでください。 たとえば、次のようなものです。 https://settings.webex.com |
| %USER_PORTAL_SETTINGS_TARGET_WXT% | 外部 | 外部、内部 | 埋め込みブラウザまたは外部ブラウザで URL を開くかどうかを指定します。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %USER_PORTAL_SETTINGS_SSO_ENABLED_WXT% | false | true、false | 埋め込みブラウザが設定されている場合にのみ適用されます (USER_PORTAL_SETTINGS_TARGET_WXT=internal)。 有効にすると、HTTP POST 要求が使用され、BroadWorks 短期間トークンが本文の一部として追加されます。 無効にすると、URL は HTTP GET で開かれます。 |

**注意 1: コール設定 WebView URL には、常に末尾の「/」が設定されている必要があります。 たとえば、次のようなものです。 http(s)://<XSP-FQDN>/<CSW-Context-Path>/**: The Call Settings WebView URL should always have a trailing "/" configured. For example: http(s)://<XSP-FQDN>/<CSW-Context-Path>/

**注 2: サポートされているコール設定 WebView アプリケーションの最小バージョンは 1.7.5 です。**: The Call Settings WebView application minimum version that is supported is 1.7.5.

Cisco BroadWorks リリース 21.0 へのインストールについては、『Webex For Cisco BroadWorks ソリューションガイド』で説明されている追加の手順を参照してください。*Webex For Cisco BroadWorks Solution Guide*.

### 6.1.31 コール センター/コール キューのログイン/ログアウト

Webex アプリは、コール センター (コール キュー) エージェント設定へのアクセスを提供します。 ユーザがコール センターにプロビジョニングされている場合、この機能により、ユーザはコール センターにログインし、利用可能なコール キューを表示したり、参加/不参加キューを表示したり、自動通話分配（ACD）ステータスを設定したりできます。

デスクトップ リリース 42.8 およびモバイル リリース 42.12 以降、コール センター (コール キュー) エージェントは通話設定 Web ビューに基づいていなくなりました (セクション*6.1.30 設定ポータルおよび Web ベースの通話設定 and Web-based Call* Settings を参照)。 コール センター (コール キュー) エージェント構成には、デスクトップとモバイル Webex アプリの設定のフッターからアクセスできます。

```
<config>
<services>
<call-center-agent enabled="%ENABLE_CALL_CENTER_WXT%"/>
```



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_CENTER_WXT% | false | true、false | Call Center サポートを有効にします。 |

### 6.1.32 XSI ルートとパス

Cisco BroadWorks 版 Webex クライアントは、サインインに使用されるものと異なるよう XSI ルート、アクション、イベント パスを制御するために、次のタグを使用します。

XSI ルートを変更する主な理由は、設定レベルでロードバランシングを実装することですが、代わりに HTTP レイヤーでロードバランシングを使用することが推奨されています。

イベントとアクションのパスは、通常、クライアントによって実行された XSI HTTP 要求の URL パスから com.broadsoft ドメイン参照を削除するために、ブランディング要件によって変更されます。*com.broadsoft* domain reference from the URL paths of the XSI HTTP requests performed by the client.

```
<config>
<protocols><xsi>
       <paths>
              <root>%XSI_ROOT_WXT%</root>
              <actions>%XSI_ACTIONS_PATH_WXT%</actions>
              <events>%XSI_EVENTS_PATH_WXT%</events>
       </paths>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %XSI_ROOT_WXT% | 設定フェッチに使用される元のフェッチを引き続き使用します。 | URL 文字列 | すべての XSI 操作の XSI ルート。<br>例: https://domain.com/ |
| %XSI_ACTIONS_PATH_WXT% | /com.broadsoft.xsi-actions/ | 文字列 | XSI アクションのパスを指定します。<br>これは “/” で開始および終了し、アクションコンテキストのみを含める必要があります。<br>例: /com.domain.xsi-actions/ |
| %XSI_EVENTS_PATH_WXT% | /com.broadsoft.xsi-events/ | 文字列 | XSI Events のパスを指定します。<br>開始と終了は “/” でなければならず、イベントのコンテキストだけを含める必要があります。<br>例: /com.domain.xsi-events/ |



シスコ社外秘

### 6.1.33 XSI イベント チャネル

XSI イベント チャネルは、次のようなさまざまなサービスに使用されます。

- XSI 通話中制御
- 通話設定ステータス通知
- 通話の録音

XSI Events のハートビートは、XSI Event チャネルを開いたままにするために使用され、次のパラメータを使用してハートビート間隔を指定できます。

```
<config>
<protocols><xsi>
<event-channel enabled="%ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT%">
    <heartbeatInterval> %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT%</heartbeatInterval>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT% | true | true、false | XSI イベント チャネルが有効かどうかを制御します。 たとえば、通話中制御サービス関連イベントを受信するには、「true」に設定する必要があります。<br>推奨値は “true” です。 |
| %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT% | 10000 | 番号 | これは XSI イベント チャネルのハートビートです（ミリ秒）。<br>デフォルトは「10000」です。 |

### 6.1.34 コーデックの設定

Cisco BroadWorks 版 Webex は、さまざまな音声およびビデオ コーデックを提供します。 各コーデックのリストは、 設定/services/calls/の 音声/コーデックおよび ビデオ/コーデックセクション。 各コーデックの優先順位は、0.0 (最小) から 1.0 (最高) までの値である XML-attribute priority で変更できます。*config/services/calls/* in the *audio/codecs* and *video/codecs* sections. The priority of each codec can be changed via the *XML-attribute priority*, which is a value between 0.0 (lowest) and 1.0 (highest).

Webex アプリは次のコーデックを正式にサポートしています。

- 音声
  - 著作情報
  - G.722
  - G.729。
  - PCMU（g.711u）
  - pcma（g.711a）



シスコ社外秘

- iLBC

- ビデオ
  - H.264



シスコ社外秘

```
<config>
<services><calls>
  <audio>
    <codecs>
      <codec name="opus" priority="1" payload=""/>
      <codec name="G722" priority=".9" payload=""/>
      <codec name="PCMU" priority=".8" payload=""/>
      <codec name="PCMA" priority=".7" payload=""/>
      <codec name="G729" priority=".5" payload="" vad=""/>
      <codec name="iLBC" priority=".4" payload="" framelength="30"/>
      <codec name="telephone-event" payload="101" in-band="false"/>
    …
  <video>
    <codecs>
      <codec name="H264" payload="109" resolution="CIF" framerate="25"
bitrate="768000" priority="1.0">
        <packet-mode>0</packet-mode>
```

クライアントは、ビデオ コーデックとして H.264 をサポートします。 ビデオ解像度の属性を使用して、次のいずれかの値を設定できます。 SUBQCIF、QCIF、CIF、4CIF、VGA、および HD。

ビットレートが設定に入力されていない場合は、デフォルトのビットレート値が使用されます。次の表に、解像度とフレームレートごとのデフォルトのビットレート値を示します。

| 解像度 | ビデオ サイズ * | FPS(フレーム/秒) | 解像度および FPS ごとのデフォルトのビット レート値 |
|---|---|---|---|
| SUBQCIF | 128 x 96 | 15 | 128000 |
| QCIF | 176 x 144 | 30 | 192000 |
| CIF | 352 x 288 | 15 | 384000 |
| CIF | 352 x 288 | 30 | 768000 |
| VGA | 640 x 460 | 15 | 2000000 |
| 4CIF | 704 x 576 | 25 | 2000000 |
| HD | 960 x 720 | 30 | 2000000 |

*** アドバタイズされたビデオの最大解像度。 2 つの Cisco BroadWorks 版 Webex クライアント間の通話中の実際のビデオ解像度は、両方のクライアントの機能によって異なります。2 つのクライアントの下位になり、両方のクライアントでも同じになります。** Maximum advertised video resolution. The actual video resolution during a call between two Webex for Cisco BroadWorks clients depends on the capabilities of both clients – it will be the lower of the two and will be the same on both clients.

ビデオ コールのビデオ解像度は、セッションのセットアップ中にネゴシエートされ、2 つのエンドポイントの機能に基づいています。 ビデオコールの解像度は、両方のエンドポイントで同じです。 つまり、Cisco BroadWorks 版 Webex エンドポイントに異なる機能がある場合 (したがって異なる解像度をサポート)、コールに対して低い解像度がネゴシエートされます。 ネットワークの状態が悪化すると、通話中にビデオの解像度が変更される場合があります。 この場合、2 つのモバイル エンドポイントが異なるビデオ解像度を使用している可能性があります。

パケット化モードは、SingleNAL（0）またはインターリーブ（1）に設定できます。 テンプレートはデフォルトで SingleNAL を使用します (<packet-mode>0</packet-mode>)。

単一または複数の電話イベントの設定もサポートされています。 コーデックのネゴシエーション中、クライアントは電話イベントを含む、設定されたすべてのコーデックを送信します。 音声コーデックを選択すると、オファー内の電話イベントを検索します。 オファーにネゴシエートされた音声コーデックのサンプル レートを持つ電話イベントがある場合、この電話イベントが選択されます。 それ以外の場合は、リスト内の最初の電話イベントが使用されます。

少なくとも 1 つの電話イベントがネゴシエートされている場合、デュアルトーン マルチ周波数（DTMF）は、対応するペイロード タイプを使用して RTP パケットとして送信されます。 また、電話イベントがネゴシエートされていない場合、DTMF は、ネゴシエートされた音声コーデックのペイロード タイプを持つ RTP パケットとして送信されます。 DTMF を配信するためのアウトオブバンドメカニズムは、Webex アプリではサポートされていません。

設定されたコーデックの例:

```
<codec name="telephone-event" payload="100" in-band="false" />
<codec name="telephone-event" payload="101" clockrate="48000" in-band="false"
/>
```

48kbps のサンプル レートを持つ音声コーデックがネゴシエートされている場合、ペイロード 101 の電話イベントが使用されます。

### 6.1.35 SIP-URI ダイヤル

現在、BroadWorks 経由の SIP-URI ダイヤルは利用できません。デフォルトでは、すべての SIP-URI コールは Locus を通じてルーティングされます。これは「無料通話」とも呼ばれます。一部の環境では、これは望ましくないため、そのようなコールはブロックする必要があります。

> **メモ:** これは、Locus 通話が無効になっている場合にのみ適用されます。 この場合、SIP URI ダイヤル ブロッキングのみが機能します。

次の設定では、このオプションが提供されます。

```
<config>
    <services>
        <calls>
            <sip-uri-dialing enable-locus-
calling="%SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT% | true | true、false | SIP-URI を Locus を介してルーティングするか (true)、ブロックする (false) を制御します。 |



シスコ社外秘

### 6.1.36 すべてのデバイスの通話履歴

クライアントは、ローカルに保存する代わりに、サーバから通話履歴を保存および取得する機能を提供します。 これにより、すべてのデバイスで通話履歴が統一されます。

**メモ:** 通話履歴の欠落やレコードの重複を避けるために、クライアント側とサーバ側の統合通話履歴を同時に有効にする必要があります。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_UNIFIED_CALL_HISTORY_WXT% | false | true、false | アプリケーションが Unified Call History またはクライアント側（ローカル）を使用するかどうかを制御します。 |

### 6.1.37 ビデオ通話を無効にする

リリース 41.9 では、ビデオ コールを無効にする機能が追加されました。 BroadWorks バックアップおよび Locus (無料) VoIP コールでこの機能を制御するための個別の設定オプションがあります。

機能が有効で、機能タグが「false」に設定されている場合:

- ユーザーに [ビデオをオンにして着信を受け入れる] 設定が表示されない
- 受け入れられた場合、すべての着信ビデオ通話は音声通話になります
- ユーザーはコールをビデオにエスカレーションできず、ビデオ エスカレーションは自動的に拒否されます

ビデオ コールが有効になっている場合、新しい設定プロパティが追加され、「ビデオをオンにして着信コールを受け入れる」設定のデフォルト値を制御します。 デフォルトでは、この機能はデスクトップでオンになり、モバイルおよびタブレットでオフになっています。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SIP_VIDEOCALLS_WXT% | true | true、false | BroadWorks 経由の SIP ビデオ コールの可用性を制御します。 |
| %ENABLE_LOCUS_VIDEOCALLS_WXT% | true | true、false | Locus (無料) ビデオ コールの可用性を制御します。 |
| %VIDEOCALLS_ANSWER_WITH_VIDEO_ON_DEFAULT_WXT% | デスクトップ - true<br>モバイル/タブレット - false | true、false | [ビデオをオンにして着信を受け入れる] 設定のデフォルト値をコントロールします。 |



シスコ社外秘

### 6.1.38 緊急 (911) 通話 - E911 プロバイダーによるロケーションレポート

デスクトップおよびタブレットの Webex クライアントは、BroadWorks 版 Webex 展開の E911 緊急コール プロバイダーとして、RedSky、Intrado、または帯域幅を使用した E911 ロケーションレポートをサポートします。 E911 プロバイダーは、デバイスごとのロケーション サポート (Webex デスクトップ、タブレット アプリ、および HELD 対応の MPP デバイス) と、米国、その準州 (グアム、プエルトリコ、ヴァージン諸島)、およびカナダのみの公共の安全応答ポイント (PSAP) への緊急通話をルーティングするネットワークを提供します。 サービスはロケーションに基づいて有効にできます。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %EMERGENCY_DIALING_ENABLE_REDSKY_WXT% | false | true、false | E911 プロバイダー緊急ロケーション プラットフォームを有効にします。 |
| %BWE911-PRIMARY-HELDURL% | 空 | 文字列 | HELD プロトコルをサポートする E911 プロバイダー緊急ロケーション プラットフォームへの URL を指定します。 |
| %BWE911-CUSTOMERID% | 空 | 文字列 | E911 プロバイダー HTTPS リクエストに使用される顧客 ID (HeldOrgId、CompanyID)。 |
| %BWE911-SECRETKEY% | 空 | 文字列 | E911 プロバイダーの HTTPS リクエストを認証するためのシークレット。 |
| %BWE911-EMERGENCY-NUMBER-LIST% | 空 | CSV 文字列 | E911 プロバイダーでサポートされている緊急番号のリストです。 |
| %EMERGENCY_REDSKY_USER_REMINDER_TIMEOUT_WXT% | 0 (ユーザーには再度プロンプトが表示されません) | 番号 [0 ～ 43200] | 現在の緊急ロケーションが入力されていないか、無効の場合に、ユーザーに緊急ロケーションを更新するようにリマインドするために使用されるタイムアウト（分単位）。<br>有効にすることを決定した場合の推奨値: 1440 年（1 日） |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %EMERGENCY_REDSKY_USER_MANDATORY_LOCATION_WXT% | -1 (ユーザはいつでもダイアログをキャンセルできます) | 番号 [-1 ～ 100] | ロケーションが必須になる前に、ユーザがロケーション ダイアログを閉じることを許可する時間（つまり、ロケーション ウィンドウを閉じることはできません）。<br>使用可能な値:<br>▪ N = -1（ユーザはいつでもダイアログをキャンセルできます）<br>▪ N = 0（ユーザはダイアログをキャンセルできません - 常に必須のロケーション）<br>▪ N > 0（ユーザはダイアログが必須になる前に N 回キャンセルできます） |
| %EMERGENCY_REDSKY_USER_LOCATION_PROMPTING_WXT% | 攻撃的、once_per_login | 例 1<br>once_per_login | E911 ロケーション<br>プロンプトの動作を定義します。<br>「攻撃的」の値は、ネットワークが不明なロケーションに変更されるたびにユーザーに対してダイアログを表示しますが、「once_per_login」の値は 1<br>回だけ表示され、ユーザーのポップアップや気が散らないようにします。 |

**注意 1: BWE911-*** タグは「動的組み込みシステムタグ」です。詳細については、セクション**: BWE911-*** tags are “Dynamic Built-in System Tags”. For more information, see section *5.7Cisco BroadWorks 動的組み込みシステム タグ*を参照してください。

**注 2: VOIP 通話が無効になっている場合、緊急ダイヤル シーケンス (%EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT%) の唯一の意味のある値は cs のみです。**:
If VOIP calling is disabled, the only meaningful value for emergency dial sequence (%EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT%) is cs-only.



シスコ社外秘

### 6.1.39 アイデンティティとして PAI

着信通話では、この新しいパラメータは SIP From と P-Asserted-Identity (PAI) ヘッダーの優先順位、および通話回線 ID として使用するものを制御します。 着信 SIP INVITE に X-BroadWorks-Remote-Party-Info ヘッダーがある場合、SIP From ヘッダーと PAI ヘッダーよりも優先順位で使用されます。 着信 SIP INVITE に X-BroadWorks-Remote-Party-Info ヘッダーがない場合、この新しいパラメータは、SIP From ヘッダーが PAI ヘッダーよりも優先されるか、またはその逆かを決定します。**incoming calls**, this new parameter controls the priority of SIP From and P-Asserted-Identity (PAI) headers, and what should be used as a calling line identity. If there is an X-BroadWorks-Remote-Party-Info header in the incoming SIP INVITE, it is used with priority over the SIP From and PAI headers. If there is no X-BroadWorks-Remote-Party-Info header in the incoming SIP INVITE, this new parameter determines if the SIP From header is priority over the PAI header or vice versa.

<use-pai-as-calling-identity> タグの enabled 属性が “true” に設定されている場合、PAI ヘッダーは From ヘッダーよりも優先順位で使用されます。 この発信側 ID は、連絡先を解決してユーザに提示するために使用されます。

発信コールの場合、このロジックは適用されません。 18X、200 OK 応答では、接続された回線 ID を受信するため、WEBEX アプリケーションは常に SIP PAI ヘッダーを優先度で使用します。**outgoing calls**, this logic is not applied. In the 18X, 200 OK responses, the connected line identity is received, so the Webex application always uses the SIP PAI header with priority.

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %USE_PAI_AS_CALLING_IDENTITY_WXT% | false | true、false | ユーザに表示される発信者 ID を SIP From ヘッダーまたは SIP P-Asserted-Identity ヘッダーから取得するかどうかを制御します。 優先順位で PAI ヘッダーを使用するには、「true」に設定します。 |

### 6.1.40 画面共有を無効にする

リリース 42.5 では、画面共有の可用性を制御する機能が追加されました。 画面共有が無効になっている場合:

- ユーザーに 1 対 1 の通話で画面共有を開始するオプションが表示されない
- 着信画面共有要求が拒否され、ユーザーに情報メッセージが表示されます

デフォルトでは、この機能は有効になっています。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SCREEN_SHARE_WXT% | true | true、false | ユーザーに対して画面共有を有効にするかどうかを指定します。 |



シスコ社外秘

### 6.1.41 スパムコール通知

フィーチャー トグル (展開タイプごと) が有効になっており、構成ファイルで機能が有効になっている場合、Webex アプリは NewCall プッシュ通知または通話履歴レコードの一部として受信された場合、スパム コールの検証ステータスを示す新しいパラメータを処理します。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALLS_SPAM_INDICATION_WXT% | false | true、false | Webex Calling のみの着信通話画面および通話履歴でのスパム通話表示の可用性を制御します。 |

### 6.1.42 PSTN/モバイル コールのノイズ除去と帯域幅拡張

ノイズ除去は、PSTN またはモバイル デバイスで Webex 以外のユーザーと通話するときに、通話ユーザーにより優れた通話エクスペリエンスを提供します。 リリース 43.12 では、ノイズ除去はデフォルトでオンになっています。

Webex アプリのリリース 44.2 では、狭帯域の PSTN 通話用の新しい着信音声メディアのスピーチ AI が導入されました。

- 新しい帯域幅拡張アルゴリズムが追加され、狭帯域の PSTN スペクトルの帯域幅を拡張してノイズを除去することで、オーディオ品質を向上させます。 帯域幅が拡大すると、聞き取りやすさが向上し、リスニング疲れが減少します。
- 既存のノイズ除去アルゴリズムが強化され、保留音やその他の音声トーン（ビープ音信号など）の制限が削除されます。
- この機能を有効にすると、ユーザーは「スマート音声 – 外部」インジケータが表示され、着信音声メディアのスピーチ AI の強化を制御できます。

デフォルトでは、これらの音声強化が有効になっており、オンになっています。 ユーザは、[音声設定] の [スマート音声設定] から初期状態を制御できます。

```
<config>
   <services>
      <calls>
         <speech-enhancements enabled="%ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT% | false | true、false | 外部（着信）メディアの音声強化を有効にします。 |



シスコ社外秘

メモ: ノイズ除去は追加の音声強化の一部となり、<noise-removal> タグは新しい<speech-enhancements> タグで廃止されました。 ノイズ除去カスタムタグ %ENABLE_NOISE_REMOVAL_WXT% も廃止されています。ENABLE_NOISE_REMOVAL_WXT% is also deprecated.

### 6.1.43 QoS DSCP マーキング

QoS DSCP マーキングは、Webex アプリの通話メディア RTP パケット (音声とビデオ) でサポートされています。 DSCP は、ネットワーク データのトラフィック分類を決定します。 これは、どのネットワーク トラフィックが高帯域幅を必要とするか、優先度が高いか、パケットをドロップする可能性が高いかを判断するために使用できます。

メモ: Microsoft Windows オペレーティング システムの最新バージョンでは、アプリケーションが送信パケットに DSCP または UP を直接設定することを許可しません。代わりに、UDP ポート範囲に基づいて DSCP マーキング ポリシーを定義するためにグループ ポリシー オブジェクト (GPO) の展開が必要になります。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_AUDIO_QOS_WXT% | true | true、false | 音声コールの QoS を有効にします。 |
| %AUDIO_QOS_VALUE_WXT% | 46 | 0-63 | 音声コールに対して選択した QoS タイプの QoS 値を指定します。<br>メモ: 値が提供されていない場合、または値が正常に解析できなかった場合、デフォルト値が使用されます。 |
| %ENABLE_VIDEO_QOS_WXT% | true | true、false | ビデオ コールの QoS を有効化 |
| %VIDEO_QOS_VALUE_WXT% | 34 | 0-63 | ビデオ コールに対して選択した QoS タイプの QoS 値を指定します。<br>メモ: 値が提供されていない場合、または値が正常に解析できなかった場合、デフォルト値が使用されます。 |

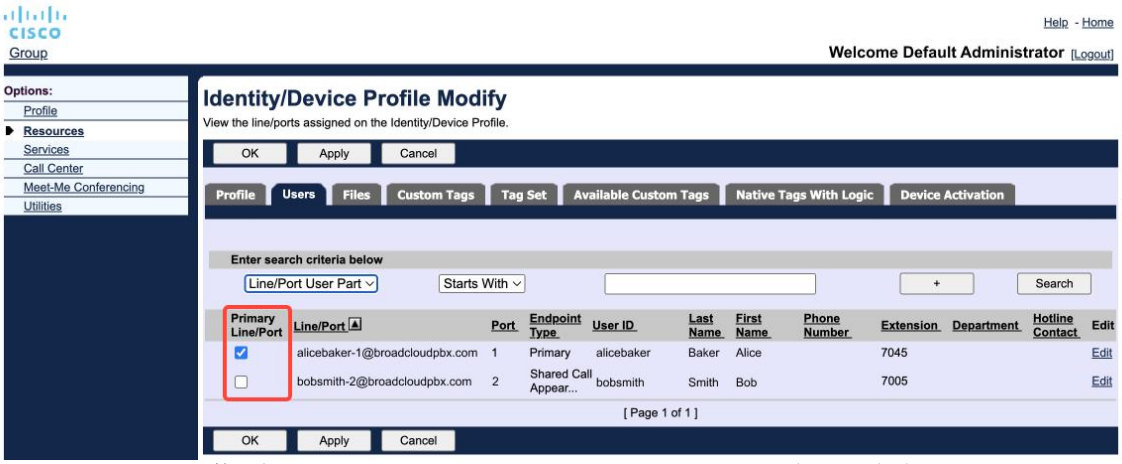
### 6.1.44 プライマリ プロファイル

共有回線 (*6.2.12複数回線 - 共有回線アピアランス*) の統合により、ユーザーの回線が別のユーザーと共有されている場合、ユーザーに対して同じタイプの複数のプロファイルが設定されている可能性があります。 電話サービスにサインインするための正しいプロファイルを選択するには、Cisco BroadWorks が拡張され、ユーザーがデバイスを所有しているかどうか、つまり、デバ



シスコ社外秘

イスのプライマリ回線/ポートが割り当てられているかどうかを示します。Cisco BroadWorks の更新に関する詳細については、「Webex クライアント共有回線をサポートするためのデバイスリストの所有者フラグ」にチェックを入れます。Owner Flag In Device List To Support Webex Client Shared Lines.



管理者ポータルの ID/デバイス プロファイルのプライマリ回線/ポート設定

リリース 43.2 以降、プライマリ プロファイルの制限を適用するかどうかを制御するために、新しい設定オプション (device-owner-restriction) が追加されます。 Webex アプリケーションがプライマリ以外の回線/ポートプロファイルを使用して電話サービスにサインインすることを許可するために使用できます。 この構成オプションは、ユーザーに対して設定されたプロファイルの数に関係なく、すべての設定に適用されます (デバイスの所有権制限が有効で、対応するプラットフォームのプライマリ回線/ポートを持つデバイスがない場合、電話サービスは接続されません)。*device-owner-restriction*) is added to control whether the primary profile restriction should be applied. It can be used to allow the Webex application to use a non-primary Line/Port profile to sign in the Phone services. This config option is applied for all the configurations, regardless the number of profiles configured for the user (**If the device ownership restriction is enabled and there is no device with Primary Line/Port for the corresponding platform, Phone services will not connect**).

ユーザーがデスクトップ Webex アプリでペアリングできるデバイスにも同じ制限が適用されます。ユーザーは、所有しているデバイスのみを表示してペアリングできます。 これにより、共有または仮想回線が割り当てられている別のユーザーのデバイスとのペアリングができなくなります。 同じ設定パラメータの値がこの制限にも適用されます。

```
<config>
<services><calls>
<device-owner-restriction enabled="%ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT%"/>
```



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT% | true | true、false | デバイス所有者の制限を制御します。電話サービスが特定のデバイスのプライマリ プロファイルを使用する場合 |

**メモ:** 所有者の制限を有効にすることを推奨します。 無効にすると、電話サービスは最初に見つかったプロファイルを使用してサインインします。同じタイプのユーザに対して複数のプロファイルが設定されている場合に問題が発生する場合があります。

### 6.1.45 ブロック リスト (Webex Calling のみ)

43.5 以降、Webex アプリでは、ユーザー定義の電話番号のブロック リストが導入されます。 この機能が有効な場合、ユーザは、特定の番号からの着信コールをサーバ側でブロックし、ユーザのデバイスで配信しないように指定できます。 ユーザーはこれらのブロックされた通話を通話履歴で確認できます。

ユーザーは、2 つの場所からブロック リストを設定できます (通話基本設定と通話履歴)。 [基本設定] で、ユーザーはブロックされた番号のリストを表示して編集できます。 通話履歴では、ユーザ定義のブロック リストによってブロックされた通話の通話履歴レコードを確認できます。これらのレコードには、番号がユーザ定義のブロック リストにある場合、ブロックされた通知があり、ユーザは特定のレコードに対して番号を直接ブロック解除するオプションがあります。ブロックオプションも利用できます。

ユーザ定義のブロック リストに追加された番号のルール:

- 番号の形式
  - 通話基本設定からブロックすると、Webex アプリで E.164 形式の制限がローカルで適用されます
  - すべての Webex Calling レコードで通話履歴からのブロックが許可されます
  - Cisco BroadWorks は、番号形式に基づいてブロックリストに追加された新しい番号の要求を許可または拒否できます。
- 内線番号 - 内線番号からの着信は、ユーザーが定義したブロック リストの一部である場合でも、ユーザーに配信されます。

ユーザー定義のブロック リストは Cisco BroadWorks で構成され、ユーザーのためにすべての WxC デバイスに適用されます。この機能は、管理者が定義したブロック リストと連携して機能します。この機能はユーザーが構成できず、管理者は Control Hub を通してのみ制御できます。管理者が定義したブロック リストによってブロックされた着信通話の通話履歴レコードはありません。

ユーザ定義のブロック リストは、STIR/SHAKEN、管理定義のブロック リスト、および匿名通話拒否ポリシーの後で適用されます。



シスコ社外秘

```
<config>
<services><calls>
<call-block enabled="%ENABLE_CALL_BLOCK_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT% | true | true、false | ユーザー定義のブロック リストを有効にします<br>「true」に設定すると、通話設定と通話履歴のブロック リストが表示されます。 |

**メモ:** この機能は、ユーザーに割り当てられている Cisco BroadWorks Call Block サービスによって異なります。

### 6.1.46 Media Adaptation and Resilience Implementation（MARI）

#### 6.1.46.1 レート適応

Webex アプリケーションには、音声がビデオ パケット損失の影響を受けないことを確認するための適応型メディア品質技術をすでに統合しています。また、ビデオがビデオ レート アダプテーションを利用して、輻輳時に使用される帯域幅の量を管理できるようにします。

レート適応または動的ビット レートの調整は、使用可能な可変帯域幅に合わせてコールレートを調整し、パケット損失条件に基づいてビデオ ビット レートを下速または上速化します。 エンドポイントは、受信者からパケット損失があることを示すメッセージを受信したときにビット レートを減少させ、パケット損失が減少すると、ビット レートの高速化が発生します。

レート適応メカニズムの使用を制御するための設定可能な設定はありません。

#### 6.1.46.2 転送エラー修正 (FEC) とパケット再送信 (RTX)

リリース 43.4 以降、Webex アプリは、音声とビデオ メディアの両方に対して Forward Error Correction (FEC) および Packets Retransmission (RTX) をサポートするメディア適応メカニズムに追加します。

FEC は、事前決定されたアルゴリズムを使用して送信された情報に冗長性を提供します。 冗長性により、受信者は限られた数のエラーを検出して修正できます。送信者に追加データを要求する必要はありません。 FEC は、レシーバにデータの再送信を要求するリバースチャネル（RTCP など）を必要とせずにエラーを修正する機能を提供しますが、この利点は、固定の高転送チャネルの帯域幅（送信されるより多くのパケット数）の費用です。

エンドポイントは、768 kbps 以下の帯域幅で FEC を使用しません。 また、FEC を導入する前に、少なくとも 1.5% のパケット損失がある必要があります。 エンドポイントは通常、FEC の有効性を監視し、FEC が効率的でない場合は使用されません。



シスコ社外秘

FEC は再送信よりも多くの帯域幅を消費しますが、遅延は少ないです。 RTX は、小さな遅延が許可され、帯域幅の制約がある場合に使用されます。 大きな遅延と十分な帯域幅の場合、FEC が望ましいです。

Webex アプリは、特定のメディア ストリームのネゴシエートされた帯域幅と遅延許容量に応じて、RTX または FEC を動的に選択します。 FEC では、冗長なビデオ データにより帯域幅の使用率が高くなるが、失われたパケットを回復するための追加の遅延は発生しません。 RTX は帯域幅の使用率向上に貢献しません。RTP パケットは、受信者が RTCP フィードバック チャネルのパケット損失を示す場合にのみ再送信されるためです。 RTX は、RTCP パケットが送信者から受信者に到達し、再送信パケットが送信者から受信者に到達するのにかかる時間のために、パケット回復遅延を導入します。

RTX を有効にするには、FEC を有効にする必要があります。

```
<config><services><calls>
<audio>
       <audio-quality-enhancements>
              <mari>
                     <fec enabled=”%ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT%”>
                            <x-ulpfecuc>8000</x-ulpfecuc>
                             <payload>111</payload>
                             <max_esel>1400</max_esel>
                            <max_n>255</max_n>
                            <m>8</m>
                             <multi_ssrc>1</multi_ssrc>
                             <non_seq>1</non_seq>
                             <feedback>0</feedback>
                             <order>FEC_SRTP</order>
                     </fec>
                      <rtx enabled=”%ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT%”>
                            <mari-rtx>90000</mari-rtx>
                             <payload>112</payload>
                             <time>180</time>
                             <data-flow>1</data-flow>
                             <order>RTX_SRTP</order>
                      </rtx>
              </mari>
...
<video>
       <video-quality-enhancements>
              <mari>
                     <fec enabled="%ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT%">
                            <x-ulpfecuc>8000</x-ulpfecuc>
                              <payload>111</payload>
                              <max_esel>1400</max_esel>
                              <max_n>255</max_n>
                              <m>8</m>
                              <multi_ssrc>1</multi_ssrc>
                              <non_seq>1</non_seq>
                              <feedback>0</feedback>
                              <order>FEC_SRTP</order>
                     </fec>
                      <rtx enabled="%ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT%">
                            <mari-rtx>90000</mari-rtx>
                              <payload>112</payload>
                              <time>180</time>
                              <data-flow>1</data-flow>
                              <order>RTX_SRTP</order>
```



シスコ社外秘

```
                    </rtx>
                </mari>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT% | false | true、false | 音声通話の FEC を有効にする |
| %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT% | false | true、false | 音声通話の RTX を有効化 (音声 FEC を有効にする必要があります) |
| %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT% | false | true、false | ビデオ コールの FEC を有効にする |
| %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT% | false | true、false | ビデオ コールの RTX を有効化 (ビデオ FEC を有効にする必要があります) |

### 6.1.47 同じユーザーとの同時通話

1 台のデバイスで同じユーザーとの同時通話のサポートを追加します。

この機能は、コールの提示された ID が接続された ID と同じではない展開で便利です。 これにより、在席転送を元のパーティに戻すことができなくなります。 この機能を有効にすると、ユーザーは同じリモートパーティで複数の同時通話を処理できるようになります。

```
<config>
   <services>
      <calls>
         <simultaneous-calls-with-same-user
enabled="%ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT% | false | true、false | Webex アプリに同じユーザーとの 1 つまたは複数の WxC 通話のみを使用できるかどうかを指定します。 |

### 6.1.48 rtcp-xr について

リリース 43.8 以降、Webex アプリはコール中に RTCP-XR パケット交換のためのネゴシエーションを追加します。 ネゴシエーションは、SIP INVITE セッションの確立中に実行されます。 両方のエンドポイントが RTCP-XR パケットをサポートしている場合、Webex Media Engine はこれらのパケットの交換を開始し、適応型通話品質メカニズムをサポートします。 この機能はデフォルトで有効になっています。



シスコ社外秘

さらに、Webex Calling のみの場合、これらの追加メトリックは SIP BYE を通じて送信され、Control Hub で公開されます。

```
<config>
<protocols><sip>
   <rtcp-xr>
      <negotiation enabled="%ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT% | true | true、false | より良い通話品質のために、RTCP-XR ネゴシエーションとパケット交換を有効にします。<br>IMAP のサポートを有効にします。 |

### 6.1.49 着信転送情報

Webex アプリのリリース 44.2 では、通話関連画面と通話履歴での通話転送とリダイレクト情報の可視性を制御するための設定可能なオプションが導入されました。

```
<config>
<services><calls>
<call-forwarding-info enabled="%ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT% | true | true、false | 通話転送およびリダイレクト情報の表示を制御します。<br>[true] に設定すると、通話関連画面と通話履歴の情報を表示します。 |

### 6.1.50 発信者番号

#### 6.1.50.1 発信者 ID (Webex Calling のみ)

Webex モバイル (リリース 44.2) およびデスクトップ (リリース 44.3) アプリでは、ユーザーが発信時に優先する外部発信者 ID を選択するための新しい機能が導入されています。 利用可能なオプションのリストには次のものが含まれます。

- 直通回線（デフォルト）
- ロケーション番号
- 同じ組織のカスタム番号



シスコ社外秘

- ユーザーが参加しているコール キュー。これにより、エージェントが発信者 ID 番号を使用できるようになります。
- ユーザーが所属するハント グループ。エージェントが発信者 ID 番号を使用できます。
- 発信者 ID を非表示

注意:

- Webex Calling のみ
- オプションのリストは、回線によって異なります。
  - プライマリ回線 – オプションのフル セット
  - 共有回線 – 利用できません
  - 仮想回線 – コール キュー オプションのみ
- すでに選択した ID が利用できなくなった場合、ユーザーのデフォルトの発信者 ID が使用されます
- 緊急コールは常にユーザーの緊急コールバック番号を使用します
- セクション<services><call-center-agent> の下の<outgoing-calls> タグを非推奨

利用可能なオプションのリストは、管理ポータルから設定できます。 Webex アプリでのこれらの強化の可用性を制御するために、別の DMS カスタム タグもあります。

```
<config>
<services><calls>
   <caller-id>
      <outgoing-calls enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT%">
         <additional-numbers enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT%"/>
         <call-center enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT%"/>
         <hunt-group enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT%"/>
         <clid-delivery-blocking enabled="%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT%"/>
      </outgoing-calls>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT% | false | true、false | 発信コールの発信回線 ID 番号の選択を有効にします。 |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT% | false | true、false | ユーザに設定された追加番号の可用性を制御します。 |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT% | false | true、false | ユーザに設定されたコール センター（DNIS）番号の可用性を制御します。 |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT% | false | true、false | ユーザに設定されたハント グループ番号の可用性を制御します。 |
| "%ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT% | false | true、false | 発信コールの選択として発信者 ID 配信のブロックを有効にします。 |



シスコ社外秘

**メモ:** デスクトップ アプリ バージョン 44.3 は Call Center CLID のみをサポートし、44.4 は残りのオプションをサポートします。

#### 6.1.50.2 リモート発信者 ID 名

コールを受信または開始すると、Cisco BroadWorks は SIP INVITE でリモートパーティの表示名を送信します。 これは Webex アプリでデフォルトで使用されます。同時に、Webex アプリは複数のソースに対して次の優先順位で連絡先の解決を開始します。

- 共通 アイデンティティ（CI）
- 連絡先サービス（カスタム連絡先）
- Outlook 連絡先 (デスクトップ)
- ローカルアドレス帳 (モバイル)

いずれかの検索ソースに対する連絡先の解決が成功した場合、リモート側の表示名が更新されます。 また、連絡先が CI で見つかった場合、コール セッションは同じユーザーの Webex クラウド サービスにリンクされ、リモートパーティのアバターとプレゼンスを表示したり、チャット、画面共有、Webex クラウド ミーティングにエスカレーションするオプションなどを提供します。

Webex アプリのリリース 44.5 では、連絡先解決を無視し、1:1 Cisco BroadWorks コールに使用される Workspaces または RoomOS デバイスでの通話に対して Cisco BroadWorks 表示名を常に保持するための設定可能なオプションが追加されました。

```
<config>
<services><calls>
   <caller-id>
      <remote-name>
         <machine mode="%CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT% | 解決済み | 解決済み、sip | ワークスペースと RoomOS デバイスのリモートパーティの表示名を制御します。「sip」を使用して、連絡先の解決を無視し、SIP INVITE セッションで受信した表示名を使用します。 |



シスコ社外秘

## 6.2 デスクトップのみの機能

### 6.2.1 強制的にログアウト

この機能により、Cisco BroadWorks は同じデバイス タイプを持つオンライン クライアント インスタンスを追跡し、そのうちの 1 つのみ一度にオンラインになることができます。 Cisco BroadWorks がクライアントにログアウトするように通知すると、SIP 接続は終了し、クライアントはコールが接続されていないことを示します。

この機能は、類似のクライアントが同時にオンラインになることができる一部の展開で必要であり、副作用を引き起こします。 1 つの例として、職場と自宅のデスクトップ マシンを持つユーザーで、どのクライアントがアクティブであるかによって、着信コールが 1 つだけ受信されます。

強制ログアウトは SIP に基づいており、クライアントは bsoft-call-info パラメータ値に関係なく、From ヘッダーに特別な appid-value を持つ call-info イベント パッケージに SIP SUBSCRIBE を送信します。 Cisco BroadWorks が同じ appid で複数のクライアント インスタンスをオンラインで検出すると、古いクライアント インスタンスに特別な SIP NOTIFY を送信し、ログアウトさせます。 たとえば、デスクトップクライアントは同じ appid-value を持っていますが、クライアント側のこの識別子の使用に制限はありません。 appid-value はサービス プロバイダーによって設定されます。*call-info* event package with a special *appid-value* in the *From* header, regardless of the *bsoft-call-info* parameter value. When Cisco BroadWorks detects multiple client instances online with the same *appid*, it sends a special SIP NOTIFY to the older client instance, causing it to log out. For example, Desktop clients would have an identical *appid-value* although there is no restriction about the usage of this identifier on the client side. The *appid-value* is configured by the service provider.

強制ログアウトを使用するには、SIP Call-Info サブスクリプションが有効になっている必要があります。*Call-Info* subscription must be enabled.

この機能に必要な Cisco BroadWorks パッチとリリースの詳細については、『Cisco BroadWorks 版 Webex ソリューション ガイド』の「Cisco BroadWorks ソフトウェア要件」のセクションを参照してください。*Webex for Cisco BroadWorks Solution Guide*.

設定の詳細については、次の例を参照してください（SIP はこのリリースでサポートされている唯一の制御プロトコルです）。

```
<config>
<services>
<forced-logout enabled="%ENABLE_FORCED_LOGOUT_WXT%" control-protocol="SIP"
appid="%FORCED_LOGOUT_APPID_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_FORCED_LOGOUT_WXT% | false | true、false | 強制ログアウトを有効にします。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %FORCED_LOGOUT_APPID_WXT% | 空 | 文字列 | サーバ側で相関のために使用される appid。これは任意の文字列にすることができます。<br>例: 『123abc』 |

### 6.2.2 コールピックアップ

コール ピックアップは、選択したユーザーがコール ピックアップ グループ内の任意の着信回線に応答できるマルチユーザー サービスです。 コール ピックアップ グループは管理者によって定義され、グループ内のユーザが互いにコールをピックアップできるサブセットです。

次のピックアップ ケースがサポートされています。

- ブラインド コール ピックアップ
- ダイレクト コール ピックアップ（ユーザは、それぞれの機能アクセス コードにダイヤルしてから、呼び出し中の電話の内線番号をダイヤルすることにより、グループ内の別の電話に転送されたコールに応答できます）。

```
<config>
<services><calls>
<call-pickup blind="%ENABLE_CALL_PICKUP_BLIND_WXT%"
directed="%ENABLE_CALL_PICKUP_DIRECTED_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_PICKUP_BLIND_WXT% | false | true、false | ブラインド コール ピックアップを有効にするには、「true」に設定します。 |
| %ENABLE_CALL_PICKUP_DIRECTED_WXT% | false | true、false | ダイレクト コール ピックアップを有効にするには、「true」に設定します。 |

### 6.2.3 Boss-Admin (エグゼクティブ-アシスタント) のサポート

Cisco BroadWorks のエグゼクティブ アシスタント機能として知られる Boss-Admin は、アシスタントがエグゼクティブの代わりに操作して、「エグゼクティブ」としてコールをスクリーニング、応答、発信できます。 assistant to operate on behalf of an executive to screen, answer, and place calls as the “executive”. 1 人のアシスタントは多くのエグゼクティブを持つことができ、次のことが可能です。

- コールを行う際に必要なロールを選択します。
- エグゼクティブの代わりに着信コールに応答し、そのコールをエグゼクティブにプッシュします。 それに加えて、すべての通常のコール管理オプションが利用できます。
- 着信コールが実際にエグゼクティブ向けであることを確認します。.



シスコ社外秘

エグゼクティブとエグゼクティブ アシスタントは、2 つの相互関連の Cisco BroadWorks サービスであり、一緒に次の機能を提供します。

- エグゼクティブ サービスを使用しているユーザーは、コールを管理するアシスタントのプールを定義できます。 アシスタントは、エグゼクティブ アシスタント サービスが割り当てられている同じグループまたはエンタープライズのユーザの中から選択する必要があります。
- エグゼクティブ アシスタント サービスを使用しているユーザーは、エグゼクティブの代わりにコールに応答して開始できます。
- エグゼクティブとアシスタントの両者は、どのコールをアシスタントに転送するか、着信コールについてアシスタントにアラートする必要があるか、スクリーニングのためにアシスタントに転送するコールをエグゼクティブに提示するかを指定できます。

```
<config>
<services>
<executive-assistant enabled="%ENABLE_EXECUTIVE_ASSISTANT_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_EXECUTIVE_ASSISTANT_WXT% | false | true、false | Boss-Admin 機能を有効にするには、「true」に設定します。 |

メモ: 機能の Boss-Admin (Executive-Assistant) のサポートは、共有回線との組み合わせでは利用できません。

### 6.2.4 SIP 通話をミーティングにエスカレーションする (Webex Calling のみ) (Webex Calling only)

クライアントは、進行中の SIP コールを Webex Calling 経由でミーティングにエスカレーションする機能を提供します。 標準的なアドホック会議の代わりに、この機能を使用することで、ユーザーはミーティング中にビデオや画面共有を使用できるようになります。

```
<config>
<services><calls>
       <escalate-to-webex-meeting
enabled="%ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | false | true、false | [Webex ミーティングにエスカレーション] メニュー オプションを有効にするには、「true」に設定します。 |



シスコ社外秘

### 6.2.5 卓上電話制御通話 - 自動応答

自動応答を使用すると、ユーザはクライアントの発信コールに Desk Phone Control（DPC）を使用して、ゼロタッチ応答で MPP 電話を管理できます。

選択した MPP 電話は、発信 DPC コールの音声/ビデオを送信します。

自動応答は、プライマリおよび非プライマリプロビジョニングされたデバイスで機能できます。ユーザにペアリング可能な登録済みの卓上電話が複数ある場合、選択済み/ペアリングされたデバイスのみが自動応答します。

```
<config>
<services><calls>
<deskphone-control auto-answer="%ENABLE_DESKPHONE_CONTROL_AUTO_ANSWER_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_DESKPHONE_CONTROL_AUTO_ANSWER_WXT% | true | true、false | 「true」に設定すると、卓上電話制御の自動応答が有効になります。 |

メモ: 自動応答は、DPC モード時の着信コールには影響しないため、卓上電話が着信コールに応答します。

### 6.2.6 トーン通知による自動応答

この機能により、ローカル デバイスの自動着信コール応答サポートが有効になります（これが着信コール要求に示されている場合）。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_AUTO_ANSWER_WXT% | false | true、false | 「true」に設定すると、バックエンドから要求された自動着信コールへの応答を有効にします。 |

### 6.2.7 卓上電話コントロール – 通話中制御 – 会議 Conference

この機能により、別のロケーションで終了したリモート（XSI）コールの会議およびマージ オプションが有効になります。



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_XSI_CONFERENCE_CALLS_WXT% | false | true、false | [true] に設定すると、別のロケーションで終了したリモート（XSI）コールの会議およびマージ オプションを有効にします。 |

### 6.2.8 コール ピックアップ通知

コール ピックアップ通知は、モニタするように設定されているユーザーへの着信コールがある場合にユーザが通知する機能を提供します。 コール ピックアップ通知は、コール ピックアップ グループおよびビジー ランプ フィールド サービスを使用して設定されたウォッチリストに対して受信できます。

コール ピックアップ通知は、監視対象のユーザーが物理的に互いに近づいていない場合や、同僚の電話の呼出音が聞こえない場合に便利です。

#### 6.2.8.1 ビジー ランプ フィールド

デスクトップ Webex アプリケーションは、ビジー ランプ フィールド (BLF) ウォッチリストのメンバーが着信コールがアラート状態の場合に通知を表示します。 通知には、着信コールを受信した発信者とユーザーに関する情報があり、コールに応答したり、通知を無視、または無視するオプションがあります。 ユーザが着信コールに応答すると、ダイレクト コール ピックアップが開始されます。

リリース 43.4 以降、BLF 監視対象ユーザのリストは、通話用のマルチ コール ウィンドウ（MCW）で利用できます（Windows でのみ利用可能）。 MCW の BLF リストの統合には次のものが含まれます。

- 着信コールを監視し、コールをピックアップするか、アラートを無視するかを選択します。
- BLF ユーザーの完全なリストを参照してください。
- ユーザーのプレゼンスを監視します。豊富なプレゼンスは、Webex Cloud の利用資格を持つユーザーのみ利用できます。 ベーシック (テレフォニー) プレゼンスは、BroadWorks のみのユーザーにのみ使用できます。
- BLF ユーザーとの通話を開始します。
- BLF ユーザーとのチャットを開始します。Webex Cloud の利用資格を持つユーザーのみが使用できます。
- BLF ユーザを連絡先として追加します。

```
<config>
  <services>
    <calls>
      <busy-lamp-field enabled="%ENABLE_BUSY_LAMP_FIELD_WXT%">
        <display-caller enabled="%ENABLE_BLF_DISPLAY_CALLER_WXT%"/>
        <notification-delay time="%BLF_NOTIFICATION_DELAY_TIME_WXT%"/>
```



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_BUSY_LAMP_FIELD_WXT% | false | true、false | コールをピックアップできる他のユーザに対して、ビジー ランプ フィールドのモニタリングと呼び出し通知を有効にします。 |
| %ENABLE_BLF_DISPLAY_CALLER_WXT% | true | true、false | 呼び出し中の通知で発信者の表示名/番号を表示できるようにします。 |
| %BLF_NOTIFICATION_DELAY_TIME_WXT% | 0 | 0～60 | 呼び出し中の通知がユーザに表示されるまでの遅延時間を制御します。 |

**メモ:** この機能は、ダイレクト コール ピックアップ サービスによって異なります。

#### 6.2.8.2 コール ピックアップ グループ (Webex Calling のみ)

リリース 44.2 以降、Webex アプリケーションは Webex Calling 展開のグループ コール ピックアップ（GCP）通知のサポートを追加します。 コール ピックアップ グループを通じて監視されているすべてのユーザーの着信コールについて、ユーザに通知することができます。

コール ピックアップ グループのユーザーの一部に対する着信通話の場合、呼び出し先がコールに応答する機会が与えられます。 Control Hub で設定できる GCP 通知の遅延があります。 呼び出し先が設定時間内にコールを処理しない場合、GCP 通知がグループに送信されます。

同じコール ピックアップ グループ内で複数のコールが発生した場合、受信時間に基づいて順番に処理されます。 最も古いコールの通知は最初にグループに配信され、処理されると、次の回線内の通知がグループに配信されます。

通知は、Control Hub 管理ポータルの設定に応じて、音声のみ、ビジュアルのみ、または音声とビジュアルの場合があります。 ビジュアル GCP 通知がある場合、ユーザはコール ピックアップ機能を使用してコールをピックアップできます。 音声のみの通知が設定されている場合、ユーザーには着信に対するビジュアル通知が表示されず、特定の着信音が聞こえ、Webex アプリで利用可能なコール ピックアップ メニューから、または FAC コード (*98) と内線番号を手動でダイヤルすることでコールをピックアップできます。

ユーザは、アプリケーション設定を使用して GCP 通知をミュートできます。 この設定はすべてのコール ピックアップ通知（BLF および GCP）に適用され、デフォルトで通知はミュートされます。

この機能は、プライマリ回線、およびユーザーに割り当てられた共有回線または仮想回線で機能します。



シスコ社外秘

```
<config>
<services><calls>
    <group-call-pickup-notifications enabled="%ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT%">
        <display-caller enabled="%ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT%"/>
        <max-timeout value="%GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT%"/>
    </group-call-pickup-notifications>
...
<protocols><sip>
    <lines>
        <line>
            <group-call-pickup>%BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-1%</group-call-pickup>
            ...
        </line>
        <line>
            <group-call-pickup>%BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-2%</group-call-pickup>
            ...
        </line>
        ...
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT% | false | true、false | グループ コール ピックアップ通知を有効にする |
| %ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT% | true | true、false | 呼び出し通知で発信者の表示名/番号を表示できるようにします |
| %GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT% | 120 | 5-120 (航空機) | ユーザが GCP 通知を利用できる最大時間を定義します。 |
| %BWGROUP-CALL-PICKUP-BOOL-n% | false | true、false | 対応する回線にコール ピックアップ グループが設定されているかどうかを示します |

**注意 1:** これは Webex Calling のみの機能です。

**注 2:** この機能は、ユーザに設定されているコール ピックアップ グループによって異なります。

### 6.2.9 リモート コントロール イベント パッケージ

BroadWorks レセプショニスト シン クライアントや Webex アプリが通話デバイスである Go インテグレーターのようなクリックツーダイヤル クライアントの場合、通話を受信したり、Webex アプリの保留/再開を処理するときに、リモート コントロール イベント パッケージに敬意を表するようになりました。



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_REMOTE_CONTROL_EVENTS_WXT% | false | true、false | 「true」に設定すると、ユーザに対してリモートコントロールを有効にするよう指定します。 |

### 6.2.10 コール キュー エージェント CLID の選択

エージェントが顧客に電話をかける場合、顧客に、個人/企業の CLID ではなく、適切な通話回線 ID (CLID) を確認してもらいたいと考えています。 たとえば、エージェント Mary Smith がテクニカルサポート通話キューに参加している場合、顧客に電話をかけた場合、Mary Smith ではなく、顧客の CLID をテクニカルサポートとして表示することを希望します。

Control Hub または CommPilot の管理者は、発信 CLID に使用される 1 つ以上の DNIS 番号をコール キューに指定できます。 エージェントには、発信コールを行うときに CLID として使用される DNIS 番号の 1 つを選択するオプションがあります。 Webex アプリは、エージェントが CLID として使用する DNIS を選択する機能を提供します。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_CENTER_AGENT_OUTGOING_CALLS_WXT% | false | true、false | コール センター キューに代わって発信コール (CLID の選択) を有効にします。 |

### 6.2.11 サバイバビリティ ゲートウェイ (Webex Calling のみ)

リリース 43.2 以降、Webex アプリケーションはサバイバビリティ コール モードのサポートを追加します。この機能が有効で、Webex クラウド接続がない場合、Webex アプリケーションはサバイバビリティ モードで実行できます。 このモードでは、ユーザーが利用できる通話機能が制限されています。

ローカル サバイバビリティ ゲートウェイは顧客によって展開されます。

```
<config>
<protocols>
<sip>
<survivability-gateway enabled="%ENABLE_SURVIVABILITY_GATEWAY_WXT%" fallback-
time="%SURVIVABILITY_FALLBACK_TIME_WXT%">%BWSURVIVABILITYGATEWAY%</survivabilit
y-gateway>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SURVIVABILITY_GATEWAY_WXT% | false | true、false | サバイバビリティ モードのサポートを有効にします。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %SURVIVABILITY_FALLBACK_TIME_WXT% | 30 | >=30 | フォールバック時間を指定 (SSE へのサバイバビリティ ゲートウェイ) |

**メモ:** この機能により、オンプレミスからクラウド通話ソリューションへの移行に自信が持てます。

### 6.2.12 複数回線 - 共有回線アピアランス

リリース 42.12 以降、Webex アプリケーションは複数回線のサポートを追加します。 Webex ユーザーはプライマリ回線を持ち、他のユーザーと最大 9 回線を共有できます。

管理者は、共有回線ごとに共有コールアピアランスを設定する必要があります。

Webex クライアントは 12 時間以内に回線設定の更新を検出し、ユーザーにアプリケーションの再起動を要求します。 ユーザーを再ログインすると、回線の更新がすぐに適用されます。

リリース 43.12 以降、Webex アプリが拡張され、共有回線上で保留中の通話を移動 (ローカルで再開) 可能になりました。別のユーザーまたは別のデバイス上の同じユーザーが処理します。 詳細については、*6.2.15 通話を移動*を参照してください。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_MULTI_LINE_WXT% | false | true、false | 複数回線のサポートを有効にします（設定されている場合）。 無効にした場合 (「false」に設定)、設定された最初の回線のみがアプリケーションで使用されます。 |

**注意 1: 機能の Boss-Admin (Executive-Assistant) のサポートは、共有回線との組み合わせでは利用できません。**: The feature Boss-Admin (Executive-Assistant) support is not available in combination with Shared-Lines.

**注 2: 追加の BroadWorks 要件については、『Webex-for-Cisco-BroadWorks-Solution-Guide』の「共有回線アピアランス」を参照してください。**: See 'Shared line appearance' in the Webex-for-Cisco-BroadWorks-Solution-Guide for additional BroadWorks requirements.



シスコ社外秘

### 6.2.13 複数回線 - 仮想回線 (Webex Calling のみ)

Webex Calling 展開のみの場合、Webex アプリは仮想回線を使用した複数回線設定をサポートします。 機能的には、仮想回線を使用する設定は、共有回線を使用する複数回線と一致します。 ユーザーに設定された仮想回線を表示し、着信コールと発信コールに使用できます。 最大 9 個の仮想回線と共有回線を設定できます。

リリース 43.4 では、仮想回線のサポートが拡張され、コール パークとコール パークの取得が追加されます。

リリース 43.12 以降、Webex アプリが強化され、仮想回線上で保留中の通話を移動 (ローカルで再開) し、別のユーザーによって処理されます。 詳細については、*6.2.15 通話を移動*を参照してください。

仮想回線のサポートに関連する設定テンプレートの変更を次に示します。

```
<config>
<protocols>
   <sip>
      <lines multi-line-enabled="%ENABLE_MULTI_LINE_WXT%">
         ...
         <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-1%">
            <external-id>%BWUSEREXTID-1%</external-id>
            ...
         </line>
         <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-2%">
            <external-id>%BWUSEREXTID-2%</external-id>
            ...
         </line>
         ...
         <line lineType="%BW-MEMBERTYPE-10%">
            <external-id>%BWUSEREXTID-10%</external-id>
            ...
         </line>
<protocols>
```

### 6.2.14 リモート ミュートコントロール イベント パッケージ (Webex Calling のみ)

リリース 43.9 以降、Webex アプリは音声メディア ストリームのリモートミュート通話制御のサポートを追加します。 これにより、Webex アプリが通話デバイスである BroadWorks レセプショニスト シン クライアントなどの別の場所から、進行中のコールのミュート/ミュート解除がトリガーされます。

この機能は、新しい SIP x-cisco-mute-status 情報パッケージによって異なります。 通話 SIP INVITE セッションの確立中に Recv-Info:x-cisco-mute-status ヘッダーを受信した場合、音声通話セッションのミュート状態への更新 (ローカルまたはリモート) があるたびに、Webex アプリは Info-Package:x-cisco-mute-status;muted=true (または muted=false) を含む SIP INFO を送信します。ここで、muted パラメータは音声メディア ストリームの更新された状態を表します。 *x-cisco-mute-status* info package. If the *Recv-Info:x-cisco-mute-status* header is received during the call SIP INVITE session establishment, then whenever there is an update (local or remote) to the mute state of the audio call session, the Webex app sends back SIP INFO with the *Info-Package:x-cisco-mute-status;muted=true* (or *muted=false*), where the muted parameter represents the updated state of the audio media stream.



シスコ社外秘

ミュートまたはミュート解除は、ローカルまたはリモートの場所からトリガーできます。 リモート更新は、イベント: SIP NOTIFY をトリガーします。 ミュート (または ミュート解除) をアプリケーション サーバーから Webex アプリに送信します。 Webex アプリはリモートリクエストを尊重し、音声メディア ストリームの状態の更新後、Info-Package:x-cisco-mute-status;muted=true (または muted=false) を含む SIP 通知を送信します。*Event: mute* (or *unmute*) to be sent to the Webex app from the Application Server. The Webex app honors the remote request and after the update of the audio media stream state, sends back a SIP NOTIFY with the *Info-Package:x-cisco-mute-status;muted=true* (or *muted=false*).

```
<config>
<services>
   <calls>
       <remote-mute-control enabled="%ENABLE_REMOTE_MUTE_CONTROL_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_REMOTE_MUTE_CONTROL_WXT% | false | true、false | 「true」に設定すると、リモート ミュート コール制御がユーザに対して有効になります。 |

### 6.2.15 通話を移動

Webex アプリは、別のロケーションで終了した VoIP コールの通話のモニタリングと通話制御を提供します。 これは現在、ユーザーのプライマリ回線でのみ利用できます。

リリース 43.12 以降、Webex アプリが拡張され、共有回線および仮想回線に対して別の場所で終了した通話も表示されます。 このようなコールは、情報目的で進行中のコール領域に表示され、制御するオプションはありません。 このような通話が保留になっている場合のみ、ユーザはローカル デバイスに移動し、通話画面から再開できます。 このメカニズムは、コールが別のロケーションの同じユーザによって処理された場合や、同じ回線を使用する別のユーザによって処理された場合に便利です。 for information purposes and without the option to control them. Only if such a call is placed on hold, user will be able to move it to the local device by selecting it and resume it from the call screen. This mechanism is useful if the call was handled by the same user on another location or by another user using the same line.

保留中の通話をペアリングしたデバイスに移動することはできません。 ユーザーがデバイスとペアリングされている場合、最初に接続を切断し、保留中の通話をローカルで再開する必要があります。

共有回線と仮想回線の通話モニタリングは、SIP コール情報イベント パッケージによって異なります。

ユーザーのプライマリ回線のコールのモニタリングは、XSI イベント（アドバンストコール イベント パッケージ）によって異なり、これらのコールではローカル デバイスにコールを移動することはできません。 このタイプの通話では、ユーザーはコール プル (*6.1.22 コール プル*) 機能を使用できます。 コール プルは、ユーザーの最後のアクティブ コールに対してのみ機能し、共有回線と仮想回線のメカニズムは、保留中のユーザーのすべてのコールに対して機能します。



シスコ社外秘

1. 使用事例 1:
    a. Alice には、デスクトップと卓上電話のプロファイルに Bob の回線が割り当てられています。
    b. Alice は、デスクフォンからチャーリーと通話しています。Alice は、デスクトップ アプリで進行中の通話を確認できます。
    c. Alice はデスクフォンのフォームでコールを保留にします。Alice はデスクトップアプリからコールを再開できます。
2. 使用事例 2:
    a. Alice には、デスクトップと卓上電話のプロファイルに Bob の回線が割り当てられています。
    b. ボブはチャーリーと通話しています。アリスはデスクトップアプリで進行中の通話を確認できます。
    c. ボブはチャーリーとの通話を保留にします。アリスは、デスクトップアプリからチャーリーとの通話を再開できます。
3. 使用事例 3:
    a. Alice には、デスクトップと卓上電話のプロファイルに Bob の回線が割り当てられています。
    b. Alice は、デスクトップ アプリから卓上電話とペアリングされています。
    c. ボブはチャーリーと通話しています。アリスはデスクトップアプリで進行中の通話を確認できます。
    d. Bob はチャーリーとの通話を保留にします。Alice はデスクトップアプリからチャーリーとの通話を再開できません。
    e. Alice はデスクフォンからデスクトップ アプリを切断します。Alice はデスクトップ アプリから Charlie との通話を再開できます。

```
<config>
<services><calls>
    <call-move>
        <move-here enabled="%ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT% | false | true、false | ローカル デバイスで通話の移動を有効にします。複数回線の使用事例におけるロケーション/ユーザー間の保留/再開に使用されます。 |



シスコ社外秘

## 6.3 モバイルのみの機能

### 6.3.1 緊急コール

Cisco BroadWorks 版 Webex は、ネイティブの緊急コールをサポートしています。

この機能が有効な場合、発信 VoIP コールを開始するときに、アプリケーションはダイヤル番号を分析し、設定されている緊急番号のリストと比較します。 番号が緊急番号として識別されている場合、アプリケーションは設定されたダイヤル動作を実行します。 ダイヤルシーケンスタグを使用して設定できます。is configurable using the *dial-sequence* tag.

サポートされるモードは次のとおりです。

- *cs-only – ネットワークが利用可能な場合、クライアントはセルラーネットワークを介してのみ緊急通話を発信します。* – The client places emergency calls only through the cellular network if the network is available.
- *cs-first – 緊急通話を開始すると、クライアントは現在のデバイスが接続されているネットワーク タイプをチェックします。* – Upon initiating an emergency call, the client checks the network type to which the current device is connected. セルラー ネットワークが使用可能な場合、クライアントはセルラー ネットワーク経由でコールを発信します。 セルラー ネットワークが利用できないが、セルラー データ/WiFi ネットワークが使用可能な場合、クライアントはセルラー データ/WiFi ネットワーク経由でコールを VoIP コールとして発信します。 また、緊急コールがセルラー ネットワーク経由で発信された場合、クライアントは緊急コールを VoIP として再試行することをユーザーに提案します。
- *VoIP のみ – セルラー データ/WiFi ネットワークが利用可能な場合、クライアントは VoIP としてのみ緊急通話を発信します。* – The client places emergency calls only as VoIP if the cellular data/WiFi network is available.
- *cs-voip - デバイスがネイティブの回線切り替え (CS) 通話として起動できるかどうか (CS ネットワークが使用可能かどうかは考慮されません) をクライアントが分析します。 デバイスがネイティブ コールを開始できる場合、緊急番号は緊急 CS コールとしてダイヤルされます。 それ以外の場合、コールは VoIP としてダイヤルされます。* – The client analyzes if the device can initiate it as native circuit-switched (CS) call (without taking into account if the CS network is available or not). If the device can start a native call, the emergency number is dialed as an emergency CS call. Otherwise, the call is dialed as VoIP.

> **メモ:** VOIP 通話が無効になっている場合、緊急ダイヤル シーケンス (%EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT%) の唯一の意味のある値は cs のみです。



シスコ社外秘

サインイン時にユーザに緊急コールの免責事項メッセージが表示されます。 設定オプションでは制御されません。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_EMERGENCY_DIALING_WXT% | false | true、false | 緊急コールの検出を有効にするには、「true」に設定します。<br>デフォルト値は空です。 |
| %EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT% | CS のみ | cs-only、cs-first、voip-only、cs-voip | 緊急コールのダイヤル シーケンス モードを制御します。 |
| %EMERGENCY_DIALING_NUMBERS_WXT% | 「911、112」 | CSV リスト | 緊急番号の CSV リスト。<br>例: 911112 |

### 6.3.2 コールのプッシュ通知

着信コールを受信すると、モバイル クライアントは最初にプッシュ通知（PN）を受信します。 SIP REGISTER セッションの確立時期を制御するために使用できる設定パラメータがあります。

1. プッシュ通知を受信したとき、または
2. コールがユーザによって承認されたとき。

2 つ目のアプローチが推奨されます。 ただし、最初のケースと比較して、コールが確立される前に多少の遅延が生じます。

iOS 13 の要件に従って、VoIP PN は着信コールにのみ使用する必要があります。 その他のコール関連イベントでは、通常の PN を使用する必要があります。

この要件を満たすために、新しい PN 登録 API が導入され、対応するパッチがアプリケーション サーバに適用される必要があります。 バックエンドが iOS 13 PN をサポートするように設定されていない場合、設定パラメータを使用して、すべてのコール関連イベントが VoIP PN を介して配信されるレガシープッシュ通知の使用を強制できます。

呼び出し中のコールが別のロケーションの呼び出し先によって受け入れられ、発信者が閉じた場合、またはボイスメールにリダイレクトされたときに、アプリケーション サーバ（AS）によって送信されるプッシュ通知があります。 iOS 13 では、このタイプのプッシュ通知は通常のものになり、いくつかの制限があります。 Apple Push Notification Service (APNS) によって遅延されるか、まったく配信されない場合があります。 Call Update PN の欠落または遅延を処理するには、設定可能な呼び出しタイムアウトが追加され、最大呼び出し時間を制御します。 最大呼び出し時間に達すると、呼び出し先に対して呼び出し音が停止され、コールは不在として扱われます。 発信者側では、アプリケーション サーバ（AS）で設定された応答なしポリシーが実行されるまで、コールは呼び出し状態のままになります。



シスコ社外秘

アプリケーションの動作を一貫して維持するために、設定可能な呼び出し音タイマーは Android と iOS の両方に適用されます。

プッシュ通知として着信コールを受信したときの着信拒否動作を指定するために、別の設定オプションが追加されます。 クライアントは、コールを無視するか、Xsi を通じてサーバに応答するように設定できます。拒否が「true」または「false」に設定されている場合、割り当てられた Cisco BroadWorks コール処理サービスが適用されます。 「decline_false」が設定されている場合、発信者が放棄するか、応答なしタイマーが期限切れになり、関連付けられたコール処理サービスが開始されるまで、コールは呼び出し音を続行します。 「decline_true」が設定されている場合、拒否の理由は、コール処理を指定します。 拒否の理由が「取り込み中」に設定されている場合、サーバはすぐに取り込み処理サービスを強制します。 「temp_unavailable」が設定されている場合、一時的に利用できない処理サービスが適用されます。

```
<config>
<services>
    <push-notifications-for-calls enabled="true"
    connect-sip-on-accept="%PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT%"
    ring-timeout-seconds="%PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT%"/>
    <calls>
        <reject-with-xsi mode="%REJECT_WITH_XSI_MODE_WXT%"
        declineReason="%REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT% | false | true、false | SIP REGSITER セッションが確立されたとき、または着信通話のプッシュ通知を受信したとき、または着信を受け入れるタイミングを制御します。 |
| %PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT% | 35 | [0-180] | PN 経由で受信したコールの最大着信呼び出し時間を制御します。 指定された期間内に CallUpd PN を受信しなかった場合、コールは不在として扱われます。 |
| %REJECT_WITH_XSI_MODE_WXT% | 拒否_false | 無視, decline_true, decline_false | 着信拒否動作を指定します。 |
| %REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_WXT% | 取り込み中 | ビジー、temp_unavailable | 拒否モードが「decline_true」に設定されている場合の着信拒否理由を指定します。 |

#### 6.3.2.1 ムウィー

MWI 機能を有効にすると、モバイル Webex クライアントは MWI プッシュ通知をサブスクライブして、ユーザーのボイスメールによる更新を受信して通知します。

通知の数を減らし、不要な邪魔を避けるために、MWI プッシュ通知が抑制される場合があります。 たとえば、ユーザーがボイスメール メッセージを聞いているとき、またはモバイル Webex クライアント内で既読としてマークしている場合 (未読の数は減少しています)。 これを制御するための設定可能なオプションはありません。



シスコ社外秘

MWI の詳細については、セクション *6.1.27 ボイスメール、ビジュアルボイスメール、メッセージ待機インジケータ, Visual Voicemail, Message* Waiting Indicator を参照してください。

#### 6.3.2.2 リング スプラッシュ

BroadWorks サービス (DND など) は、着信がリダイレクトされたときに着信リマインダを送信できます。 Webex モバイル クライアントは、リング スプラッシュ プッシュ通知を有効にし、BroadWorks によってトリガーされたときにユーザーに提示するように設定できます。

```
config>
<services>
<ring-splash enabled="%ENABLE_RING_SPLASH_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_RING_SPLASH_WXT% | false | true、falserue, false | BroadWorks 設定でリング スプラッシュを有効にします。roadWorks config. |

### 6.3.3 単一アラート

モバイル シングル アラート機能は、BroadWorks モビリティ サービスを活用した固定モバイル コンバージェンス (FMC)/モバイル ネットワーク オペレーター (MNO) の展開を対象としています。 これなしでは、Webex クライアントにログインして着信コールを受信すると、ユーザーは同時に 2 つのコール (ネイティブ 1 つとプッシュ通知 (VoIP) コールを受信します。 この機能が有効な場合、アプリケーションはログイン時にユーザーの BroadWorks モビリティ ロケーションのモビリティ アラートを無効にし、ログアウト時にアラートを有効にします。 この機能を使用するための重要な前提条件は、ユーザーが BroadWorks モビリティ サービスを割り当てて、1 つのロケーションを正確に設定することです。

```
<config>
<services><calls>
<single-alerting enabled="%ENABLE_SINGLE_ALERTING_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_SINGLE_ALERTING_WXT% | false | true、false | 単一のアラートを有効にするには、「true」に設定します。 |



シスコ社外秘

### 6.3.4 クリックしてダイヤル (コールバック))

アウトバウンドクリックダイヤルにより、エンド ユーザがパーソナル回線切り替え携帯電話でコールを発信し、発信回線 ID としてビジネス DN を配信できます。

モバイル Webex クライアントは、BroadWorks Anywhere サービスを使用したクリックツーダイヤル（コールバック）コールをサポートします。 Webex アプリケーションの BroadWorks Anywhere のロケーションは単一番号リーチ (SNR) ロケーションと呼ばれます。

この機能を有効にすると、ユーザはデバイス ペアリング メニューから SNR ロケーションを選択できます。 SNR ロケーションとペアリングすると、クリックツーダイヤル（コールバック）コールを使用してすべての発信コールが開始されます。 二重アラートを避けるため、着信コールのプッシュ通知が無効になります。

ユーザーがクリック通話を開始すると、選択した SNR ロケーションで着信通話を期待するための情報を含む発信通話画面が表示されます。 この画面は、設定可能なタイマーに基づいて自動的に閉じられます。

SNR ロケーションから切断すると、アプリケーションは着信通話のプッシュ通知に再び登録されます。

```
<config>
<services>
  <dialing>
    <call-back enabled="%ENABLE_DIALING_CALL_BACK_WXT%"
timer="%DIALING_CALL_BACK_TIMER_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_DIALING_CALL_BACK_WXT% | false | true、false | クリックしてダイヤル (コールバック) コールを有効にするには、「true」に設定します。 |
| %DIALING_CALL_BACK_TIMER_WXT% | 10 | [3-20] | コールバック画面が自動的に閉じられるまでの秒数を制御します。 |

### 6.3.5 MNO サポート

#### 6.3.5.1 ネイティブ ダイヤラーとの通話

この機能により、BroadWorks モビリティ (BWM) サービスを活用したモバイル ネットワーク オペレーター (MNO) 展開のサポートが追加されます。 ユーザに BroadWorks モビリティ サービスが割り当てられ、少なくとも 1 つのロケーションが設定されていることが想定されます。



シスコ社外秘

ネイティブ ダイヤラーを通じて通話を開始するユーザーの能力は、ネイティブ設定タグによって制御されます。 有効にすると、アプリケーションはネイティブ ダイヤラーを起動して発信します。 さらに、VoIP 通話の可用性は、VoIP タグによって制御されます。これは、VoIP 通話が有効または無効になる可能性がある展開要件に基づきます。**native** configuration tag. If enabled, the application will launch the native dialer and make the call. Furthermore, the availability of VoIP calling is controlled by the **voip** tag – based on the deployment requirements VoIP calls may be enabled or disabled.

VoIP とネイティブ通話が有効になっている場合、ユーザーは使用するオプションを選択できます。

<dialing-mode> タグは、ユーザーが着信および発信コールの開始/受信方法を選択できるかどうかを制御します。 ネイティブ通話と VoIP 通話の両方を有効にする必要があります。

リリース 43.12 以降、ネイティブのダイヤル設定が拡張され、カスタム プレフィックスが発信コール番号に事前保留される機能を提供します。 これは、ダイヤルされた番号が FAC コードで始まっている場合にのみ、Webex アプリから開始されたセルラー通話に適用されます。 12, native dialing configuration is extended, providing the ability a custom prefix to be pre-pended to the outgoing call number. This applies to the cellular calls initiated from the Webex app, only if the number dialed starts with a FAC code.

この機能は、統合型 Cisco BroadWorks アプリケーション サーバにリダイレクトされる代わりに、FAC コードが Telecom バックエンドで処理される場合に、MNO 展開を使用する顧客にとって役立ちます。 新しい <fac-prefix> タグがセクション <dialing><native> に追加され、テレコムはこのタグを使用してこの問題を解決できます。

```
<config>
<services>
  <dialing>
    <voip enabled="%ENABLE_DIALING_VOIP_WXT%"/>
    <native enabled="%ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT%" enable-bwks-mobility-
dependency="%DIALING_NATIVE_ENABLE_BWKS_MOBILITY_DEPENDENCY_WXT%">
      <fac-prefix value="%DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT%"/>
    </native>
    <dialing-mode enabled="%ENABLE_DIALING_MODE_WXT%" default="%DIALING_MODE_DEFAULT_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_DIALING_VOIP_WXT% | true | true、false | VoIP 通話オプションを有効にするには、「true」に設定します。 |
| %ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT% | false | true、false | ネイティブ通話オプションを有効にするには、「true」に設定します。 |
| %ENABLE_DIALING_MODE_WXT% | false | true、false | [基本設定（Preferences）] の [通話設定（Call Settings）] で、ユーザの通話モードの選択を有効にします。 |
| %DIALING_MODE_DEFAULT_WXT% | VoIP | VoIP、ネイティブ | 選択されたデフォルトの通話モードを指定します。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %DIALING_NATIVE_ENABLE_BWKS_MOBILITY_DEPENDENCY_WXT% | false | true、false | ネイティブ コールの可用性は、BroadWorks モビリティ サービスの割り当てとユーザに対して設定されているモビリティ ロケーションに依存するかどうかを制御します。 |
| %DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT% | 空 | 文字列 | FAC コードで始まる番号への発信コールがセルラー コールとして開始される場合、付加する必要があるプレフィックスを指定します。<br>デフォルトでは、FAC プレフィックスは定義されておらず、タグは空です。 |

**注意 1: 少なくとも 1 つの VoIP と ネイティブ通話を有効にする必要があります。**: At least one of the **voip** and **native** calling should be enabled.

**注 2: MNO 展開でネイティブ通話だけが有効になっている場合、クライアントが BWM アラートを無効にしないように、単一アラートを無効にすることを推奨します。**: If just the **native** calling is enabled, in MNO deployments, it is recommended to disable the single-alerting to prevent the client from disabling the BWM alerting.

**注意 3: MNO 展開でネイティブ通話と VoIP 通話の両方が有効になっている場合は、ダブルアラートを防ぐために、シングルアラートを有効にすることをお勧めします。**: If both **native** and **voip** callings are enabled, in MNO deployments, it is recommended to enable the single-alerting to prevent double alerting.

#### 6.3.5.2 通話中コントロール

この機能により、モバイル Webex クライアントは、Cisco BroadWorks にアンカーされているモバイル デバイス上の XSI ネイティブ コールを介して制御できます。 XSI 通話コントロールは、次の場合にのみ使用できます。

- BroadWorks Mobility (BWM) サービスがユーザーに割り当てられています。 ,
- BMW モバイル ID は 1 つだけ設定されています。 ,
- ユーザーがネイティブ通話モードを選択しています (詳細については、*6.3.5.1 ネイティブ ダイヤラーとの通話を参照してください)*。
- BroadWorks でアンカーされた通話があり、BMW サービスを通じて、 ,
- モバイル デバイスで進行中のセルラー コールがあります。



シスコ社外秘

リリース 43.10 では、コンサルティング転送の処理が改善され、Webex アプリに表示される 2 つのセルラー コール間の関連付けが作成され、ユーザーが転送を完了するオプションが提供されます。 また、ユーザが同じデバイスに 2 つの独立したセルラー コールがある場合、転送メニューが拡張され、関連付けが作成されていない場合でも、互いに転送できるようになります。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_XSI_CALL_CONTROL_WXT% | false | true、false | MNO 環境の XSI コール制御を有効にします。 |
| %XSI_CALL_CONTROL_DEPLOYMENT_TYPE_WXT% | MNO アクセス | MNO_Access、MNO_ネットワーク | アプリケーションで使用される XSI MNO 展開タイプを制御します。 次のいずれかの値になります。<br>▪ MNO_Access:以下のノードで定義されているデバイス タイプを持つすべてのリモート（XSI）コールを表示します。<br>▪ MNO_Network - すべてのリモート（XSI）コールを表示します。 |
| %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_1_WXT%, %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_2_WXT%, %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_3_WXT% | “” | 文字列 | MNO_Access 導入タイプで使用するデバイス タイプ名。 |
| %ENABLE_XSI_HOLD_CALLS_WXT% | true | true、false | XSI モバイル コールのユーザがコール保留アクションを利用できるかどうかを制御します。 |

#### 6.3.5.3 発信通話回線 ID (CLID) – デュアル ペルソナ

モバイル リリース 42.12 では、Webex アプリを使用すると、ユーザーは発信コールを開始するときにリモートパーティに提示された通話回線 ID (CLID) を選択できます。

ユーザが Cisco BroadWorks Mobility、モバイルネットワークオペレーター（MNO）展開の典型的な設定で構成されており、ネイティブ通話が有効になっている場合、ユーザは、通話しているユーザに表示される ID を選択できます。 ユーザーはビジネスまたはパーソナル ID を選択できます。 また、自分の ID を非表示にし、匿名として提示する通話を非表示にするオプションもあります。

VoIP 通話では、ユーザーにも CLID をコントロールするオプションがあります。 この場合、使用可能なオプションは、ID を非表示にするかどうかを制御するだけです。

ペルソナ管理と CLID ブロックは、個別の構成オプションによって制御されます。

```
<config>
```



シスコ社外秘

```
<services>
<dialing>
   <calling-line-id-delivery-blocking
enabled="%ENABLE_CLID_DELIVERY_BLOCKING_WXT%"/>
   <mobility-persona-management
enabled="%ENABLE_MOBILITY_PERSONA_MANAGEMENT_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CLID_DELIVERY_BLOCKING_WXT% | false | true、false | 発信回線 ID の配信ブロックを有効にします。 これは、ユーザのすべての発信タイプに適用されます。 |
| %ENABLE_MOBILITY_PERSONA_MANAGEMENT_WXT% | false | true、false | 展開タイプが MNO_Access または MNO_Network として設定されている場合、ネイティブ コールのパーソナル管理を有効にします。 (BroadWorks モビリティはネイティブ コールに使用され、すべてのネイティブ コールは BroadWorks でアンカーされます) |

#### 6.3.5.4 ネイティブ コールの通知

MNO で展開されているユーザーの場合、この機能は、ネイティブ コールの通知バナーを追加し、Webex アプリで制御できます。この通知は、コールが確立されたときにアプリケーション サーバーから送信されるプッシュ通知に依存します。

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_PN_MOBILE_CALL_INFO_WXT% | true | true、falserue, false | MOBILE_CALL_INFO プッシュ通知のサブスクリプションを有効にします。 |

#### 6.3.5.5 ネイティブ通話を集約ミーティングに移動

MNO で展開されたユーザーの場合、この機能により、ネイティブの音声コールを 1 対 1 通話の両方の参加者のミーティングにエスカレーションできます (相手が Webex ユーザーでない場合でも)。 リモートユーザーが Webex ユーザーである場合、ミーティングに参加すると、当事者は次の機能を持ちます。

- ミーティング チャットで Webex を開始する
- ビデオの追加 (音声はネイティブ通話で続行されます)
- 画面/コンテンツを共有
- ミーティングの録画をトリガー



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | false | true、false | パワーアップ（招待とミーティング、ビデオミーティングのアクション）を有効にします。 |

#### 6.3.5.6 MNO モビリティ - 通話中のウィジェット

Android Webex アプリ (モバイルおよびタブレット) のリリース 43.7 では、新しい通話制御ウィジェット (バブル) が正式に導入され、モビリティ サービスを使用して Cisco BroadWorks にアンカーされるネイティブ コールに対して追加の通話制御を提供します。 ウィジェットはネイティブ UI の上に表示され、ユーザーには次のアクションが許可されます。

- 保留/再開
- ブラインド/コンサルタティブ転送 - Webex アプリの転送ダイアログにユーザーを配置します。
- [完全転送（Complete Transfer）]:コンサルティング転送を完了するオプションを提供します（リリース 43.10）
- ビデオ ミーティング - 参加者を Webex ミーティングに移動します。.
- 通話を終了

```
<config>
<services><calls>
       <hold xsi-enabled="%ENABLE_XSI_HOLD_CALLS_WXT%" widget-
enabled="%ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT%"/>
       <transfer-call enabled="%ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT%" xsi-
enabled="%ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT%" widget-
enabled="%ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT%" type="%TRANSFER_CALL_TYPE_WXT%"/>
       <escalate-to-webex-meeting
enabled="%ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%" widget-
enabled="%ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT% | true | true、false | 通話ウィジェットの 保留 アクションの可用性を制御します。 |
| %ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT% | true | true、false | 通話ウィジェットで 転送と転送完了 アクションの可用性を制御します。 |
| %ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALA | true | true、false | 通話ウィジェットで ビデオ ミーティング アクションの可用性を制御します。 |



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| TE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | | | |

### 6.3.6 着信発信者 ID

リリース 44.2 では、名前と番号に基づいてユーザに表示される連絡先情報を制御する機能が追加されています。 着信通話画面と着信通知でユーザに表示される情報、不在着信通知を制御するための 2 つの設定オプションが追加されています。

#### 6.3.6.1 着信通話画面

Android と iOS は、着信通話画面にデータを表示する場合に、プラットフォームの違いがあります。 着信通話の情報を表示するネイティブエクスペリエンスは次のとおりです。

- Android - 着信通話画面には 2 つの別々のフィールドがあり、名前と番号の両方が表示されます
- iOS - 名前または番号を表示するフィールドは 1 つだけです。両方が利用可能な場合、名前が優先されます。

着信通話の新しい構成オプションを使用して、iOS Webex アプリが名前の隣のコール画面に番号が表示されていることを確認できます (形式: *名前 (番号)*)。 Android Webex アプリの動作には影響しません。

#### 6.3.6.2 着信通話通知

場合によっては、着信通話が通知としてユーザーに提示されます。 スペースが制限されているため、番号は常に表示されません。

着信通話の新しい設定オプションは、着信通話通知に表示される情報も制御します。 有効にして名前と番号の両方が利用可能な場合、Webex アプリは名前の隣に番号を追加します (形式: *名前 (番号)*)。 これは Webex アプリの動作が Android と iOS の両方に適用されます。

#### 6.3.6.3 不在着信通知

不在着信通知には、追加の設定パラメータが追加されています。 着信コール通知と同様に、リモート側の情報を制御するために使用できます。これにより、リモートユーザの表示名に番号を追加し、不在着信通知に表示できます。 これは Webex アプリの動作が Android と iOS の両方に適用されます。

```
<config>
<services><calls>
   <caller-id>
      <incoming-calls>
         <append-number
enabled="%ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT%"/>
```



シスコ社外秘

```
      </incoming-calls>
      <missed-calls>
         <append-number
enabled="%ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT%"/>
      </missed-calls>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% | false | true、false | 着信通話画面 (iOS のみ) および通知の名前に番号を追加するかどうかを制御します。. |
| %ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% | false | true、false | 不在着信通知の名前に番号を追加するかどうかを制御します。 |

**メモ:** 番号が表示名として配信される場合、または表示名が番号で終わる場合、Webex アプリは重複を避けるため、番号は 1 回だけ表示されます。

# 7 早期フィールド トライアル (ベータ) の機能

## 7.1 AI コーデック

リリース 44.7 以降、Webex アプリは新しい音声コーデック AI コーデック (xCodec) のサポートを導入します。 この音声コーデックは、悪質なネットワーク条件で使用され、通話品質が向上します。 Webex アプリの Webex Media Engine は、デバイスの機能を確認し、メディア品質を追跡し、構成ファイルでサポートされ、有効になっている場合は AI コーデックを使用できます。

AI コーデックは Opus コーデックと組み合わせてのみ動作します。 これは、Opus と AI コーデックの両方が SDP ネゴシエーション中に両側によってアドバタイズおよびネゴシエートされる必要があることを意味します。

```
<config>
<services><calls>
  <audio>
    <codecs>
      <codec name="opus" priority="1" payload=""/>
      <codec name="xCodec" mode="HP" priority=".99" payload=""/>
      <codec name="xCodec" mode="ULP" priority=".98" payload=""/>
      <codec name="G722" priority=".9" payload=""/>
      <codec name="PCMU" priority=".8" payload=""/>
      <codec name="PCMA" priority=".7" payload=""/>
      <codec name="G729" priority=".5" payload="" vad=""/>
      <codec name="iLBC" priority=".4" payload="" framelength="30"/>
      <codec name="telephone-event" payload="101" in-band="false"/>
```

**メモ:** この機能を試すには、ベータ版チームに連絡し、機能を有効化してください。 ベータ チームが許可するまで、AI コーデックはアドバタイズされて使用されません。

## 7.2 パーソナル アシスタント (退席中)

リリース 44.10 では、モバイル Webex アプリは Cisco BroadWorks パーソナル アシスタント (PA) サービスとのインテグレーションを追加します。 ユーザーの退席中のプレゼンスと組み合わせて動作し、Webex Cloud プレゼンスと PA ステータスの同期が必要です。

PA サービスは、着信側が利用できない理由を発信者に通知するオプションを提供し、オプションで、着信側がいつ戻るか、およびコールを処理するアテンダントがあるかどうかを通知します。

PA が有効になっている場合、ユーザは [退席中（Away）] プレゼンス オプションを利用できます。 Cisco BroadWorks 側で PA を設定するために使用できます。 この機能がアクティブになると、ユーザは PA ステータスと設定された期間と組み合わせてユーザの退席プレゼンスを表示します。

ユーザは、手動の PA 設定のみを設定できます。 PA サービスに影響を与えるスケジュールがある場合、Personal Assistant ステータス同期を通じてプレゼンスが更新されます。 ただし、Webex アプリでは、スケジュール設定と PA に影響を与えるスケジュールは公開されません。



シスコ社外秘

```
<config>
<services>
<personal-assistant enabled="%PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT%"/>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT% | false | true、false | ユーザが [退席中（Away）] プレゼンス機能を利用できるかどうかを制御します。 |

**注意 1: この機能を使用するには、Partner Hub からパーソナル アシスタント ステータス同期を有効にする必要があります。**: This feature requires the Personal Assistant Status Sync to be enabled from the Partner Hub.

**注 2: この機能は、デスクトップ バージョンの Webex アプリではまだ利用できません。それでも、追加の Personal Assistant の詳細情報なしで、[退席中] プレゼンスが正しく表示されます。**: The feature is not yet available for the Desktop versions of the Webex app. Still, the Away presence will be correctly displayed without the additional Personal Assistant details.

**注意 3:**: DND、常時着信転送、または選択着信転送サービスがアクティブな間は、標準のパーソナル アシスタントコール ルーティングは有効になりません。

**注意 4:** 手動の [応答不可（Do Not Disturb）] および [話中（Busy）] 状態は、[退席中（Away）] よりも優先されます。 ユーザがこれらのプレゼンス ステータスのいずれかを手動でアクティベートしても、パーソナル アシスタントを有効にすると、プレゼンス ステータスが [退席中] に変わることはありません。

## 7.3 コール プッシュ通知の配信モード (Webex Calling のみ)

Webex アプリは Notification Push Server (NPS) を使用して、APNS/FCM にコールのプッシュ通知を配信します。 リリース 44.10 以降、Webex アプリは、コール関連のプッシュ通知を APNS/FCM に配信する方法を設定するために、3 つの異なる配信モードをサポートするようになりました。

- nps - NPS を使用した現在のメカニズム
- クラウド - Cisco Webex Cloud マイクロサービスを使用した強化されたメカニズム
- 外部 - サードパーティシステムを使用するメカニズム。 サードパーティシステムと Cisco WebHooks エンジンの統合が必要です

```
<config>
<services><calls>
<push-notifications-for-calls enabled="true"
      connect-sip-on-accept="%PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT%"
      ring-timeout-seconds="%PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT%"
      delivery-mode="%PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT%">
```



シスコ社外秘

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT% | NPS | nps、クラウド、外部 | コールのプッシュ通知の配信モードを指定します。 |

## 7.4 モバイル向けマルチライン（Webex Calling のみ）

Webex Calling 展開のみでは、リリース 44.11 では、Webex アプリのモバイル バージョンで複数の回線 (共有および仮想) のサポートが追加されました。デスクトップおよびモバイル Webex アプリでユーザーに複数の回線を指定できるようになりました。ユーザーはプライマリ回線と最大 9 つのセカンダリ回線を持つことができます。
モバイル プラットフォームの仕様により、ユーザーは任意の回線で最大 2 つの同時通話を行うことができます。

```
<config>
<protocols>
   <sip>
      <lines multi-line-enabled="%ENABLE_MULTI_LINE_WXT%">
         ...
<protocols>
```

| タグ | 省略した場合のデフォルト | サポートされる値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| %ENABLE_MULTI_LINE_WXT% | false | true、false | 複数回線のサポートを有効にします（設定されている場合）。 無効にした場合 (「false」に設定)、設定された最初の回線のみがアプリケーションで使用されます。 |

**注意 1: 通話モードが有効になっている場合 (**: If Calling mode is enabled (see *6.3.5.1 ネイティブ ダイヤラーとの通話*を参照)、複数回線が無効になります。

**注 2: タブレットバージョンのマルチラインはサポートされていません。**: Multi-line for Tablet version is not supported.



シスコ社外秘

# 8 Cisco BroadWorks 版 Webex と UC-One 間のカスタム タグ マッピング and UC-One

次の表に、UC-One のレガシー カスタム タグと一致する Cisco BroadWorks 版 Webex のカスタム タグを示します。

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT% | %ENABLE_REJECT_WITH_486_DESKTOP% | %ENABLE_REJECT_WITH_486_MOBILE% |
| %REJECT_WITH_XSI_MODE_WXT% | 適用なし | %REJECT_WITH_XSI_MODE_MOBILE% |
| %REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_WXT% | 適用なし | %REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_MOBILE% |
| %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% | %ENABLE_TRANSFER_CALLS% | %ENABLE_TRANSFER_CALLS_MOBILE% |
| %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT% | 適用なし | %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_MOBILE% |
| %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT% | %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_DESKTOP% | 適用なし |
| %MAX_CONF_PARTIES_WXT% | %MAX_CONF_PARTIES% | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_PULL_WXT% | %ENABLE_CALL_PULL_DESKTOP% | %ENABLE_CALL_PULL_MOBILE% |
| %PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT% | 適用なし | %PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_MOBILE% |
| %ENABLE_MWI_WXT% | %DESKTOP_MWI_ENABLE% | %ENABLE_MWI_MOBILE% |
| %ENABLE_MWI_WXT% | %DESKTOP_MWI_ENABLE% | %ENABLE_MWI_MOBILE% |
| %MWI_MODE_WXT% | %DESKTOP_MWI_MODE% | %MWI_MODE_MOBILE% |
| %ENABLE_VOICE_MAIL_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT% | %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL% | 適用なし |
| %ENABLE_FORCED_LOGOUT_WXT% | %ENABLE_FORCED_LOGOUT% | 適用なし |
| %FORCED_LOGOUT_APPID_WXT% | %FORCED_LOGOUT_APPID% | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT% | 適用なし | 適用なし |



シスコ社外秘

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %ENBLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_EMERGENCY_DIALING_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %EMERGENCY_DIALING_NUMBERS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_USE_RPORT_WXT% | %USE_RPORT_IP% | %ENABLE_USE_RPORT_MOBILE% |
| %RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT% | 適用なし | %RPORT_USE_LOCAL_PORT_MOBILE% |
| %USE_TLS_WXT% | %USE_TLS% | 適用なし |
| %SBC_ADDRESS_WXT% | %SBC_ADDRESS% | %SBC_ADDRESS% |
| %SBC_PORT_WXT% | %SBC_PORT% | %SBC_PORT% |
| %USE_PROXY_DISCOVERY_WXT% | %USE_PROXY_DISCOVERY% | %USE_PROXY_DISCOVERY_MOBILE% |
| %USE_TCP_FROM_DNS_WXT% | %USE_TCP_FROM_DNS% | 適用なし |
| %USE_UDP_FROM_DNS_WXT% | %USE_UDP_FROM_DNS% | 適用なし |



シスコ社外秘

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %USE_TLS_FROM_DNS_WXT% | %USE_TLS_FROM_DNS% | 適用なし |
| %DOMAIN_OVERRIDE_WXT% | %DOMAIN_OVERRIDE% | %DOMAIN_OVERRIDE% |
| %SOURCE_PORT_WXT% | %SOURCE_PORT% | %SOURCE_PORT% |
| %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT% | %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES% | 適用なし |
| %TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT% | %TCP_SIZE_THRESHOLD% | 適用なし |
| %SIP_REFRESH_ON_TTL_WXT% | %SIP_REFRESH_ON_TTL% | 適用なし |
| %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT% | %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_DESKTOP% | %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_MOBILE% |
| %ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT% | %ENABLE_PEM_SUPPORT_DESKTOP% | 適用なし |
| %ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %SRTP_ENABLED_WXT% | %use_srtp% | %srtp_enabled_mobile% |
| %SRTP_MODE_WXT% | %srtp_preference% | %srtp_mode_mobile% |
| %ENABLE_REKEYING_WXT% | %enable_re_keying_desktop% | %enable_re-keying_mobile% |
| %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT% | %rtp_audio_port_range_start% | %rtp_audio_port_range_start% |
| %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT% | %rtp_audio_port_range_end% | %rtp_audio_port_range_end% |
| %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT% | %rtp_video_port_range_start% | %rtp_video_port_range_start% |
| %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT% | %rtp_video_port_range_end% | %rtp_video_port_range_end% |
| %ENABLE_RTCP_MUX_WXT% | %enable_rtcp_mux% | %enable_rtcp_mux% |
| %ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT% | %enable_xsi_event_channel% | 適用なし |
| %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT% | %channel_heartbeat% | %CHANNEL_HEARTBEAT_MOBILE% |
| %XSI_ROOT_WXT% | %xsi_root% | %xsi_root% |
| %XSI_ACTIONS_PATH_WXT% | 適用なし | %xsi_actions_path_mobile% |
| %XSI_EVENTS_PATH_WXT% | 適用なし | %xsi_events_path_mobile% |
| %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT% | 適用なし | %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_MOBILE% |



シスコ社外秘

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT% | 適用なし | %EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_MOBILE% |
| %ENABLE_CALL_PICKUP_BLIND_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_PICKUP_DIRECTED_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_URL% |
| %USE_MEDIASEC_WXT% | %USE_MEDIASEC_MOBILE% | %USE_MEDIASEC_DESKTOP% |
| %ENABLE_CALL_CENTER_WXT% | %ENABLE_CALL_CENTER_DESKTOP%" | 適用なし |
| %WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE% |



シスコ社外秘

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_STANDARD_SETTINGS_CC_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE% |
| %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT% | 適用なし | %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE% |
| %ENABLE_DIALING_CALL_BACK_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %DIALING_CALL_BACK_TIMER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_EXECUTIVE_ASSISTANT_WXT% | %ENABLE_EXECUTIVE_ASSISTANT_DESKTOP% | 適用なし |
| %PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT% | 適用なし | %PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_MOBILE% |
| %ENABLE_CALL_RECORDING_WXT% | %ENABLE_CALL_RECORDING_DESKTOP% | %CALL_RECORDING_MOBILE% |
| %ENABLE_SINGLE_ALERTING_WXT% | 適用なし | %ENABLE_SINGLE_ALERTING% |
| %ENABLE_CALL_PARK_WXT% | %ENABLE_CALL_PARK_DESKTOP% | 適用なし |
| %CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_RTP_ICE_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %RTP_ICE_MODE_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %RTP_ICE_PORT_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %SIP_REFRESH_ON_TTL_USE_RANDOM_FACTOR_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_DIALING_VOIP_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_DESKPHONE_CONTROL_AUTO_ANSWER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_UNIFIED_CALL_HISTORY_WXT% | 適用なし | 適用なし |



シスコ社外秘

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %WEB_CALL_SETTINGS_BRANDING_ENABLED_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% | 適用なし | 適用なし |



シスコ社外秘

| Cisco BroadWorks 版 Webex タグ | デスクトップレガシータグ | モバイルレガシータグ |
|---|---|---|
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_BUSY_LAMP_FIELD_WXT% | %ENABLE_BUSY_LAMP_FIELD_DESKTOP% | 適用なし |
| %ENABLE_BLF_DISPLAY_CALLER_WXT% | %ENABLE_BLF_DISPLAY_CALLER_DESKTOP% | 適用なし |
| %BLF_NOTIFICATION_DELAY_TIME_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% | 適用なし | 適用なし |
| %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT% | %DESKTOP_PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED% | %ENABLE_PERSONAL_ASSISTANT_PRESENCE% |
| %PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT% | 適用なし | 適用なし |

**メモ:** N/A は、UC-One の機能を制御する対応するカスタム タグがないことを示します。 デスクトップとモバイルのレガシータグの両方の N/A を持つことは、Cisco BroadWorks 版 Webex タグが新しく、新しい機能または既存の機能のいずれかを制御することを示します。これは、UC-One のカスタム タグで制御されませんでした。



シスコ社外秘

# 9 別紙 A: TLS 暗号化

BroadWorks 版 Webex クライアントは、追加のセキュリティ強化により OpenSSL をベースにした CiscoSSL を使用します。



シスコ社外秘

# 10 別紙 B: DM タグプロビジョニング スクリプト

多くの顧客が新しい構成パラメータにタグを好むため、各リリースでカスタム DM タグの数が増加しています。 これらのカスタム DM タグをプロビジョニングするメカニズムをより簡単に提供するために、このセクションには、カスタム DM タグに値を割り当てるためにアプリケーション サーバ（AS）側で実行できるスクリプトが含まれています。 これらの関数の動作は、 php.ini の設定により変化します。

このスクリプトは、カスタム DM タグが作成される新しい展開でのみ有効であることに注意してください。 既存のカスタム DM タグを変更するには、次のスクリプトのコマンドを “add” から “set” に変更する必要があります。

いくつかのカスタムタグセットのみのスクリプト テンプレート (実際の展開では、より大きなカスタムタグのリストを入力する必要があります)。 次の例はモバイル用です。 デスクトップの場合は、Connect_Tags の代わりに BroadTouch_tags タグセットを使用します。 タブレットでは、Connect_Tags の代わりに ConnectTablet_Tags タグセットを使用します。

```
%% ********************************* Connect_Tags - read file *********************************
%%
%% Instructions:
%% ------------------
%% - This read file can be used to create, add and set Webex for BroadWorks
%% client custom tags
%% - Use %% to comment out any steps not required based on deployment specific
%% service requirements:
%% Step 1 -- for new deployments only, create initial tag set label
%% Step 2 -- add a new custom tag (an entry is required for each new tag)
%% Step 3 -- set value for an existing custom tag (entry required for each applicable tag)
%% Step 4 -- display and visually verify tag settings
%%
%% - Edit, modify file as needed respecting command syntax. Save file (e.g. WxT_Tags.txt)
%% - SFTP read file to AS under directory /tmp
%% - Login to AS, bwcli (login as admin)
%% - Execute the following command from bwcli: AS_CLI> r /tmp/ WxT_Tags.txt
%% - Verify results
%%
%% ----------------------------------------------------------------------------------------------------
-----
%% Step 1: Create Connect tag set label - Connect_Tags
%% ----------------------------------------------------------------------------------------------------
-----
quit all;System;DeviceTagSet
add Connect_Tags
%% ----------------------------------------------------------------------------------------------------
-----
%% Step 2: Add WxT for BWKS custom tags
%% EXAMPLE – for all mobile tags see the list below----------------------------------------------------
quit all;System;DeviceTagSet;Tags
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% true
%% ----------------------------------------------------------------------------------------------------
-----
%% Step 3: Set Connect custom tags (if tag already exists)
%% EXAMPLE – for all mobile tags see the list below
set tagSetName Connect_Tags %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% isOverridable true
tagvalue false
```



シスコ社外秘

```
%% ----------------------------------------------------------------------------------------------------------------
-----
%% Step 4: Verify custom tags have been correctly defined and set
%% ----------------------------------------------------------------------------------------------------------------
-----
quit all;System;DeviceTagSet;Tags
get tagSetName Connect_Tags
quit all
```

以下に、Cisco BroadWorks 版 Webex で使用されるすべてのカスタム タグを例に示します (デフォルトまたは推奨)。 タグの一部には、対応する展開（サーバ アドレスなど）に固有の値が必要です。 そのため、これらのタグはスクリプトの最後に追加されますが、空のままであり、それらを指定するために追加のセットコマンドを追加する必要があります。

## 10.1 デスクトップ

```
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_XSI_CONFERENCE_CALLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BUSY_LAMP_FIELD_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BLF_DISPLAY_CALLER_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %BLF_NOTIFICATION_DELAY_TIME_WXT% 0
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_REMOTE_CONTROL_EVENTS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALLS_SPAM_INDICATION_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_NOISE_REMOVAL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %TRANSFER_CALL_TYPE_WXT% full
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %MAX_CONF_PARTIES_WXT% 10
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_PULL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_MWI_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VOICE_MAIL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT%
false
add tagSetName BroadTouch_tags
%BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT%
false
add tagSetName BroadTouch_tags %BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT%
false
add tagSetName BroadTouch_tags
%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags
%BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_USE_RPORT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_TLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SBC_PORT_WXT% 5075
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_PROXY_DISCOVERY_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_TCP_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_UDP_FROM_DNS_WXT% true
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_TLS_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_BACKUP_SERVICE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_SRV_BACKUP_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %PROXY_DISCOVERY_BYPASS_OS_CACHE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_TRANSPORTS_TCP_CONNECT_TIMEOUT_WXT% 5000
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_TRANSPORTS_TLS_CONNECT_TIMEOUT_WXT% 10000
add tagSetName BroadTouch_tags %SOURCE_PORT_WXT% 5060
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_FAILBACK_ENABLED_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_FAILBACK_TIMEOUT_WXT% 900
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_FAILBACK_USE_RANDOM_FACTOR_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_TRANSPORTS_ENFORCE_IP_VERSION_WXT% dns
add tagSetName BroadTouch_tags %TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT% 18000
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_REFRESH_ON_TTL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_REFRESH_ON_TTL_USE_RANDOM_FACTOR_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SRTP_ENABLED_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %SRTP_MODE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_REKEYING_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT% 8000
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT% 8099
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT% 8100
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT% 8199
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_RTCP_MUX_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT% 10000
add tagSetName BroadTouch_tags %XSI_ACTIONS_PATH_WXT% /com.broadsoft.xsi-actions/
add tagSetName BroadTouch_tags %XSI_EVENTS_PATH_WXT% /com.broadsoft.xsi-events/
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_MEDIASEC_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_SCREEN_SHARE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_CENTER_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT% external
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_BRANDING_ENABLED_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_EMAIL_VM_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT%
add tagSetName BroadTouch_tags %USER_PORTAL_SETTINGS_TARGET_WXT% external
add tagSetName BroadTouch_tags %USER_PORTAL_SETTINGS_SSO_ENABLED_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_PICKUP_BLIND_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_PICKUP_DIRECTED_WXT% false
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_SIP_VIDEOCALLS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_LOCUS_VIDEOCALLS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %VIDEOCALLS_ANSWER_WITH_VIDEO_ON_DEFAULT_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %EMERGENCY_DIALING_ENABLE_REDSKY_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_REMINDER_TIMEOUT_WXT% 0
add tagSetName BroadTouch_tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_MANDATORY_LOCATION_WXT% -1
add tagSetName BroadTouch_tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_LOCATION_PROMPTING_WXT%
once_per_login
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_FORCED_LOGOUT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_EXECUTIVE_ASSISTANT_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_RECORDING_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_PARK_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT% 10
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_DESKPHONE_CONTROL_AUTO_ANSWER_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_RTP_ICE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_ICE_MODE_WXT% icestun
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_ICE_PORT_WXT% 3478
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_UNIFIED_CALL_HISTORY_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %FORCED_LOGOUT_APPID_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %XSI_ROOT_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %SBC_ADDRESS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %SBC_PORT_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %MWI_MODE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VOICE_MAIL_TRANSCRIPTION_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %DOMAIN_OVERRIDE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_AUTO_ANSWER_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %USE_PAI_AS_CALLING_IDENTITY_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_CENTER_AGENT_OUTGOING_CALLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_MULTI_LINE_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_AUDIO_QOS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %AUDIO_QOS_VALUE_WXT% 46
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VIDEO_QOS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %VIDEO_QOS_VALUE_WXT% 34
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_REMOTE_MUTE_CONTROL_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_MOVE_HERE_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_GCP_NOTIFICATIONS_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_GCP_DISPLAY_CALLER_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %GCP_NOTIFICATION_MAX_TIMEOUT_VALUE_WXT% 120
add tagSetName BroadTouch_tags %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% true
add tagSetName BroadTouch_tags %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT% false
add tagSetName BroadTouch_tags %CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT% resolved
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName BroadTouch_tags %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT% false
```

## 10.2 モバイル

```
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALLS_SPAM_INDICATION_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_NOISE_REMOVAL_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %TRANSFER_CALL_TYPE_WXT% full
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %MAX_CONF_PARTIES_WXT% 10
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_PULL_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_MWI_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VOICE_MAIL_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT%
false
add tagSetName Connect_Tags %BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT%
false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT%
false
add tagSetName Connect_Tags %BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT%
false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT%
false
add tagSetName Connect_Tags %BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT%
false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_USE_RPORT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %USE_TLS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %SBC_PORT_WXT% 5075
add tagSetName Connect_Tags %USE_PROXY_DISCOVERY_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %USE_TCP_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %USE_UDP_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %USE_TLS_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_BACKUP_SERVICE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_SRV_BACKUP_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %SIP_TRANSPORTS_TCP_CONNECT_TIMEOUT_WXT% 5000
add tagSetName Connect_Tags %SIP_TRANSPORTS_TLS_CONNECT_TIMEOUT_WXT% 10000
add tagSetName Connect_Tags %SOURCE_PORT_WXT% 5060
add tagSetName Connect_Tags %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %SIP_TRANSPORTS_ENFORCE_IP_VERSION_WXT% dns
add tagSetName Connect_Tags %TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT% 18000
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %SRTP_ENABLED_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %SRTP_MODE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_REKEYING_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT% 8000
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName Connect_Tags %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT% 8099
add tagSetName Connect_Tags %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT% 8100
add tagSetName Connect_Tags %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT% 8199
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_RTCP_MUX_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT% 10000
add tagSetName Connect_Tags %XSI_ACTIONS_PATH_WXT% /com.broadsoft.xsi-actions/
add tagSetName Connect_Tags %XSI_EVENTS_PATH_WXT% /com.broadsoft.xsi-events/
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %USE_MEDIASEC_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SCREEN_SHARE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_CENTER_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT% external
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_BRANDING_ENABLED_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_EMAIL_VM_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %USER_PORTAL_SETTINGS_TARGET_WXT% external
add tagSetName Connect_tags %USER_PORTAL_SETTINGS_SSO_ENABLED_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_EMERGENCY_DIALING_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT% cs-only
add tagSetName Connect_Tags %EMERGENCY_DIALING_NUMBERS_WXT% 911,112
add tagSetName Connect_Tags %PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %REJECT_WITH_XSI_MODE_WXT% decline_false
add tagSetName Connect_Tags %REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_WXT% busy
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_DIALING_CALL_BACK_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %DIALING_CALL_BACK_TIMER_WXT% 10
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_RECORDING_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT% 35
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SINGLE_ALERTING_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_PARK_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT% 10
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_RTP_ICE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %RTP_ICE_MODE_WXT% icestun
add tagSetName Connect_Tags %SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %RTP_ICE_PORT_WXT% 3478
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_DIALING_VOIP_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_DIALING_MODE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %DIALING_MODE_DEFAULT_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %DIALING_NATIVE_ENABLE_BWKS_MOBILITY_DEPENDENCY_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_XSI_CALL_CONTROL_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %XSI_CALL_CONTROL_DEPLOYMENT_TYPE_WXT% MNO_Access
add tagSetName Connect_Tags %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_1_WXT% true
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName Connect_Tags %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_2_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_3_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_XSI_HOLD_CALLS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_UNIFIED_CALL_HISTORY_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %XSI_ROOT_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %SBC_ADDRESS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %SBC_PORT_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %MWI_MODE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VOICE_MAIL_TRANSCRIPTION_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %DOMAIN_OVERRIDE_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SIP_VIDEOCALLS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_LOCUS_VIDEOCALLS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %VIDEOCALLS_ANSWER_WITH_VIDEO_ON_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %EMERGENCY_DIALING_ENABLE_REDSKY_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_REMINDER_TIMEOUT_WXT% 0
add tagSetName Connect_Tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_MANDATORY_LOCATION_WXT% -1
add tagSetName Connect_Tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_LOCATION_PROMPTING_WXT%
once_per_login
add tagSetName Connect_Tags %USE_PAI_AS_CALLING_IDENTITY_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_DELIVERY_BLOCKING_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_MOBILITY_PERSONA_MANAGEMENT_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_RING_SPLASH_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_PN_MOBILE_CALL_INFO_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_AUDIO_QOS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %AUDIO_QOS_VALUE_WXT% 46
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VIDEO_QOS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %VIDEO_QOS_VALUE_WXT% 34
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT%
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% true
add tagSetName Connect_Tags %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT% resolved
add tagSetName Connect_Tags %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT% false
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName Connect_Tags %PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT% false
add tagSetName Connect_Tags %ENABLE_MULTI_LINE_WXT% false
```

## 10.3 タブレット

```
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_REJECT_WITH_486_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_TRANSFER_CALLS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %TRANSFER_CALL_TYPE_WXT% full
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_XSI_TRANSFER_CALLS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALLS_SPAM_INDICATION_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_NOISE_REMOVAL_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CONFERENCE_CALLS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_NWAY_PARTICIPANT_LIST_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %MAX_CONF_PARTIES_WXT% 10
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_STATISTICS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_PULL_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_MWI_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VOICE_MAIL_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VISUAL_VOICE_MAIL_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_FORWARDING_ALWAYS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DESCRIPTION_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags
%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags
%BROADWORKS_ANYWHERE_ALERT_ALL_LOCATIONS_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %BROADWORKS_ANYWHERE_CALL_CONTROL_DEFAULT_WXT%
false
add tagSetName ConnectTablet_Tags
%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags
%BROADWORKS_ANYWHERE_DIVERSION_INHIBITOR_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags
%ENABLE_BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags
%BROADWORKS_ANYWHERE_ANSWER_CONFIRMATION_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_USE_RPORT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RPORT_USE_LOCAL_PORT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_TLS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SBC_PORT_WXT% 5075
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_PROXY_DISCOVERY_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_TCP_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_UDP_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_TLS_FROM_DNS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SIP_TRANSPORTS_TCP_CONNECT_TIMEOUT_WXT% 5000
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SIP_TRANSPORTS_TLS_CONNECT_TIMEOUT_WXT% 10000
add tagSetName ConnectTablet_Tags %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_BACKUP_SERVICE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %PROXY_DISCOVERY_ENABLE_SRV_BACKUP_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SOURCE_PORT_WXT% 5060
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_ALTERNATIVE_IDENTITIES_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SIP_TRANSPORTS_ENFORCE_IP_VERSION_WXT% dns
add tagSetName ConnectTablet_Tags %TCP_SIZE_THRESHOLD_WXT% 18000
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SIP_UPDATE_SUPPORT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_PEM_SUPPORT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SIP_SESSION_ID_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_FORCE_SIP_INFO_FIR_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SRTP_ENABLED_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SRTP_MODE_WXT% false
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_REKEYING_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_START_WXT% 8000
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_AUDIO_PORT_RANGE_END_WXT% 8099
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_START_WXT% 8100
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_VIDEO_PORT_RANGE_END_WXT% 8199
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_RTCP_MUX_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_XSI_EVENT_CHANNEL_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %CHANNEL_HEARTBEAT_WXT% 10000
add tagSetName ConnectTablet_Tags %XSI_ACTIONS_PATH_WXT% /com.broadsoft.xsi-actions/
add tagSetName ConnectTablet_Tags %XSI_EVENTS_PATH_WXT% /com.broadsoft.xsi-events/
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALLS_AUTO_RECOVERY_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_MEDIASEC_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SCREEN_SHARE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_CENTER_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_TARGET_WXT% external
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFNR_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CFNA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_DND_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_ACR_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_SIMRING_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_SEQRING_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_ACB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CW_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CLIDB_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_PA_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_CC_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_BWA_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_BWM_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_RO_VISIBLE_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_VM_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_BRANDING_ENABLED_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_EMAIL_VM_VISIBLE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USER_PORTAL_SETTINGS_URL_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USER_PORTAL_SETTINGS_TARGET_WXT% external
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USER_PORTAL_SETTINGS_SSO_ENABLED_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_EMERGENCY_DIALING_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %EMERGENCY_CALL_DIAL_SEQUENCE_WXT% cs-only
add tagSetName ConnectTablet_Tags %EMERGENCY_DIALING_NUMBERS_WXT% 911,112
add tagSetName ConnectTablet_Tags %PN_FOR_CALLS_CONNECT_SIP_ON_ACCEPT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %REJECT_WITH_XSI_MODE_WXT% decline_false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %REJECT_WITH_XSI_DECLINE_REASON_WXT% busy
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_DIALING_CALL_BACK_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DIALING_CALL_BACK_TIMER_WXT% 10
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_RECORDING_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %PN_FOR_CALLS_RING_TIMEOUT_SECONDS_WXT% 35
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SINGLE_ALERTING_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_PARK_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %CALL_PARK_AUTO_CLOSE_DIALOG_TIMER_WXT% 10
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_RTP_ICE_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_ICE_MODE_WXT% icestun
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SIP_URI_DIALING_ENABLE_LOCUS_CALLING_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_ICE_PORT_WXT% 3478
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_DIALING_VOIP_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_DIALING_NATIVE_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_DIALING_MODE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DIALING_MODE_DEFAULT_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DIALING_NATIVE_ENABLE_BWKS_MOBILITY_DEPENDENCY_WXT%
false
```



シスコ社外秘

```
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_XSI_CALL_CONTROL_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %XSI_CALL_CONTROL_DEPLOYMENT_TYPE_WXT% MNO_Access
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_1_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_2_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DEPLOYMENT_DEVICE_TYPE_3_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_XSI_HOLD_CALLS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_UNIFIED_CALL_HISTORY_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %RTP_ICE_SERVICE_URI_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %XSI_ROOT_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SBC_ADDRESS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SBC_PORT_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %MWI_MODE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VOICE_MAIL_TRANSCRIPTION_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %WEB_CALL_SETTINGS_URL_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DOMAIN_OVERRIDE_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SIP_VIDEOCALLS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_LOCUS_VIDEOCALLS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %VIDEOCALLS_ANSWER_WITH_VIDEO_ON_DEFAULT_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %EMERGENCY_DIALING_ENABLE_REDSKY_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_REMINDER_TIMEOUT_WXT% 0
add tagSetName ConnectTablet_Tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_MANDATORY_LOCATION_WXT% -1
add tagSetName ConnectTablet_Tags %EMERGENCY_REDSKY_USER_LOCATION_PROMPTING_WXT%
once_per_login
add tagSetName ConnectTablet_Tags %USE_PAI_AS_CALLING_IDENTITY_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_RING_SPLASH_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_PN_MOBILE_CALL_INFO_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_AUDIO_QOS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %AUDIO_QOS_VALUE_WXT% 46
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VIDEO_QOS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %VIDEO_QOS_VALUE_WXT% 34
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_DEVICE_OWNER_RESTRICTION_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_AUDIO_MARI_FEC_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_AUDIO_MARI_RTX_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VIDEO_MARI_FEC_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VIDEO_MARI_RTX_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_BLOCK_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_WIDGET_HOLD_CALLS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_WIDGET_TRANSFER_CALLS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_WIDGET_CALLS_ESCALATE_TO_WEBEX_MEETING_WXT%
true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SIMULTANEOUS_CALLS_WITH_SAME_USER_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_VOICE_MAIL_FORWARDING_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %SIP_REGISTER_FAILOVER_REGISTRATION_CLEANUP_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_SPEECH_ENHANCEMENTS_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %DIALING_NATIVE_FAC_PREFIX_WXT%
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_TRANSFER_AUTO_HOLD_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_RTCP_XR_NEGOTIATION_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_INCOMING_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_MISSED_CALLS_APPEND_NUMBER_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_ADDITIONAL_NUMBERS_WXT%
false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_CALL_CENTER_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_HUNT_GROUP_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CLID_OUTGOING_CALLS_DELIVERY_BLOCKING_WXT%
false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_CALL_FORWARDING_INFO_CALLS_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %UDP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% true
add tagSetName ConnectTablet_Tags %TCP_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% false
```

```
add tagSetName ConnectTablet_Tags %TLS_KEEPALIVE_ENABLED_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %ENABLE_RTP_ICE_IPV6_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %CLID_REMOTE_NAME_MACHINE_MODE_WXT% resolved
add tagSetName ConnectTablet_Tags %PERSONAL_ASSISTANT_ENABLED_WXT% false
add tagSetName ConnectTablet_Tags %PN_FOR_CALLS_DELIVERY_MODE_WXT% false
```

## 10.4 システム タグ

BroadWorks 版 Webex で使用されるシステム タグを次に示します。

```
%BWNETWORK-CONFERENCE-SIPURI-n%
%BWVOICE-PORTAL-NUMBER-n%
%BWLINEPORT-n%
%BWHOST-n%
%BWAUTHUSER-n%
%BWAUTHPASSWORD-n%
%BWE164-n%
%BWNAME-n%
%BWEXTENSION-n%
%BWAPPEARANCE-LABEL-n%
%BWDISPLAYNAMELINEPORT%
%BWLINEPORT-PRIMARY%
%BWE911-PRIMARY-HELDURL%
%BWE911-CUSTOMERID%
%BWE911-SECRETKEY%
%BWE911-EMERGENCY-NUMBER-LIST%
%BW-MEMBERTYPE-n%
%BWUSEREXTID-n%
```



シスコ社外秘

# 11 頭字語と略語

このセクションでは、このドキュメントで見つかった頭字語と略語を紹介します。 頭字語と略語は、その意味とともにアルファベット順にリストされます。

ACB 自動コールバック

ACD 自動通話分配

ACR 匿名通話の拒否

AES 高度な暗号化標準

ALG アプリケーション層ゲートウェイ

API アプリケーションプログラミングインターフェイス

APK アプリケーションパッケージ

APNS Apple プッシュ通知サービス

ARS 自動ビット レート選択

AS アプリケーション サーバー (Cisco BroadWorks)

AVP 音声ビジュアル プロファイル

BW BroadWorks 版

BWA BroadWorks Anywhere

BWKSBroadWorks 版

BWM BroadWorks モビリティ

BYOD 自分のデバイスを使用

CC コール センター

CFB 通話転送（話中）

CFNA 通話転送無応答

CFNR 通話転送到達不可

CIF 共通中間形式

CLI コマンドライン インターフェイス

CLIDCalling 回線 ID

CLIDB 通話回線 ID 配信ブロック

CRLF キャリッジリターン回線フィード

CS 回線切り替え

CSWV 通話設定 Web ビュー

CW 通話待機

DB データベース



シスコ社外秘

| | |
|---|---|
| DM | デバイス管理 |
| DND | 応答不可 |
| DNS | ドメインネームシステム |
| DPC | 卓上電話コントロール |
| DTAF | デバイス タイプ アーカイブ ファイル |
| ECACS | 緊急通話アドレス変更サービス |
| FMC | 固定モバイルコンバージェンス |
| FQDN | 完全修飾ドメイン名 |
| HMAC | ハッシュメッセージ認証コード |
| ICE | インタラクティブ接続の確立 |
| iLBCinternet | 低ビットレート コーデック |
| IM | インスタントメッセージ |
| IM&P | インスタントメッセージとプレゼンス |
| IOT | 相互運用性テスト |
| IP | インターネット プロトコル |
| JIDJabber | 識別子 |
| M/O | 必須/オプション |
| MNO | モバイルネットワークオペレーター |
| MTU | 最大送信ユニット |
| MUC | マルチユーザーチャット |
| MWI | メッセージ待機インジケータ |
| NAL | ネットワーク抽象レイヤー |
| NAPTR | 命名権限ポインタ |
| NAT | ネットワーク アドレス変換 |
| OTT | トップ |
| PA | パーソナルアシスタント |
| PAIP-Asserted-Identity | |
| PEMP-Early | メディア |
| PLI | 画像損失表示 |
| PLMN | 公有地モバイルネットワーク |
| PN | プッシュ通知 |
| QCIFQuarter | 共通中間形式 |
| QoS | サービスの質 |

RO リモート オフィス

RTCP リアルタイム制御プロトコル

RTP リアルタイム プロトコル

SaaS サービスとしてのソフトウェア

SAN サブジェクト代替名

SASL 単純な認証とセキュリティレイヤー

SAVP セキュアな音声ビデオ プロファイル

SBC セッション ボーダー コントローラー

SCA 共有コールアピアランス

SCF セッションの継続性機能

SCTP ストリーム制御伝送プロトコル

SDP セッション定義プロトコル

SEQRING シーケンシャル リング

SIMRING 同時呼び出し

SIP セッション開始プロトコル

SNR 信号とノイズ比

SNR 単一番号リーチ

SRTCP セキュアなリアルタイム制御プロトコル

SRTP セキュアなリアルタイム転送プロトコル

SSL セキュアソケットレイヤー

NAT 用 STUN セッション トラバーサル ユーティリティ

SUBQCIF サブクォーター CIF

TCP 伝送制御プロトコル

TLS トランスポート層セキュリティ

TTL 存続時間

リレー NAT を使用したトラバーサル

UDP ユーザーデータグラムプロトコル

UI ユーザーインターフェイス

UMS メッセージング サーバー (Cisco BroadWorks)

URI ユニフォーム リソース識別子

UVS ビデオ サーバー (Cisco BroadWorks)

VGA ビデオグラフィック配列

VoIPVoice Over IP

| | |
|---|---|
| VVM | ビジュアル ボイスメール |
| WXTWebex | |
| XMPP | Extensible Messaging and Presence プロトコル |
| XR | 拡張レポート |
| XspXtended | サービス プラットフォーム |
| XsiXtended | Services インターフェイス |



シスコ社外秘